

西原町子ども・子育て支援に 関するアンケート調査報告書

平成31年3月
西原町

目 次

就学前児童調査

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	実施主体	1
3.	調査対象	1
4.	調査基準日	1
5.	調査期間	1
6.	調査の方法	1
7.	配布・回収状況	1
8.	集計・表示について	2
II	調査結果の報告	3
1.	居住地区	3
2.	家族の状況	4
(1)	子どもの年齢	4
(2)	世帯の子どもの人数	4
(3)	回答者・配偶関係	5
(4)	子育てを主に行っている方	5
3.	子どもの育ちをめぐる環境	6
(1)	子育て（教育）に関わっている人・施設（複数回答）	6
(2)	子育て（教育）に影響する環境（複数回答）	6
(3)	子どもをみてもらえる環境（複数回答）	7
(4)	子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所	9
4.	保護者の就労状況	10
(1)	母親の就労状況	10
(2)	父親の就労状況	19
(3)	家庭類型区分	22
5.	平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況	24
(1)	定期的な教育・保育の事業の利用	24
(2)	平日に利用している教育・保育の事業（複数回答）	26
(3)	教育・保育の事業の利用日数	28
(4)	教育・保育の事業の利用時間	29
(5)	教育・保育の事業の利用開始時間・終了時間	30
(6)	教育・保育の事業の利用希望日数・希望時間	31
(7)	教育・保育事業の利用開始時間・終了時間の希望	33
(8)	教育・保育の事業の実施場所	34

(9) 教育・保育の事業を利用している主な理由（複数回答）	35
(10) 教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）	36
(11) 教育・保育の事業を利用する子どもの年齢	39
(12) 定期的に利用したい教育・保育の事業（複数回答）	39
(13) 教育・保育の事業を利用したい場所	42
(14) 幼稚園利用希望の強さ	42
6. 地域の子育て支援事業の利用	43
(1) 子育て支援センターの利用状況	43
(2) 子育て支援センターの利用回数	43
(3) 子育て支援センターの利用希望	44
(4) 子育て支援センターの利用希望回数	45
(5) 子育て支援事業の周知及び利用等	46
7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望について	48
(1) 土曜日の利用希望	48
(2) 日曜日・祝日の利用希望	50
(3) 土曜日、日曜・祝日に教育・保育の事業をたまに利用したい理由（複数回答）	52
(4) 長期休暇における教育・保育の事業の利用希望	53
(5) 長期休暇における教育・保育の事業をたまに利用したい理由（複数回答）	55
8. 子どもが病気などの際の対応について	55
(1) 病気やケガによる事業の利用の有無	55
(2) 病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法（複数回答）	56
(3) 病児・病後児施設等の利用意向	58
(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態（複数回答）	59
(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）	59
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看ること	61
(7) 仕事を休んで看ことは非常に難しい理由（複数回答）	62
9. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	62
(1) 不定期に利用している教育・保育の事業（複数回答）	62
(2) 不定期に教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）	64
(3) 不定期の教育・保育の事業の利用希望	65
(4) 不定期の教育・保育の事業の利用目的・利用希望日数（複数回答）	66
(5) 利用したい不定期の教育・保育の事業の形態（複数回答）	68
(6) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらったこと	69
(7) 泊りがけで家族以外に子どもをみてもらった時の対処方法	70
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方	71
(1) 放課後に過ごさせたい場所（複数回答）	71
(2) 放課後児童クラブの土曜日、休日の利用希望	75
(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望	77
(4) 放課後児童クラブを利用しない理由（複数回答）	78

(5) 希望する放課後児童クラブの利用料金（複数回答）	79
11. 育児と仕事の両立支援制度について	79
(1) 育児休業の取得状況	79
(2) 育児休業を取得していない理由（複数回答）	81
(3) 育児休業取得後の職場復帰	82
(4) 1歳になるまでの育児休業の取得希望（母親）	82
(5) 実際の育児休業取得期間と希望との違い	83
(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由（母親：複数回答）	83
(7) 職場復帰した実際の時期と希望の時期の子どもの年齢（母親）	85
12. そのほかの子育てに関すること	86
(1) 子育てで感じていること	86
(2) 子育てに関して日常悩んでいること（複数回答）	87
(3) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（3つまで回答）	89
(4) 子育て支援への期待（複数回答）	92
III 就学前児童の保護者の自由記述	93
(子育て環境や支援に関する意見・要望等)	93

小学生児童調査

I 調査の概要	99
1. 調査の目的	99
2. 実施主体	99
3. 調査対象	99
4. 調査基準日	99
5. 調査期間	99
6. 調査の方法	99
7. 配布・回収状況	99
8. 集計・表示について	100
II 調査結果の報告	101
1. 地域と小学校	101
(1) 居住地区	101
(2) 通っている小学校	102
2. 家族の状況	102
(1) 子どもの学年	102
(2) 世帯の子どもの人数	103
(3) 回答者・配偶関係	103

3. 保護者の就労状況	104
(1) 母親の就労状況	104
(2) 父親の就労状況	104
4. 放課後の過ごし方及び放課後児童クラブ	105
(1) 放課後の過ごし方	105
(2) 放課後児童クラブの利用状況	110
(3) 放課後児童クラブの平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇中の利用状況	111
(4) 現在利用している放課後児童クラブに感じていること（複数回答）	112
(5) 放課後児童クラブを利用していない理由（複数回答）	112
(6) 希望する放課後児童クラブの利用料金（複数回答）	113
(7) 放課後児童クラブの利用希望	113
(8) 放課後児童クラブの利用を希望する学年（複数回答）	115
(9) 放課後児童クラブの平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望について（複数回答） ..	116
5. 地域活動など	117
(1) 子ども同士の交流の場等の希望（複数回答）	117
(2) よく利用している公共施設（複数回答）	117
(3) 児童館を利用していない理由	119
(4) 地域活動やグループ活動への参加状況	120
(5) 今後参加させたい地域活動やグループ活動（複数回答）	121
III 小学生児童の保護者の自由記述	123
(子育て環境や支援に関する意見・要望等)	123

● 就学前児童調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「西原町子ども・子育て支援事業計画（第2期）」の策定に伴い、本町の子どもの教育・保育に関わる現状や子育てのニーズを把握するなど、計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2. 実施主体

西原町福祉部こども課

3. 調査対象

- ・調査は、就学前児童のいる世帯の保護者に対し行いました。
- ・ニーズ把握の対象となる就学前児童は、1世帯についてそれぞれ1人だけとし、複数の就学前児童がいる世帯については、いずれか1人を無作為で選び対象としました。

4. 調査基準日

平成30年12月末日現在

5. 調査期間

平成31年2月14日～平成31年3月29日

6. 調査の方法

郵送による調査票の配布・回収としました。

7. 配布・回収状況

調査票の配布件数が1,705件、回収件数が664件で、回収率は38.9%となります。

配布・回収状況

配布件数	回収件数	回収率
1,705件	664件	38.9%

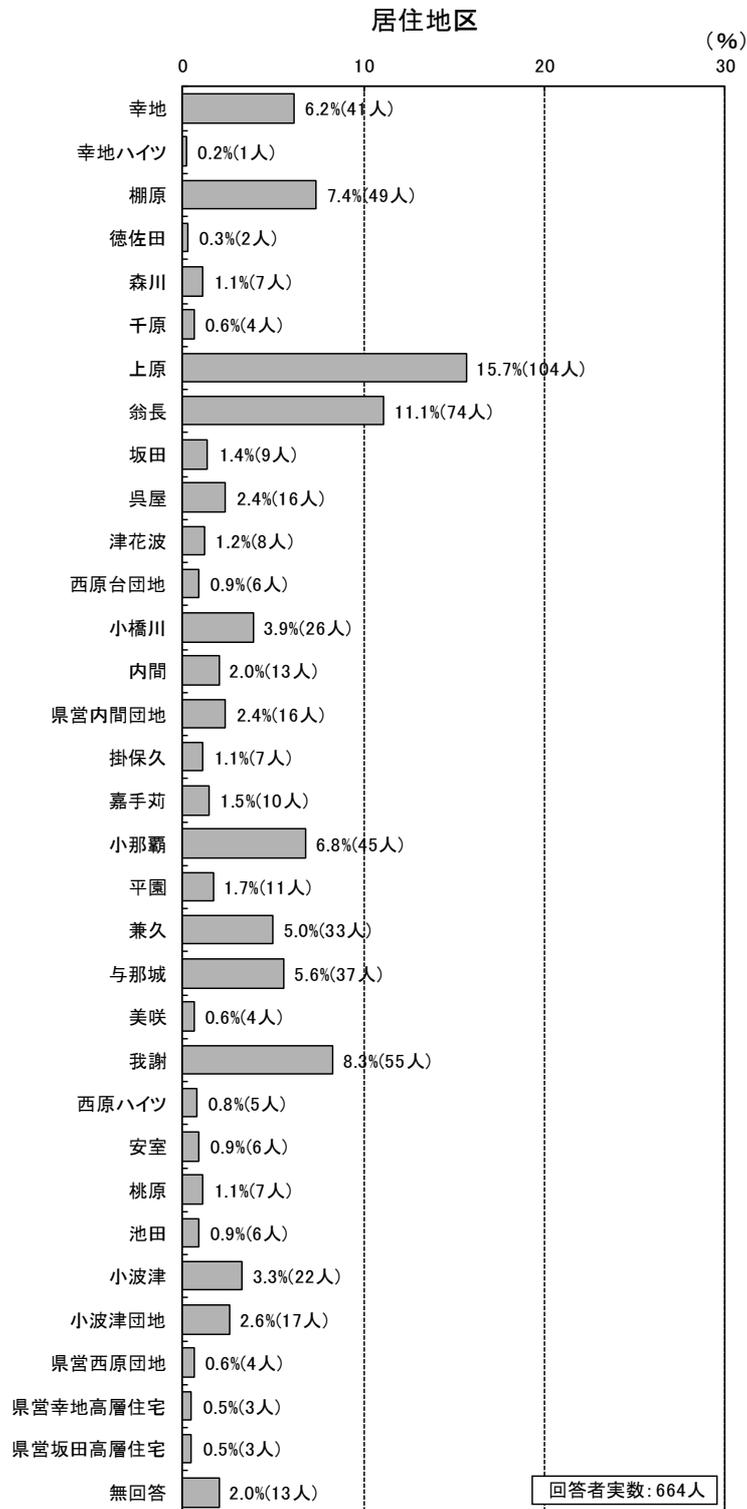
8. 集計・表示について

- (1) 集計は単純集計と子どもの年齢及び回答者の属性によるクロス集計を行いました。
- (2) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率を合計しても100.0%とならないことがあります。
- (3) 複数回答の設問については、比率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 結果が分かり易いようグラフ及びクロス表については、クロス項目の「無回答」を除いて表示する場合があります
- (5) ここで言う「子ども」とはニーズ把握の対象となる子を指します。
- (6) 「無回答」には回答がなかったもの及び回答の判別が困難(不明)なものを含みます。
- (7) 帯グラフの左端の()内は回答者実数を表します。
- (8) 報告書の文章や図表において、選択肢の一部を省略して記載している場合があります。

Ⅱ 調査結果の報告

1. 居住地区

回答者の居住地区は、「上原」が15.7%と最も高く、次に「翁長」が11.1%、「我謝」が8.3%となります。



2. 家族の状況

(1) 子どもの年齢

ニーズ把握の対象となる子どもの年齢は、「1歳」が19.0%と最も高く、次に「3歳」が16.6%、「4歳」が15.1%となります。また、「0歳」が8.9%と最も低く、次に「6歳」が11.1%となります。

子どもの年齢

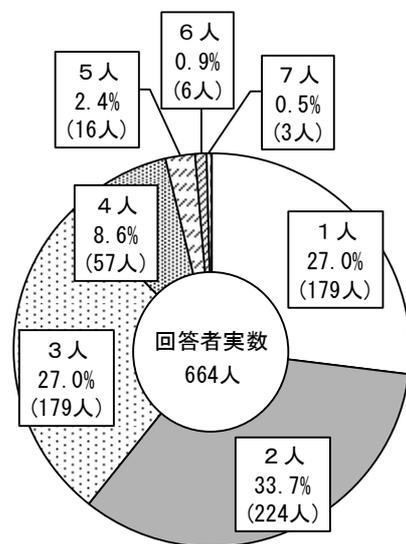
0歳	8.9% (59人)
1歳	19.0% (126人)
2歳	14.9% (99人)
3歳	16.6% (110人)
4歳	15.1% (100人)
5歳	13.6% (90人)
6歳	11.1% (74人)
無回答	0.9% (6人)
回答者実数	664人

(2) 世帯の子どもの人数

世帯の子どもの人数(調査対象の子を含む)は、「2人」が33.7%と最も高く、次に「1人」と「3人」がともに27.0%となります。

子どもの人数は「7人」が最多で、1世帯あたりの子どもの人数(平均)は、2.3人となります。

子どもの人数

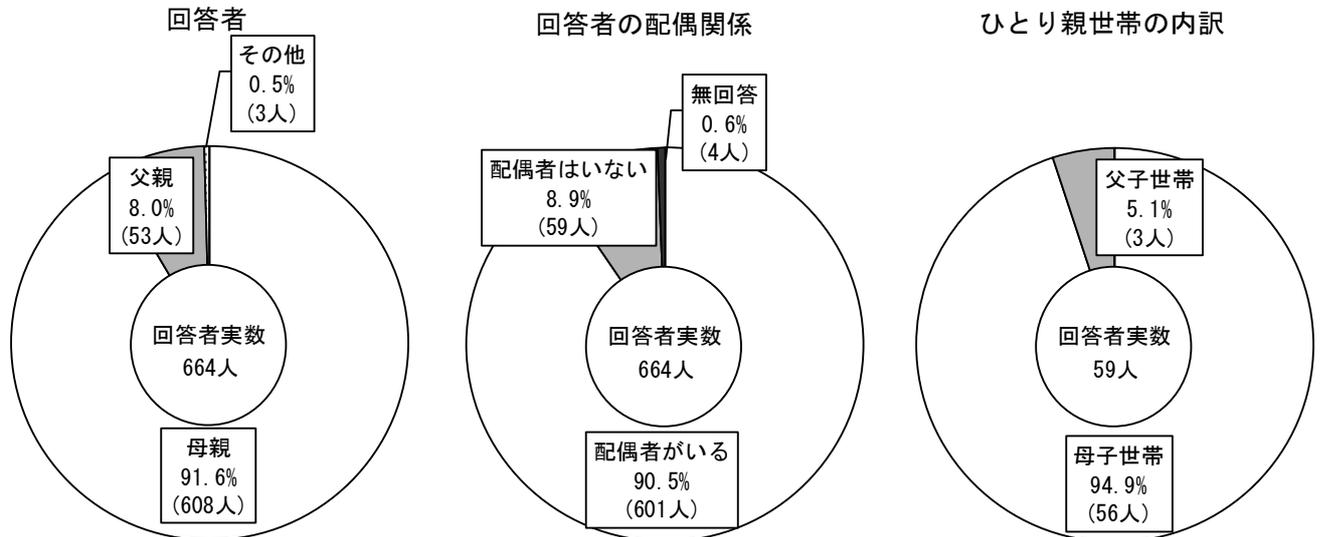


(3) 回答者・配偶関係

回答者は「母親」が91.6%、「父親」が8.0%となります。

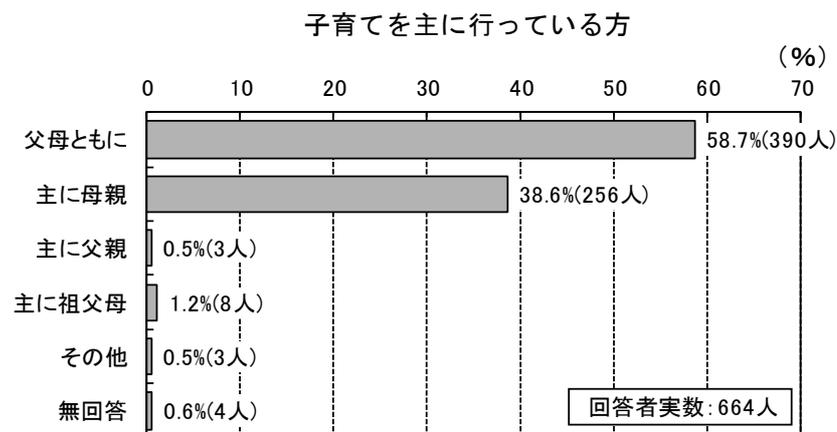
また、回答者の配偶関係は「配偶者がいる」が90.5%、「配偶者がいない」が8.9%となります。

「配偶者がいない」と答えたひとり親世帯の内訳としては、「母子世帯」が94.9%、「父子世帯」が5.1%となります。



(4) 子育てを主に行っている方

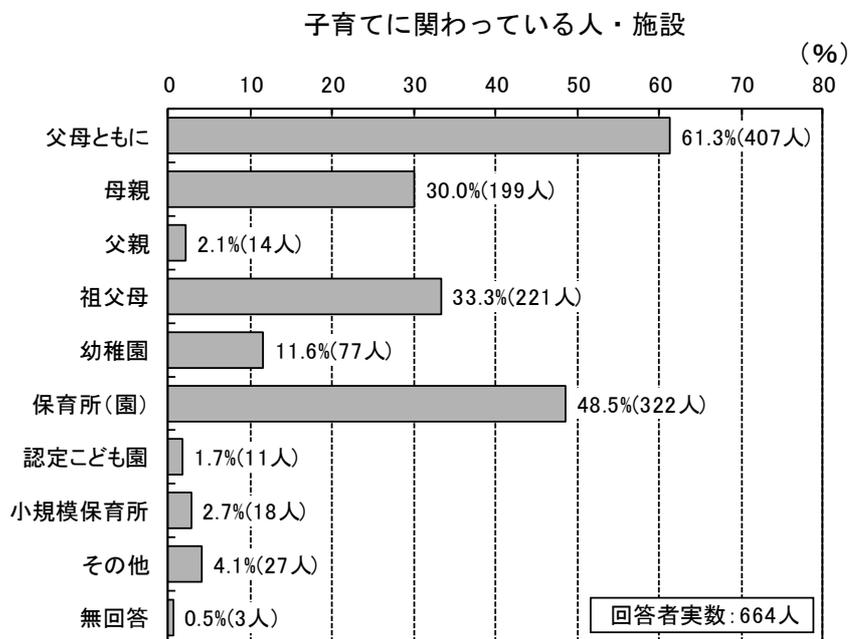
子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」が58.7%で、子育てに参加している父親が6割近くいます。次に「主に母親」が38.6%となります。



3. 子どもの育ちをめぐる環境

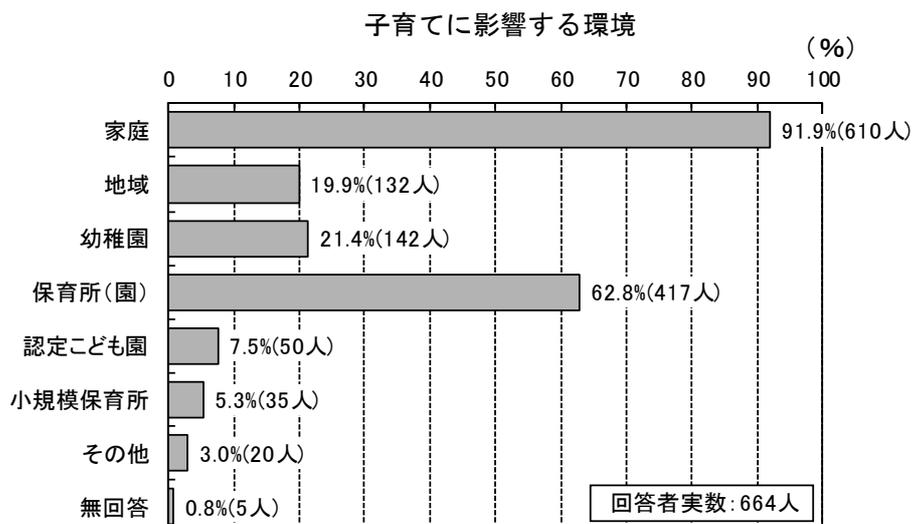
(1) 子育て（教育）に関わっている人・施設（複数回答）

お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方または施設については、「父母ともに」が61.3%と最も高く、次に「保育所（園）」が48.5%となります。



(2) 子育て（教育）に影響する環境（複数回答）

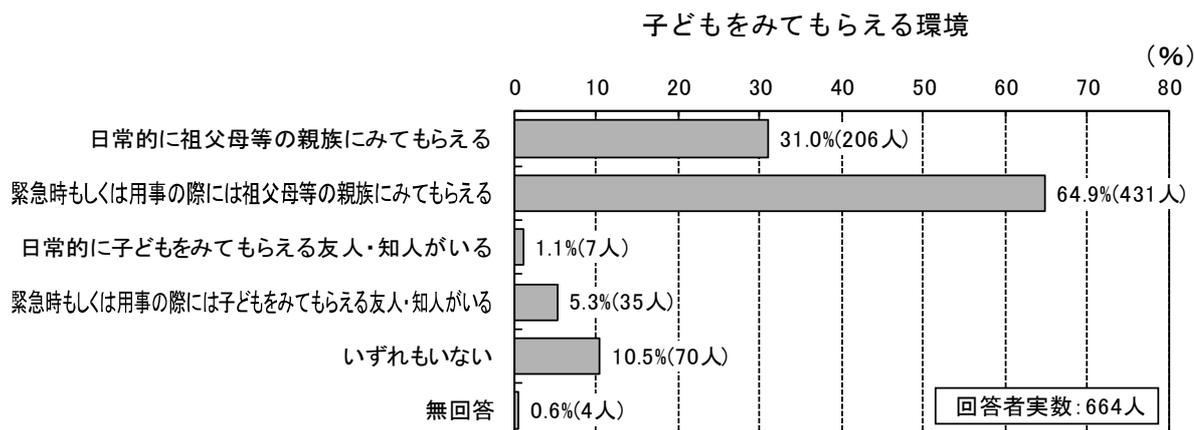
お子さんの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境については、「家庭」が91.9%と最も高くほとんどを占めます。次に「保育所（園）」が62.8%となります。また、「幼稚園」が21.4%、「地域」が19.9%となります。



(3) 子どもをみてもらえる環境（複数回答）

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.9%と最も高く、次に「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.0%となります。日常的に親族がみてくれる家庭は3割程度ですが、緊急時や用事の際には6割余りがみてもらえることができます。

一方、友人・知人にみてもらえる家庭は、緊急時でも5.3%と低率です。また、みてもらえる親族や知人は「いずれもない」が10.5%となります。

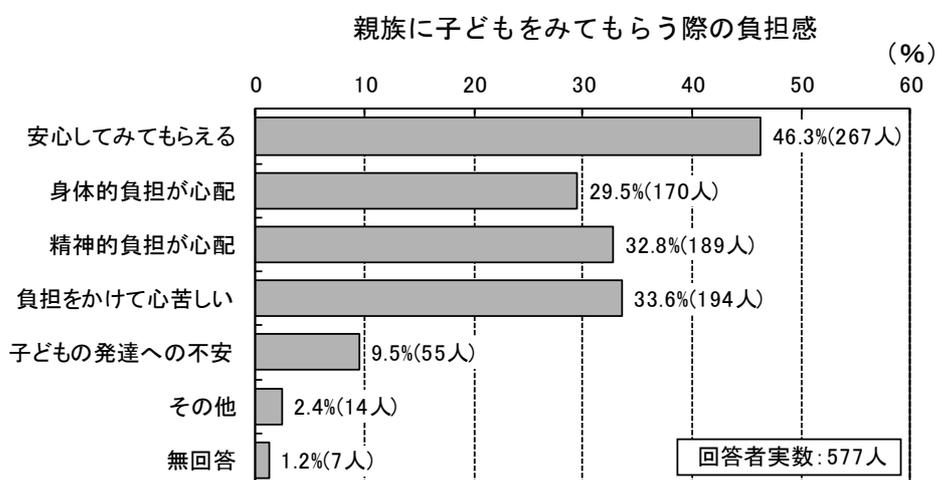


1) 親族に子どもをみてもらう際の負担感（複数回答）

日常的または緊急時に祖父母等の親族にみてもらえると答えた保護者が、実際にみてもらう際の負担感については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.3%と最も高く、次に「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.6%となります。

また、祖父母等の身体的負担や精神的負担などを心配する割合も30%前後あります。

一方、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が9.5%あり、保護者の子育ての考え方などが、親族と異なることで、子どもに良い影響を与えないのではないかと、不安に思っていると推測します。

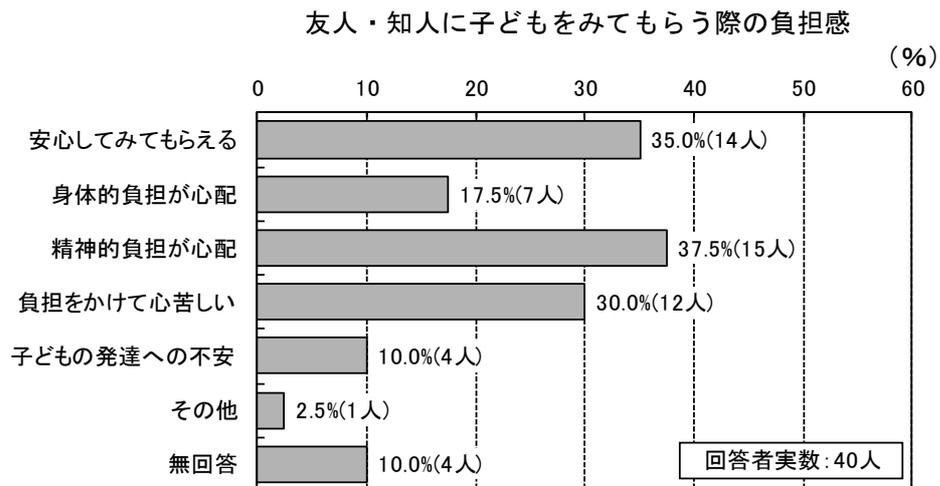


選択肢の略称	選択肢の内容
安心してみてもらえる	祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
身体的負担が心配	祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
精神的負担が心配	祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
負担をかけ心苦しい	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
子どもの発達への不安	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

2) 友人・知人に子どもをみてもらう際の負担感（複数回答）

日常的または緊急時に、友人・知人に子どもをみてもらえると答えた保護者が、実際にみてもらう際の負担感については、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が37.5%と最も高く、次に「友人・知人の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が35.0%となります。

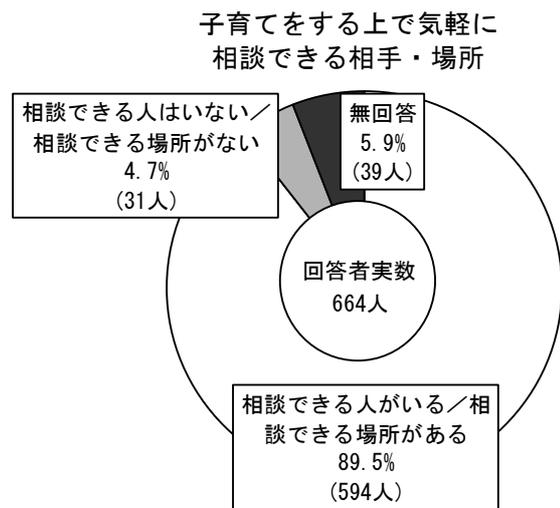
また、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.0%となります。



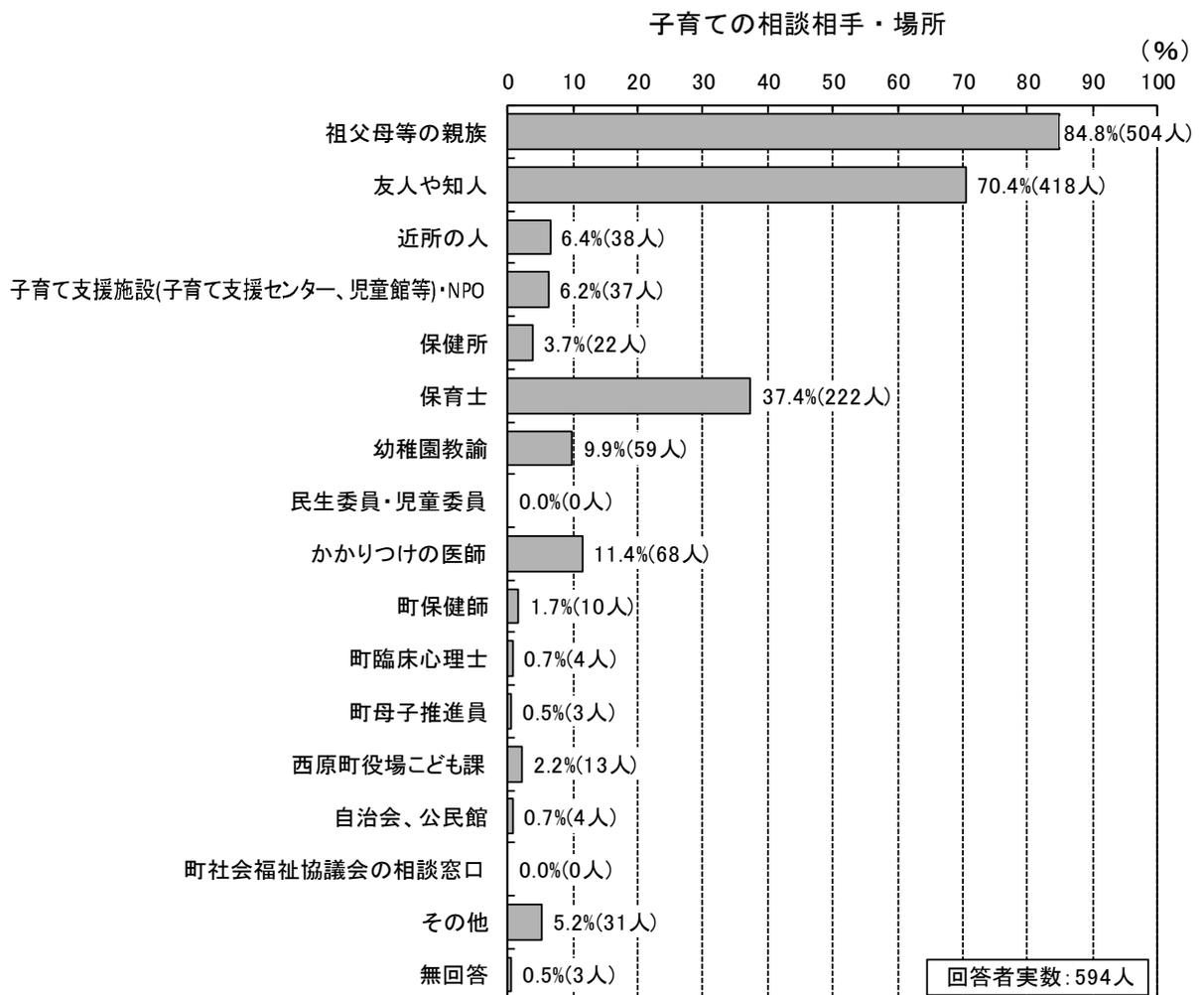
選択肢の略称	選択肢の内容
安心してみてもらえる	友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
身体的負担が心配	友人・知人の身体的負担が大きく心配である
精神的負担が心配	友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
負担をかけ心苦しい	自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
子どもの発達への不安	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある

(4) 子育てをする上で気軽に相談できる相手・場所

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる相手や場所については、「相談できる人がいる／相談できる場所がある」が89.5%とほとんどを占めます。



「相談できる人がいる／相談できる場所がある」と答えた保護者の、具体的な相談相手や相談場所については、「祖父母等の親族」が84.8%と最も高く、次に「友人や知人」が70.4%となります。また、「保育士」が37.4%と比較的高くなります。



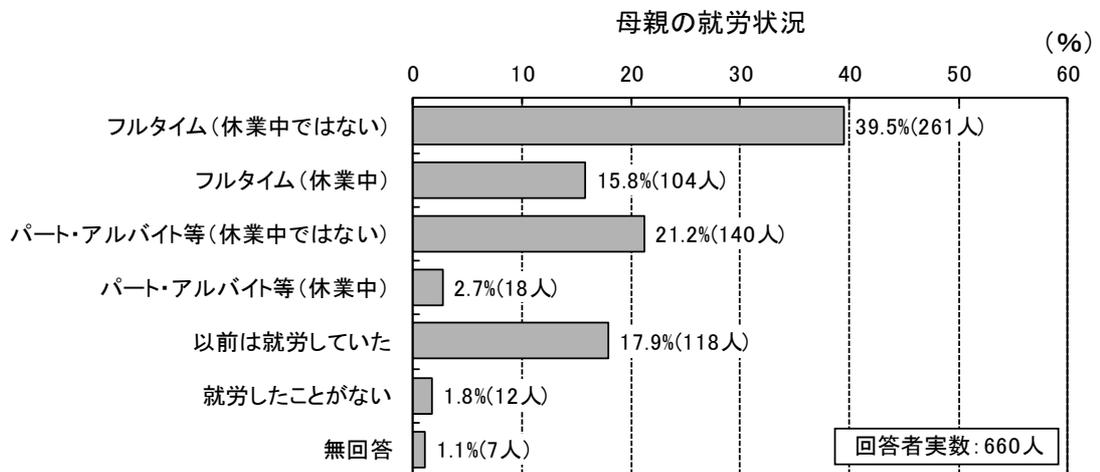
4. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

1) 就労状況

母親の現在の就労状況については、「フルタイム（休業中ではない）」が39.5%と最も高く、「フルタイム（休業中）」の15.8%を合わせると、フルタイムで就労している母親が55.3%を占めます。また、「パート・アルバイト等（休業中ではない）」が21.2%、「パート・アルバイト等（休業中）」が2.7%で、合わせるとパート・アルバイト等で就労している母親が23.9%を占めます。

さらに、フルタイムとパート・アルバイト等を合わせると、母親の79.2%が就労しています。



選択肢の略称	選択肢の内容
フルタイム（休業中ではない）	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイム（休業中）	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（休業中ではない）	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（休業中）	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
以前は就労していた	以前は就労していたが、現在は就労していない
就労したことがない	これまで就労したことがない

* フルタイムとは、1週5日程度で1日8時間程度の就労

* パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労

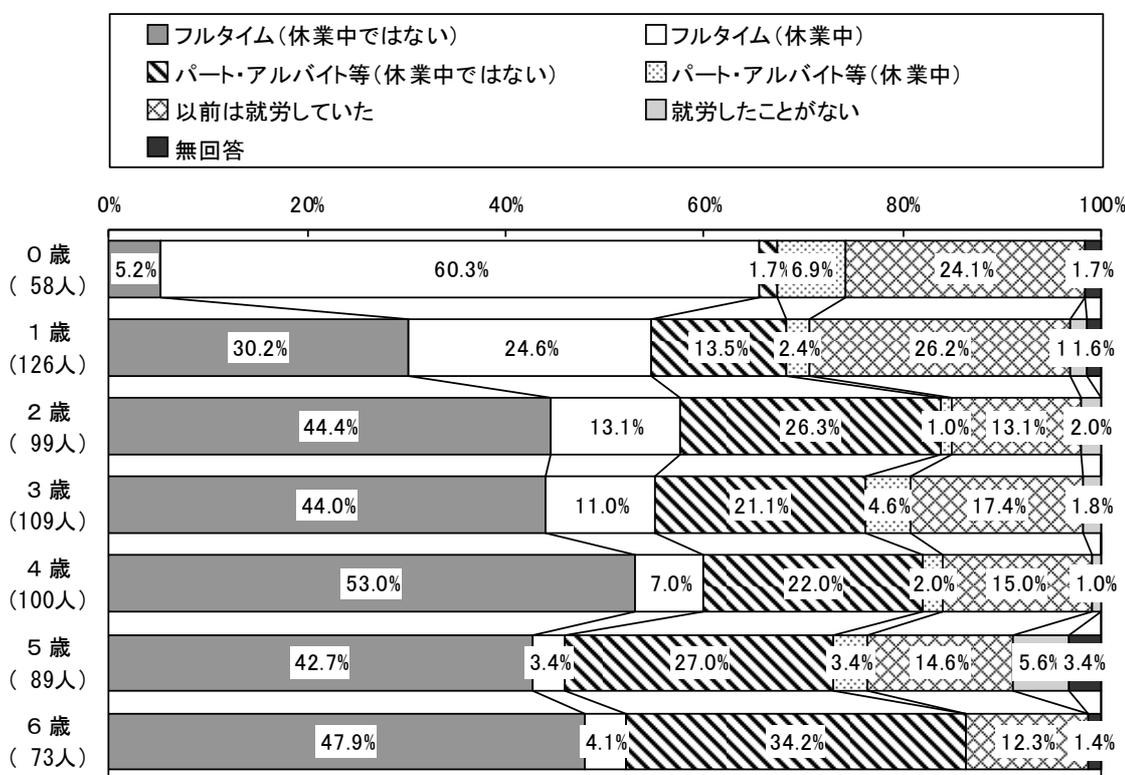
子どもの年齢別にみると、「フルタイム（休業中ではない）」は、「0歳」が5.2%と低率ですが、「1歳」では30.2%と大きく上昇し、「2歳」以上では40%以上を占め、「4歳」が53.0%と最も高くなります。

一方、「フルタイム（休業中）」は、「0歳」が60.3%と最も高く、年齢が上がるほど割合は低くなる傾向にあり、「1歳」が24.6%で、「5歳」が3.4%と最も低くなります。

また、「パート・アルバイト等（休業中）」でも、「0歳」の割合が最も高いことから、働いている母親では、子どもが生まれて「1歳」になるまで休業を取る人が多いことがわかります。

「以前は就労していた」は、「0歳」と「1歳」が20%台で、「2歳」以降は割合が10%台と低くなることから、子どもが「2歳」になる頃から、再び働きに出る母親が多くなると言えます。

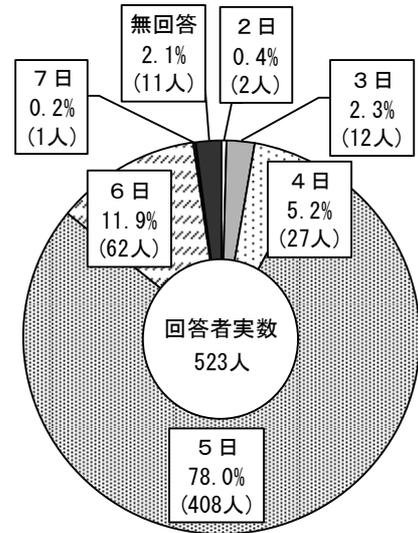
母親の就労状況(子どもの年齢別)



2) 1週あたりの就労日数

現在、就労している(休業中も含む)母親の1週あたりの就労日数は、「5日」が78.0%と最も高く、次に「6日」が11.9%となります。

母親の1週あたりの就労日数

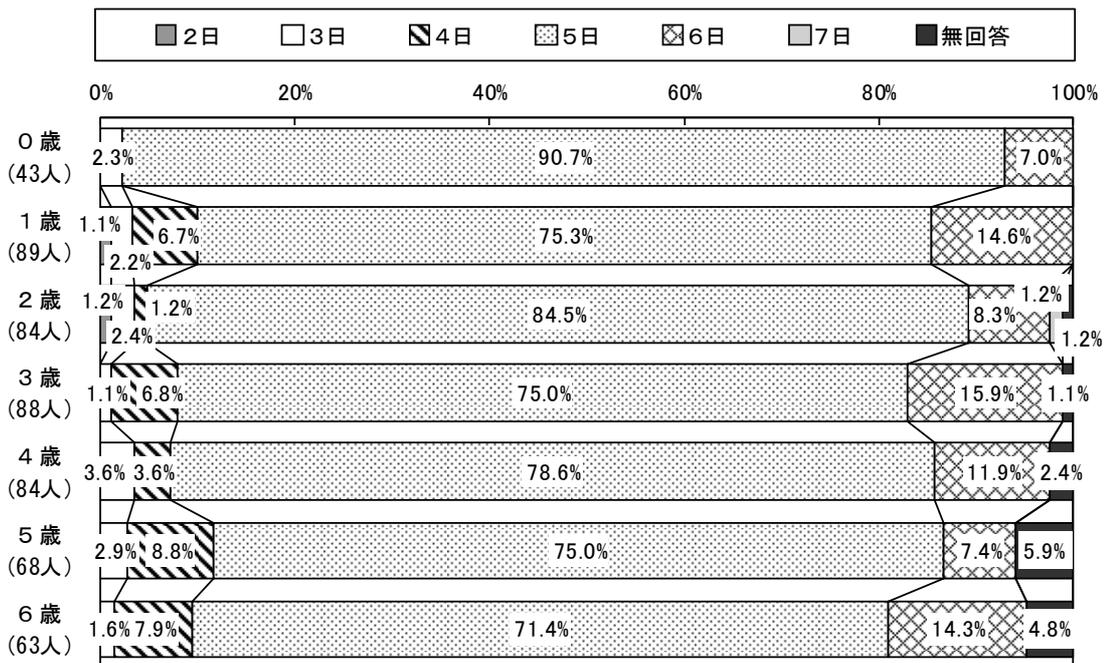


子どもの年齢別にみると、週「5日」の就労は、全ての年齢で70%以上を占め、中でも「0歳」が90.7と最も高くなります。

週「6日」の就労は、「0歳」と「5歳」が7%台と低く、「1歳」、「3歳」、「6歳」が14%～15%程度と高くなります。

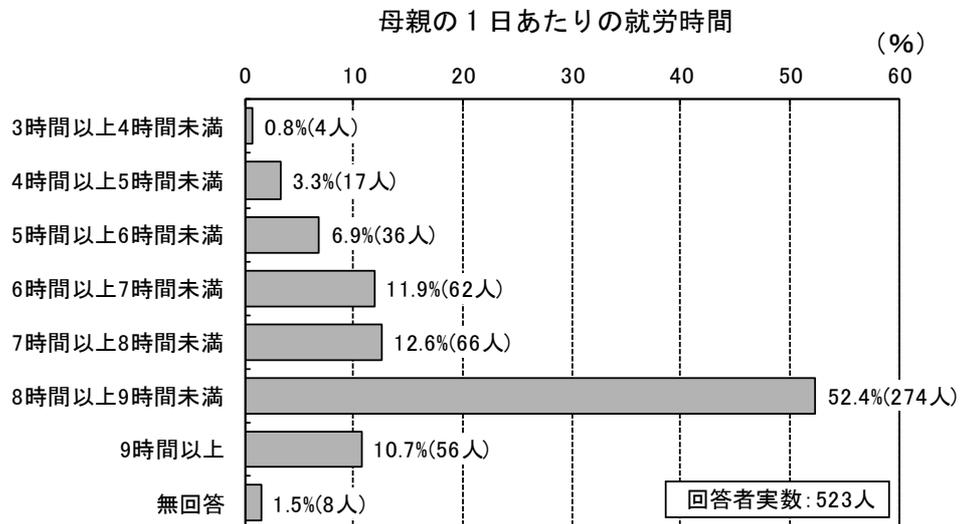
また、週「2日」から「4日」の就労を合わせた割合は、「5歳」が11.7%、「1歳」が10.0%と高く、「0歳」が2.3%と最も低くなります。

母親の1週あたりの就労日数(子どもの年齢別)



3) 1日あたりの就労時間（残業時間を含む）

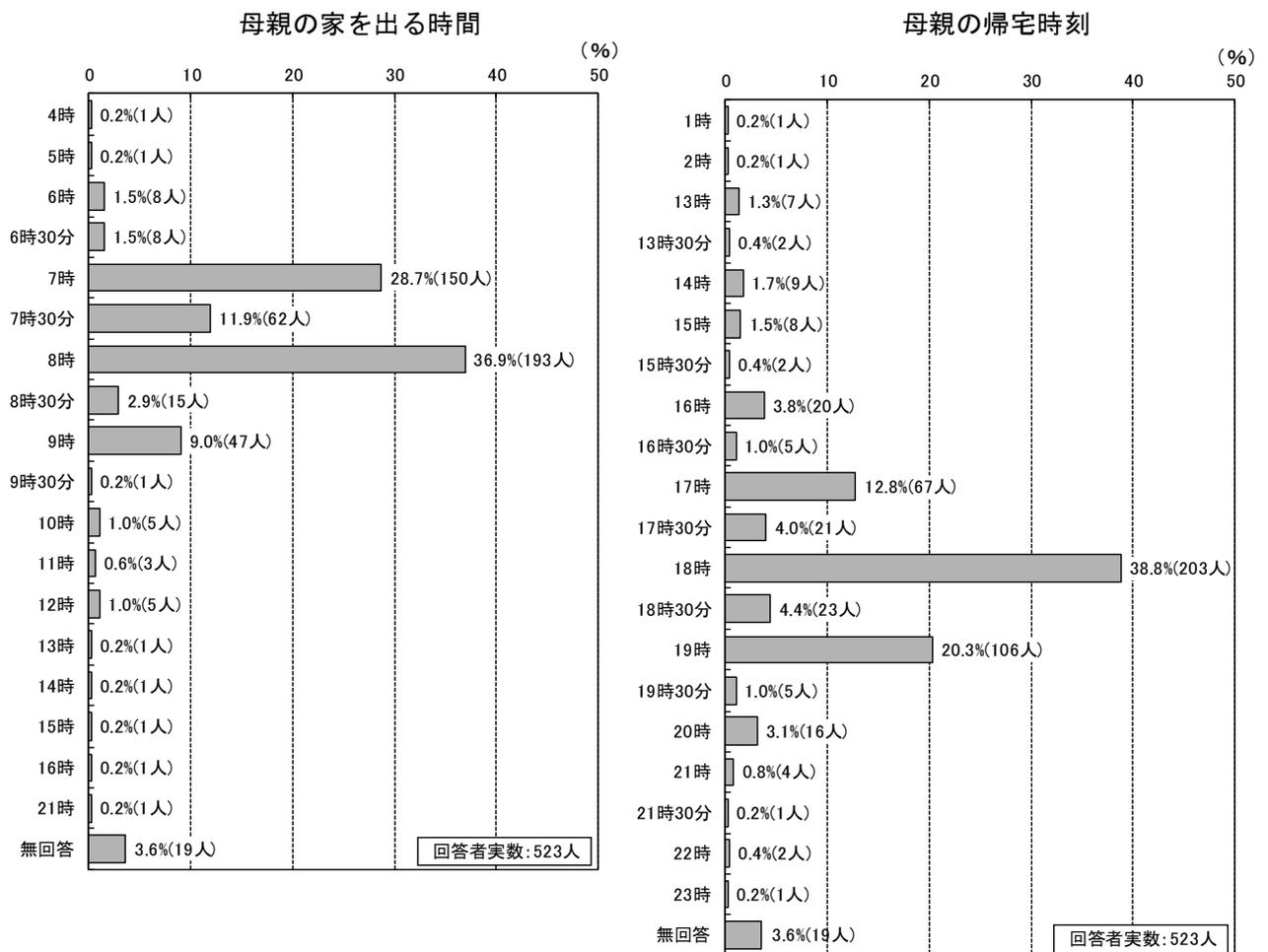
現在、就労している(休業中も含む)母親の1日あたりの就労時間(残業時間を含む)は、「8時間以上9時間未満」が52.4%と最も高く半数以上を占めます。次に「7時間以上8時間未満」が12.6%、「6時間以上7時間未満」が11.9%、「9時間以上」が10.7%と、それぞれ1割余りを占めます。



4) 就労のために家を出る時間・帰宅時間

母親が就労のために家を出る時間は、「8時」が36.9%と最も高く、次に「7時」が28.7%となります。また、「7時30分」を含む「7時」から「8時」までを合わせた割合は、77.5%となります。

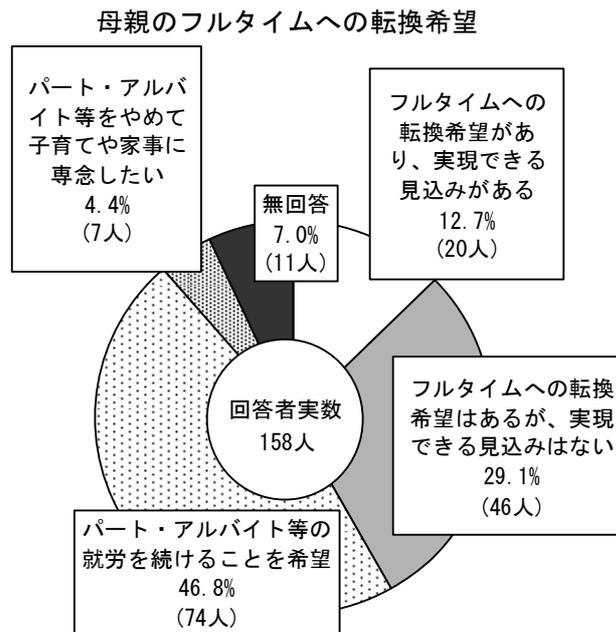
帰宅時刻は、「18時」が38.8%と最も高く、次に「19時」が20.3%となります。また、「18時30分」を含む「18時」から「19時」までを合わせた割合は、63.5%となります。



5) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が46.8%が最も高く、今まで通りの就労を希望する母親が多い結果となります。

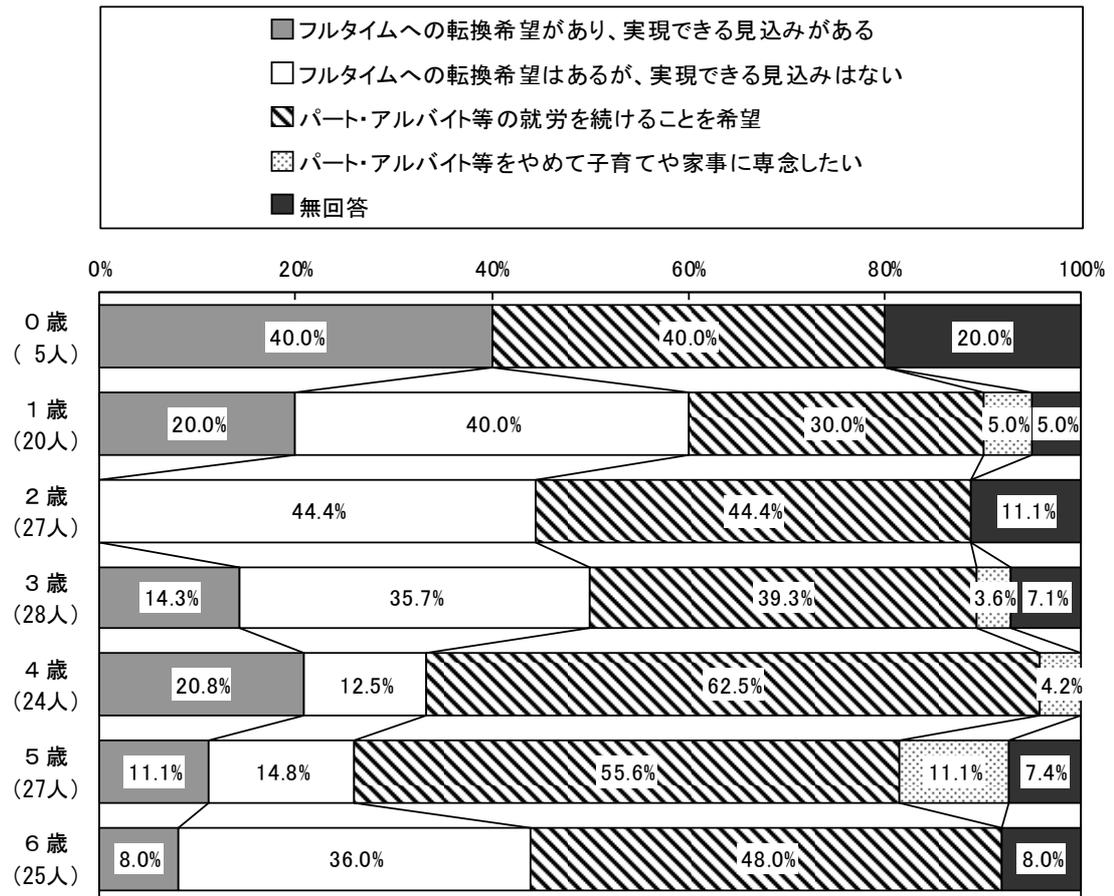
一方、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が29.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が12.7%で、合わせると41.8%がフルタイムへの転換を希望しています。



子どもの年齢別にみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」は、「4歳」が62.5%と最も高く、次に「5歳」が55.6%、「0歳」、「2歳」、「6歳」がいずれも40%台で、「1歳」が30.0%と最も低くなります。

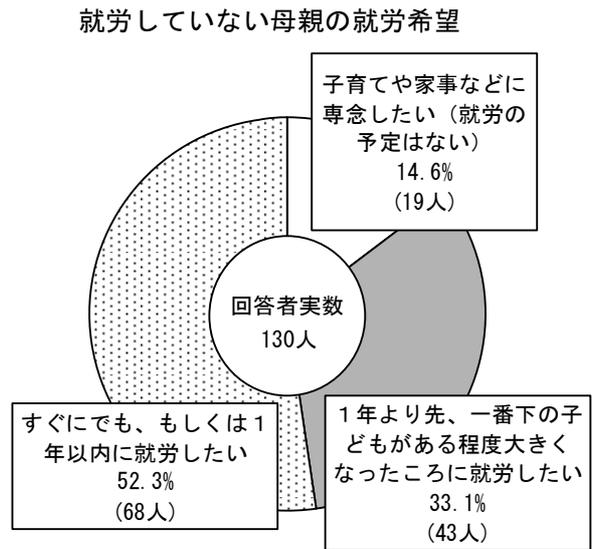
一方、フルタイムへの実現の見込の有無を合せた転換希望は、「1歳」が60.0%と最も高く、次に「3歳」が50.0%となります。また、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」は、「5歳」が11.1%と最も高く、次に「1歳」が5.0%となります。

母親のフルタイムへの転換希望(子どもの年齢別)



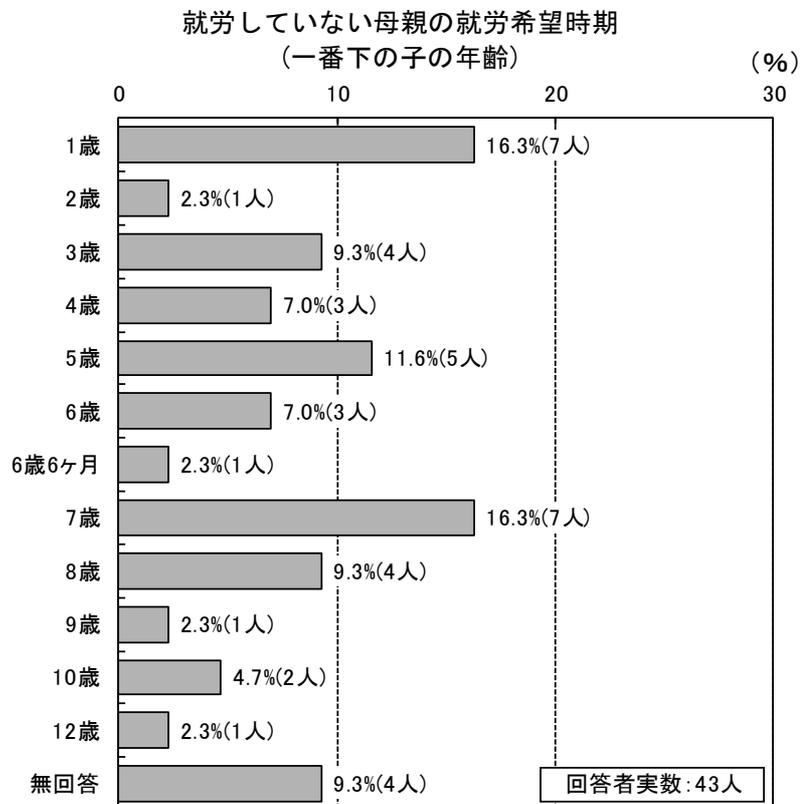
6) 就労していない母親の就労希望・就労時期

「以前は就労していた」、「これまで就労したことがない」と答えた母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が52.3%と最も高く半数以上を占めます。次に「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」が33.1%で、合わせると85.4%の母親が今後の就労を希望しています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が14.6%となります。



「1年より先、一番下の子どもがある程度大きくなったところに就労したい」と答えた母親の就労を希望する時期は、一番下の子の年齢が「1歳」と「7歳」になった時がともに16.3%と最も高く、次に「5歳」になった時が11.6%となります。

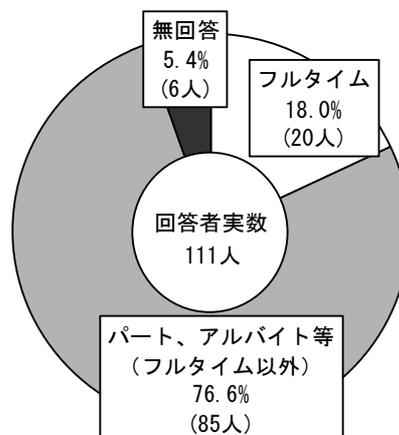
また、「1歳」から「6歳」までを合わせると、53.5%となります。



7) 母親の希望する就労形態

今後就労したいと考えている母親の希望する就労形態は、「パート・アルバイト等(フルタイム以外)」が76.6%と多数を占め、「フルタイム」が18.0%となります。

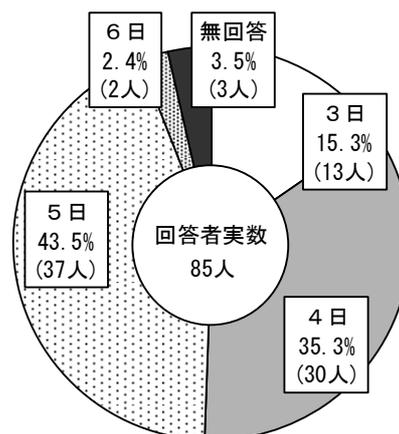
母親の希望する就労形態



8) パート等を希望する母親の希望する就労日数・就労時間

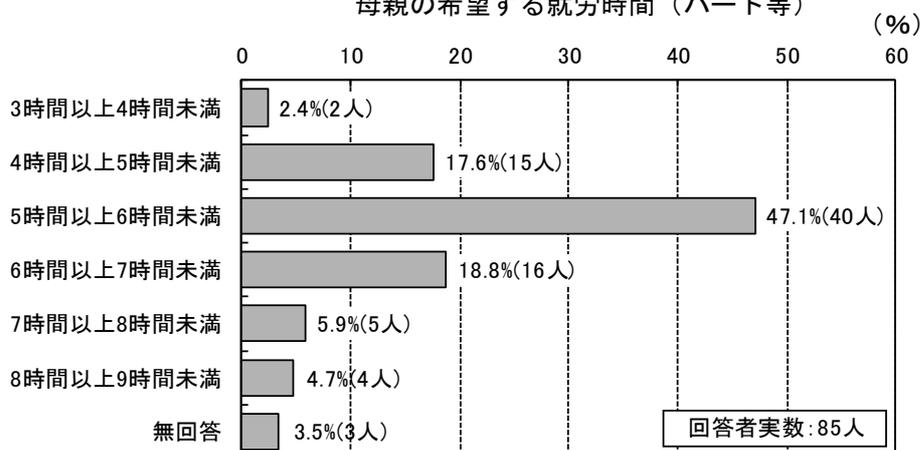
今後就労したいと考えている母親のうち、希望する就労形態を「パート、アルバイト等(フルタイム以外)」と答えた母親の、希望する1週間あたりの就労日数は、「5日」が43.5%と最も高く、次に「4日」が35.3%、「3日」が15.3%となります。

母親の希望する就労日数 (パート等)



また、希望する1日あたりの就労時間は、「5時間以上6時間未満」が47.1%と最も高く、次に「6時間以上7時間未満」が18.8%、「4時間以上5時間未満」が17.6%となります。

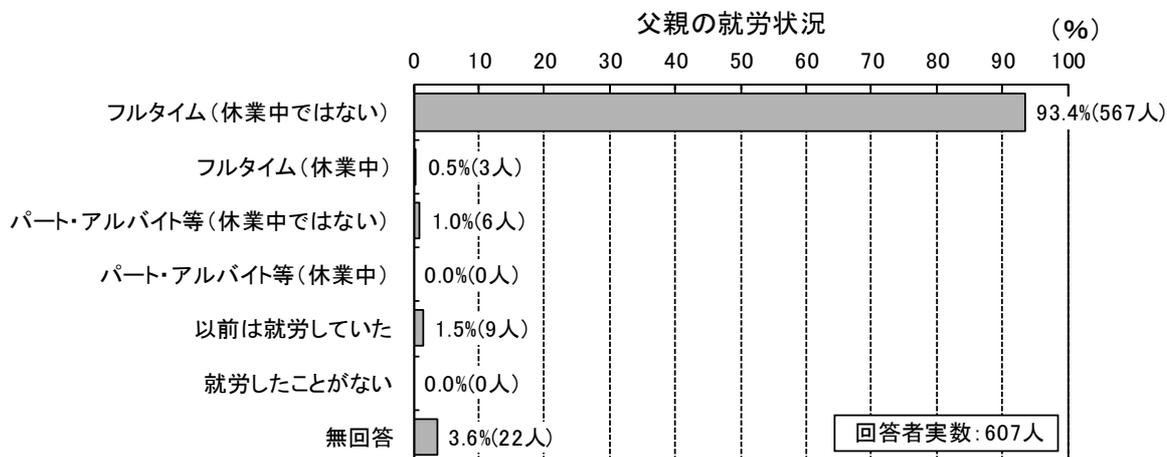
母親の希望する就労時間 (パート等)



(2) 父親の就労状況

1) 就労状況

父親の現在の就労状況については、「フルタイム（休業中ではない）」が93.4%とほとんどを占め、次に「以前は就労していた」が1.5%、「パート・アルバイト等（休業中ではない）」が1.0%となります。



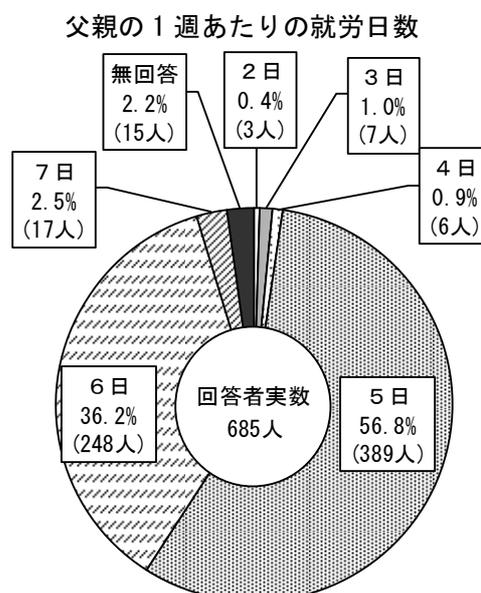
選択肢の略称	選択肢の内容
フルタイム（休業中ではない）	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイム（休業中）	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（休業中ではない）	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（休業中）	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
以前は就労していた	以前は就労していたが、現在は就労していない
就労したことがない	これまで就労したことがない

* フルタイムとは、1週5日程度で1日8時間程度の就労

* パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労

2) 1週あたりの就労日数

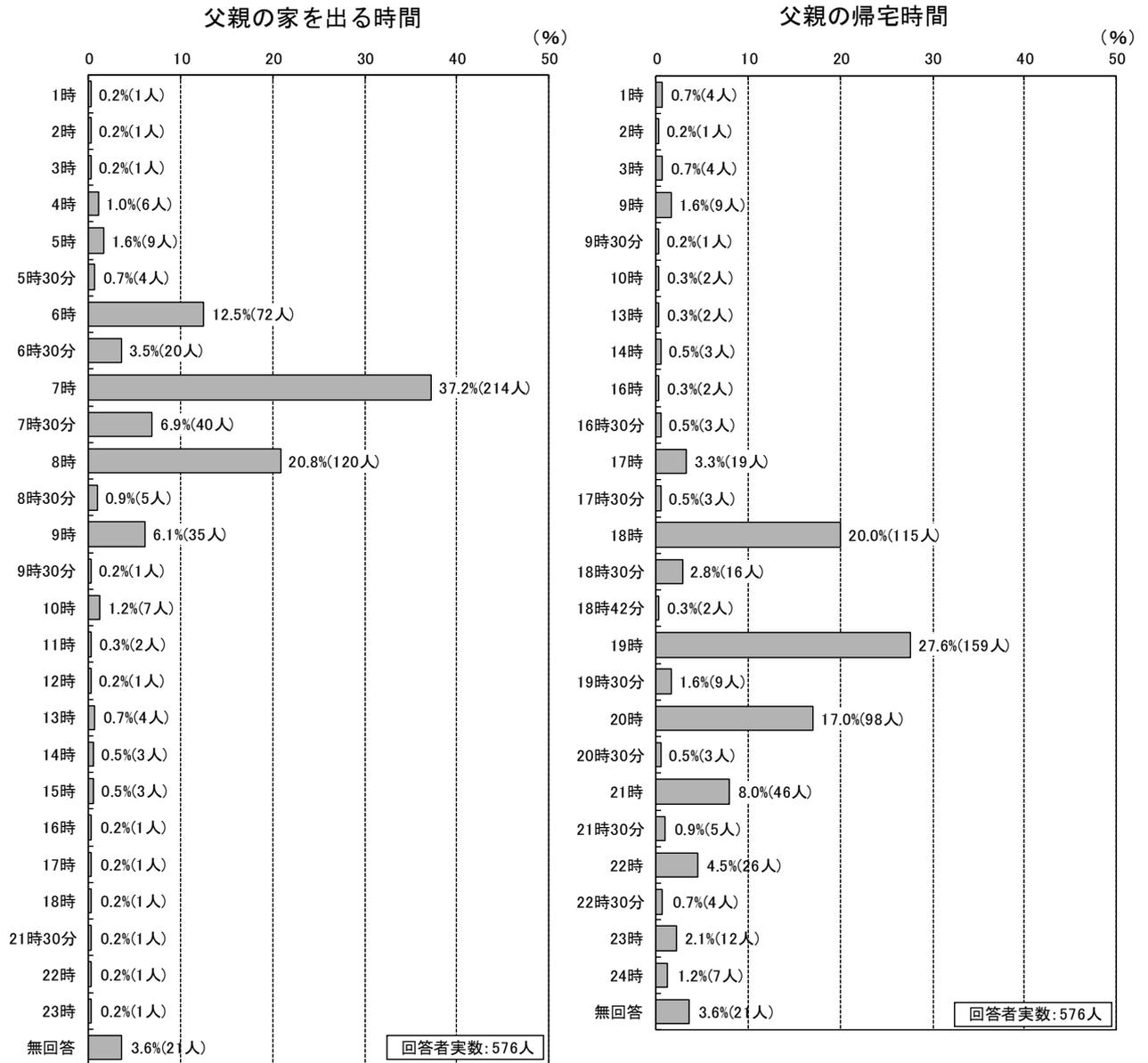
現在、就労している（休業中も含む）父親の1週あたりの就労日数は、「5日」が56.8%と最も高く、次に「6日」が36.2%となります。



3) 就労のために家を出る時間・帰宅時間

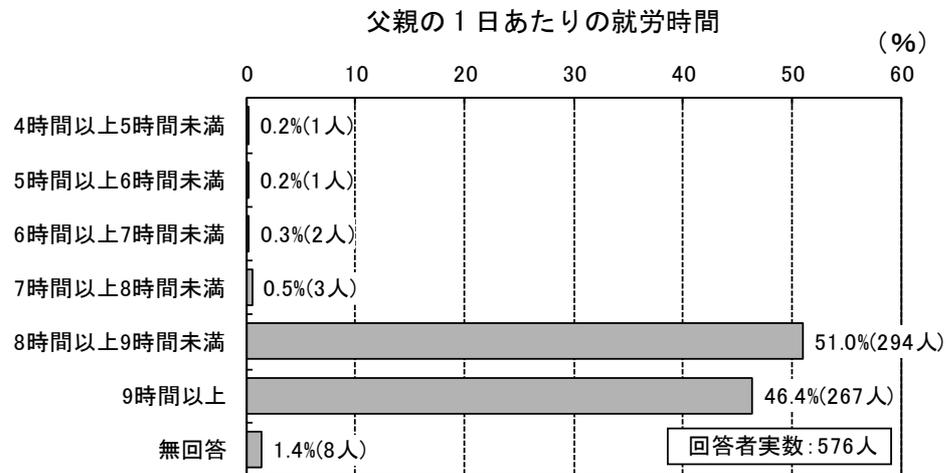
父親が就労のために家を出る時間は、「7時」が37.2%と最も高く、次に「8時」が20.8%となります。また、「7時30分」を含む「7時」から「8時」までを合わせた割合は、64.9%となります。

帰宅時間は、「19時」が27.6%と最も高く、次に「18時」が20.0%、「20時」が17.0%となります。また、「18時30分」と「19時30分」を含む、「18時」から「20時」までを合わせた割合は、69.3%となります。



4) 1日あたりの就労時間（残業時間を含む）

現在、就労している（休業中も含む）父親の1日あたりの就労時間（残業時間を含む）は、「8時間以上9時間未満」が51.0%と最も高く、次に「9時間以上」が46.4%となります。



5) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイト等で就労している父親(6人)のフルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が50.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が16.7%となります。

父親のフルタイムへの転換希望内容

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	50.0%(3人)
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	16.7%(1人)
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	16.7%(1人)
無回答	16.7%(1人)
回答者実数	6人

6) 就労していない父親の就労希望

「以前は就労していた」と答えた父親(9人)の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が22.2%で、就労を考えていない父親が2割程度います。

就労していない父親の就労希望

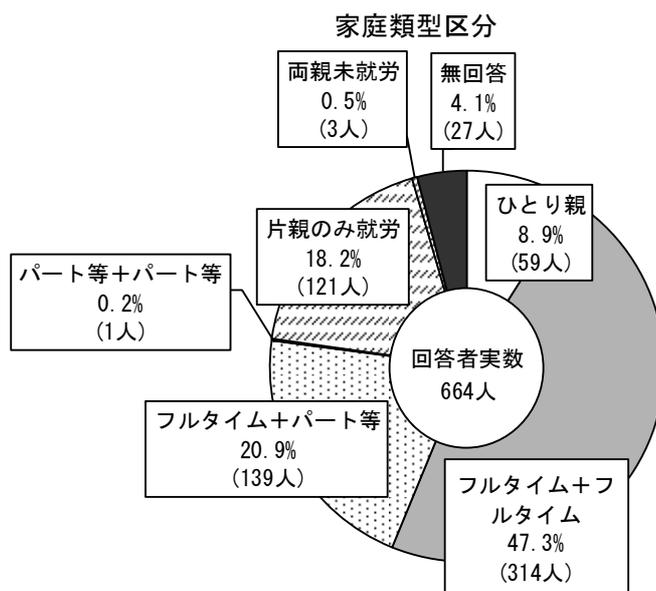
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	22.2%(2人)
1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい	22.2%(2人)
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	22.2%(2人)
無回答	33.3%(3人)
回答者実数	9人

(3) 家庭類型区分

保護者の配偶関係と就労状況から、家庭のタイプを区分した家庭類型区分をみると、「フルタイム+フルタイム」が47.3%と最も高くなります。次に「フルタイム+パート等」が20.9%、「片親のみ就労」が18.2%となります。

「ひとり親」は8.9%で、そのうちフルタイムが6.6%（44人）、パート・アルバイト等が1.2%（8人）、未就労が0.9%（6人）となります。

また、「フルタイム+フルタイム」、「フルタイム+パート等」、「パート等+パート等」を合わせた共働き世帯は68.4%となります。



家庭類型区分	内容
タイプA：ひとり親	母親だけもしくは父親だけと同居
タイプB：フルタイム+フルタイム	母親、父親ともフルタイムで就労
タイプC：フルタイム+パート等	母親、父親のうち一人がフルタイム、一人がパート等で就労
タイプD：パート等+パート等	母親、父親ともパート等で就労
タイプE：片親のみ就労	母親、父親のうち一人が就労、一人が未就労
タイプF：両親未就労	母親、父親とも未就労

子どもの年齢別にみると、「フルタイム+フルタイム」は、全ての年齢で最も割合が高くなりますが、年齢が上がるほど割合は低くなる傾向にあり、「0歳」が57.6%と最も高く、「5歳」が36.7%と最も低くなります。

「フルタイム+パート等」は、「6歳」が29.7%と最も高く、「0歳」が10.2%と最も低くなります。

「ひとり親」は、「0歳」から「3歳」が5%~7%程度と低く、「4歳」以上ではいずれも10%台の割合となります。

家庭類型区分(子どもの年齢別)

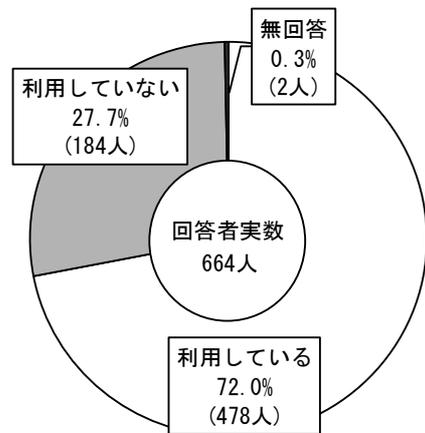
	回答者実数	ひとり親	フルタイム+フルタイム	フルタイム+パート等	パート等+パート等	片親のみ就労	両親未就労	無回答
0歳	59人	6.8% (4人)	57.6% (34人)	10.2% (6人)	—	22.0% (13人)	—	3.4% (2人)
1歳	126人	5.6% (7人)	52.4% (66人)	13.5% (17人)	—	23.8% (30人)	0.8% (1人)	4.0% (5人)
2歳	99人	6.1% (6人)	51.5% (51人)	26.3% (26人)	—	13.1% (13人)	—	3.0% (3人)
3歳	110人	7.3% (8人)	49.1% (54人)	24.5% (27人)	—	18.2% (20人)	—	0.9% (1人)
4歳	100人	15.0% (15人)	46.0% (46人)	16.0% (16人)	1.0% (1人)	16.0% (16人)	1.0% (1人)	5.0% (5人)
5歳	90人	10.0% (9人)	36.7% (33人)	25.6% (23人)	—	20.0% (18人)	1.1% (1人)	6.7% (6人)
6歳	74人	13.5% (10人)	37.8% (28人)	29.7% (22人)	—	12.2% (9人)	—	6.8% (5人)

5. 平日の定期的な教育・保育の事業の利用状況

(1) 定期的な教育・保育の事業の利用

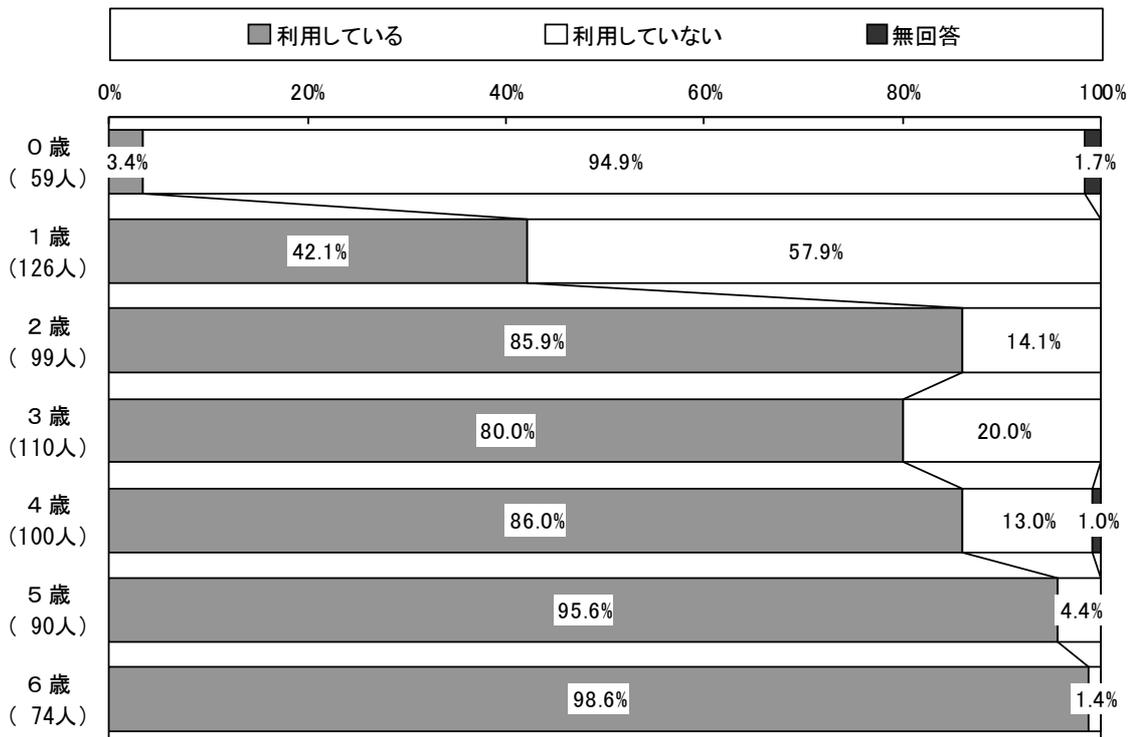
幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育の事業の利用については、「利用している」が72.0%、「利用していない」が27.7%となります。

定期的な教育・保育の事業の利用

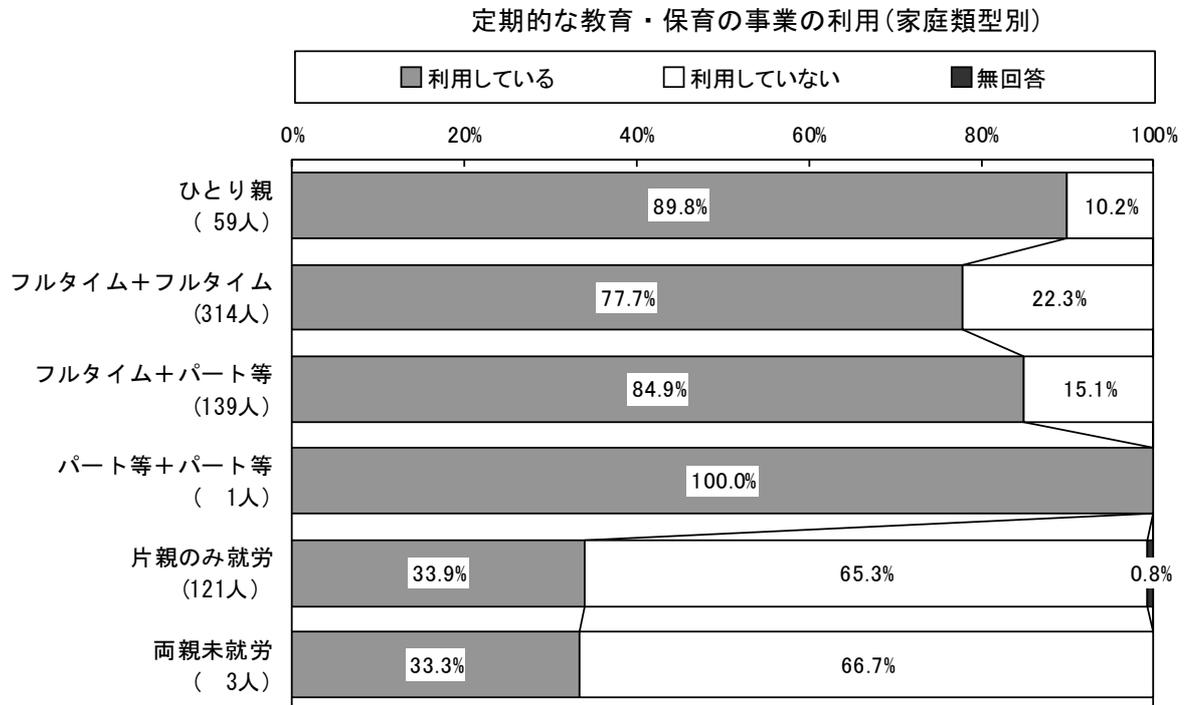


子どもの年齢別にみると、「利用している」は、「0歳」が3.4%と最も低くなりますが、「1歳」から大きく上昇し、子どもの年齢が高いほど割合も高くなる傾向にあり、「5歳」と「6歳」では、ほぼ100%となります。

定期的な教育・保育の事業の利用(子どもの年齢別)



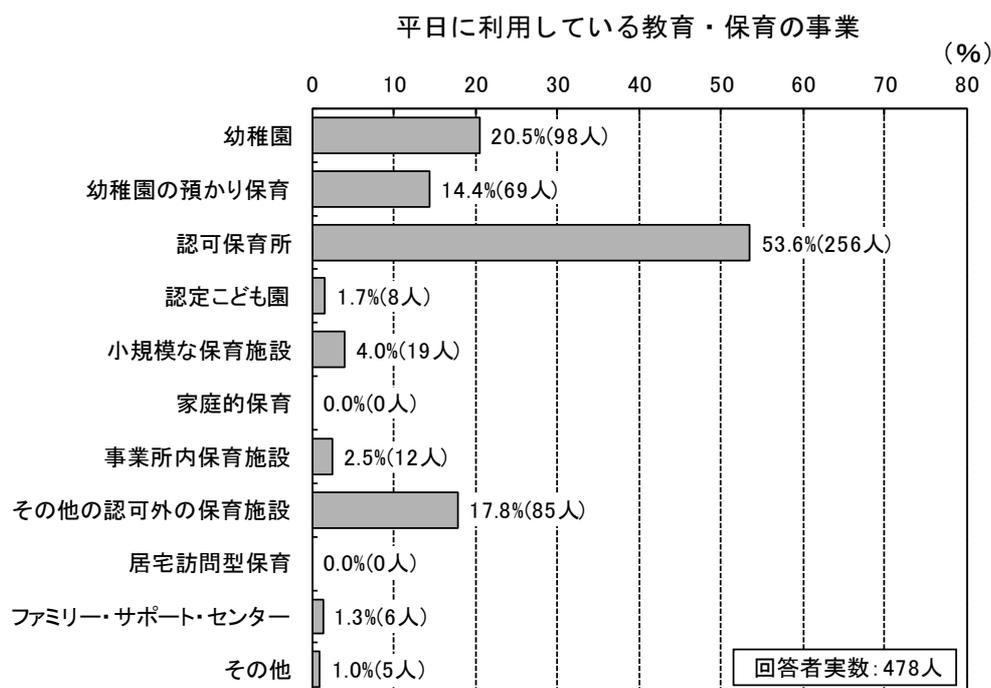
家庭類型別にみると、「利用している」は、「パート+パート等」が100.0%となります。次に「ひとり親」が89.8%、「フルタイム+パート等」が84.9%、「フルタイム+フルタイム」が77.7%と高く、「片親のみ就労」と「両親未就労」が33%台と低くなります。



(2) 平日に利用している教育・保育の事業（複数回答）

定期的な教育・保育の事業を「利用している」と答えた保護者が、平日に利用している教育・保育の事業は、「認可保育所」が53.6%と最も高く、次に「幼稚園」が20.5%、「その他の認可外の保育施設」が17.8%となります。

また、「幼稚園の預かり保育」が14.4%（69人）で、これは「幼稚園」を利用している子（98人）の70.4%にあたります。



事業名称	事業概要
幼稚園	通常の就園時間である14時までの利用
幼稚園の預かり保育	通常の就園時間を延長して14時～18時まで預かる事業のうち定期的な利用のみ
認可保育所	国が定める基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの
小規模な保育施設	国が定める基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人の施設
家庭的保育	保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業
事業所内保育施設	企業が主に従業員用に運営する施設
その他の認可外の保育施設	認可等を受けていない保育施設
居宅訪問型保育	ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業
ファミリー・サポート・センター	地域住民が子どもを預かる事業

子どもの年齢別にみると、「認可保育所」の利用率は、「2歳」と「3歳」がともに65.9%と最も高く、次に「4歳」が61.6%となります。また、「6歳」が20.5%と最も低くなります。

一方、「幼稚園」の利用率は、「6歳」が71.2%と最も高く、次に「5歳」が36.0%となります。

また、「その他の認可外の保育施設」の利用率は、「0歳」が100.0%、「1歳」と「2歳」、「4歳」が20%台で、「5歳」が7.0%、「6歳」が8.2%と低くなります。

平日に利用している教育・保育の事業(子どもの年齢別)

	回答者実数	幼稚園	保育 幼稚園の預かり	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
0歳	2人	—	—	—	—	—	—	100.0% (2人)	—	—	—
1歳	53人	1.9% (1人)	1.9% (1人)	50.9% (27人)	—	13.2% (7人)	9.4% (5人)	26.4% (14人)	—	—	—
2歳	85人	1.2% (1人)	1.2% (1人)	65.9% (56人)	—	3.5% (3人)	3.5% (3人)	24.7% (21人)	1.2% (1人)	1.2% (1人)	1.2% (1人)
3歳	88人	2.3% (2人)	—	65.9% (58人)	1.1% (1人)	9.1% (8人)	3.4% (3人)	17.0% (15人)	2.3% (2人)	—	—
4歳	86人	10.5% (9人)	7.0% (6人)	61.6% (53人)	2.3% (2人)	—	1.2% (1人)	23.3% (20人)	1.2% (1人)	2.3% (2人)	—
5歳	86人	36.0% (31人)	22.1% (19人)	52.3% (45人)	4.7% (4人)	1.2% (1人)	—	7.0% (6人)	—	—	—
6歳	73人	71.2% (52人)	57.5% (42人)	20.5% (15人)	1.4% (1人)	—	—	8.2% (6人)	2.7% (2人)	2.7% (2人)	—

家庭類型別にみると、「認可保育所」の利用率は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「ひとり親」が67.9%となります。また、「片親のみ就労」が14.6%と最も低くなります。

「幼稚園」の利用率は、「片親のみ就労」が61.0%と最も高く、次に「フルタイム+パート等」が23.7%となります。

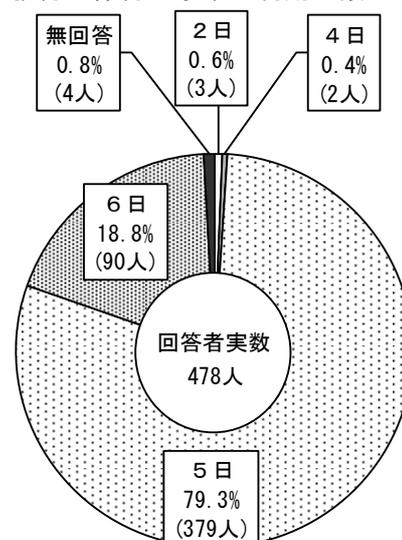
平日に利用している教育・保育の事業(家庭類型別)

	回答者実数	幼稚園	保育 幼稚園の預かり	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	ファミリー・サポ ート・センター	その他	無回答
ひとり親	53人	13.2% (7人)	13.2% (7人)	67.9% (36人)	—	1.9% (1人)	—	18.9% (10人)	5.7% (3人)	—	—
フルタイム +フルタイム	244人	12.7% (31人)	11.9% (29人)	61.9% (151人)	1.6% (4人)	4.5% (11人)	2.5% (6人)	17.6% (43人)	0.8% (2人)	0.4% (1人)	—
フルタイム +パート等	118人	23.7% (28人)	16.9% (20人)	45.8% (54人)	1.7% (2人)	4.2% (5人)	2.5% (3人)	21.2% (25人)	—	0.8% (1人)	0.8% (1人)
パート等 +パート等	1人	—	—	100.0% (1人)	—	—	—	—	—	—	—
片親のみ就労	41人	61.0% (25人)	17.1% (7人)	14.6% (6人)	2.4% (1人)	2.4% (1人)	4.9% (2人)	9.8% (4人)	2.4% (1人)	4.9% (2人)	—
両親未就労	1人	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0% (1人)	—

(3) 教育・保育の事業の利用日数

現在利用している教育・保育の事業の1週あたりの利用日数については、「5日」が79.3%と最も高く、次に「6日」が18.8%となります。

教育・保育の事業の利用日数



子どもの年齢別にみると、週「5日」は、「0歳」が100.0%、次に「6歳」が91.8%、「2歳」が81.2%で、「1歳」が66.0%と最も低くなります。

一方、週「6日」は、「1歳」が34.0%と最も高く、次に「4歳」が23.3%で、「6歳」が6.8%と低くなります。

教育・保育の事業の利用日数（年齢別）

	回答者 実数	2日	4日	5日	6日	無回答
0歳	2人	—	—	100.0% (2人)	—	—
1歳	53人	—	—	66.0% (35人)	34.0% (18人)	—
2歳	85人	1.2% (1人)	—	81.2% (69人)	16.5% (14人)	1.2% (1人)
3歳	88人	—	1.1% (1人)	79.5% (70人)	19.3% (17人)	—
4歳	86人	1.2% (1人)	—	74.4% (64人)	23.3% (20人)	1.2% (1人)
5歳	86人	1.2% (1人)	1.2% (1人)	79.1% (68人)	17.4% (15人)	1.2% (1人)
6歳	73人	—	—	91.8% (67人)	6.8% (5人)	1.4% (1人)

家庭類型別にみると、週「5日」は、「片親のみ就労」が95.1%、次に「フルタイム+パート等」が89.0%で、「ひとり親」が64.2%と低くなります。

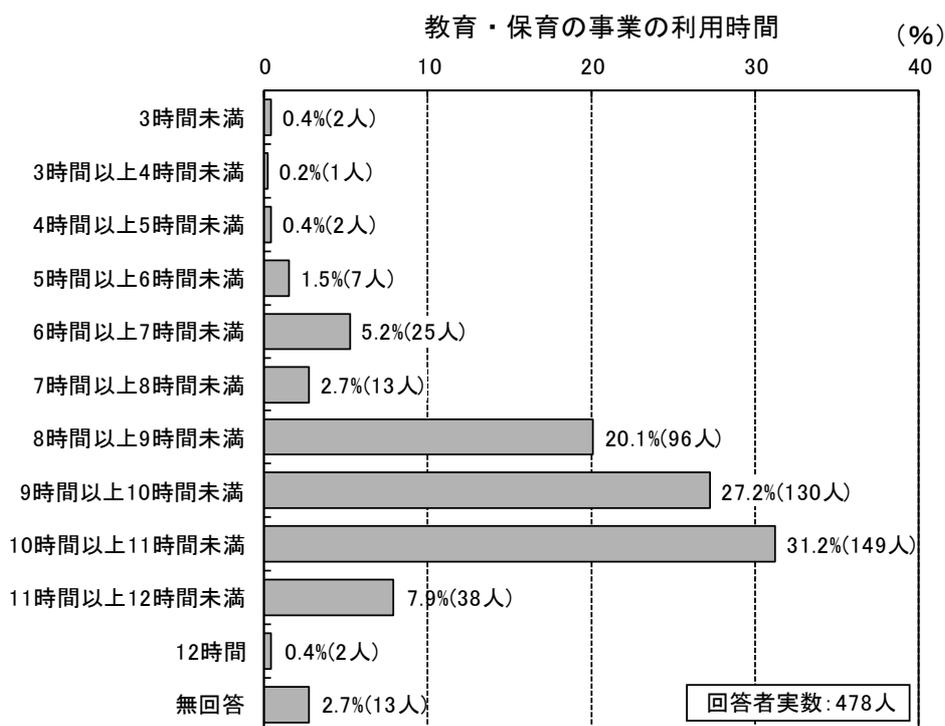
週「6日」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「ひとり親」が34.0%で、「フルタイム+パート等」が9.3%と低くなります。

教育・保育の事業の利用日数(家庭類型別)

	回答者 実数	2日	4日	5日	6日	無回答
ひとり親	53人	—	—	64.2% (34人)	34.0% (18人)	1.9% (1人)
フルタイム +フルタイム	244人	—	0.4% (1人)	76.2% (186人)	23.0% (56人)	0.4% (1人)
フルタイム +パート等	118人	—	0.8% (1人)	89.0% (105人)	9.3% (11人)	0.8% (1人)
パート等 +パート等	1人	—	—	—	100.0% (1人)	—
片親のみ就労	41人	2.4% (1人)	—	95.1% (39人)	—	2.4% (1人)
両親未就労	1人	100.0% (1人)	—	—	—	—

(4) 教育・保育の事業の利用時間

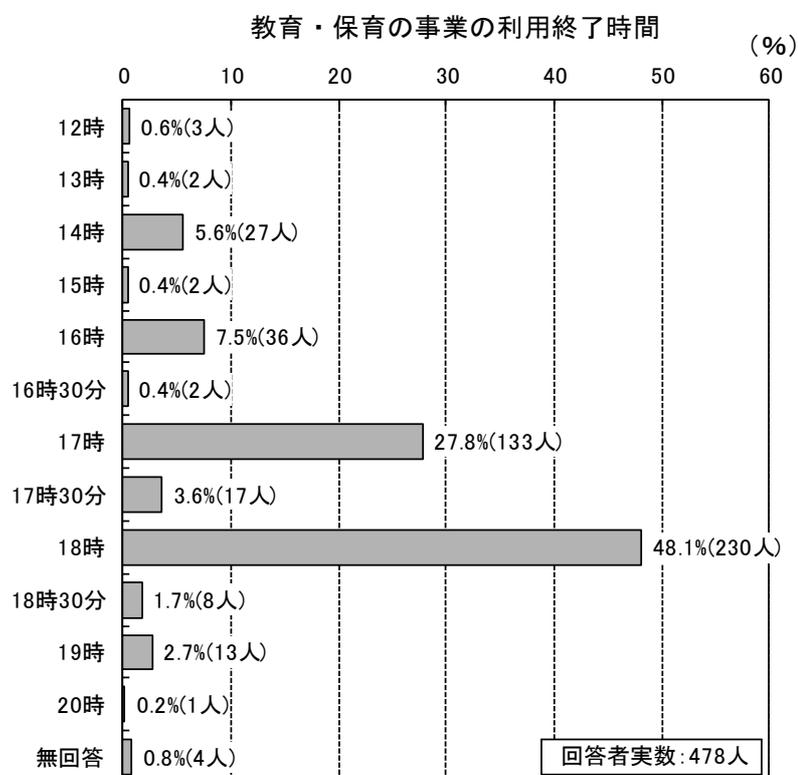
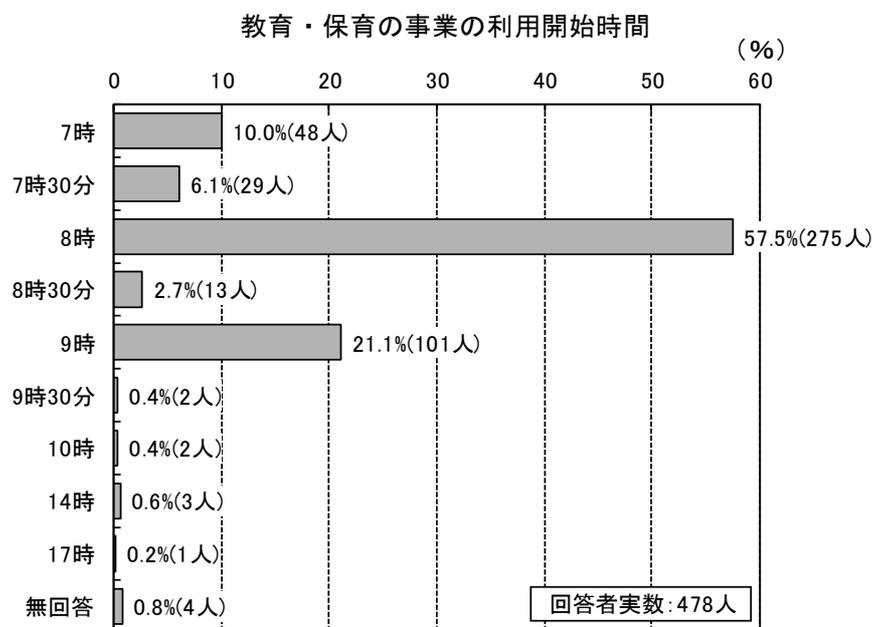
利用している教育・保育の事業の1日の利用時間については、「10時間以上11時間未満」が31.2%と最も高く、次に「9時間以上10時間未満」が27.2%、「8時間以上9時間未満」が20.1%となります。



(5) 教育・保育の事業の利用開始時間・終了時間

現在利用している教育・保育の事業の利用開始時間については、「8時」が57.5%と最も高く、次に「9時」が21.1%、「7時」が10.0%となります。

また、終了時間については、「18時」が48.1%と最も高く、次に「17時」が27.8%となります。



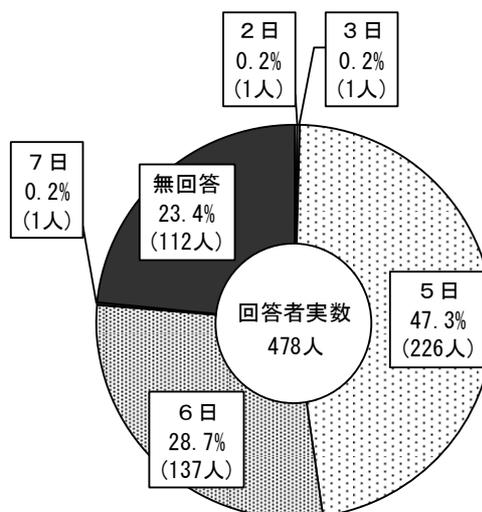
(6) 教育・保育の事業の利用希望日数・希望時間

現在利用している教育・保育の事業について、希望する1週あたりの利用日数は、「5日」が47.3%と最も高く、現在の「5日」の利用割合(79.3%)と比べると、32.0ポイント低くなります。

一方、「6日」の希望が28.7%で、現在の「6日」の利用割合(18.8%)と比べると、9.9ポイント高くなります。

なお、「無回答」が23.4%と高いことから、現状維持を考えている保護者が多いことが考えられるため、一概には比較できません。

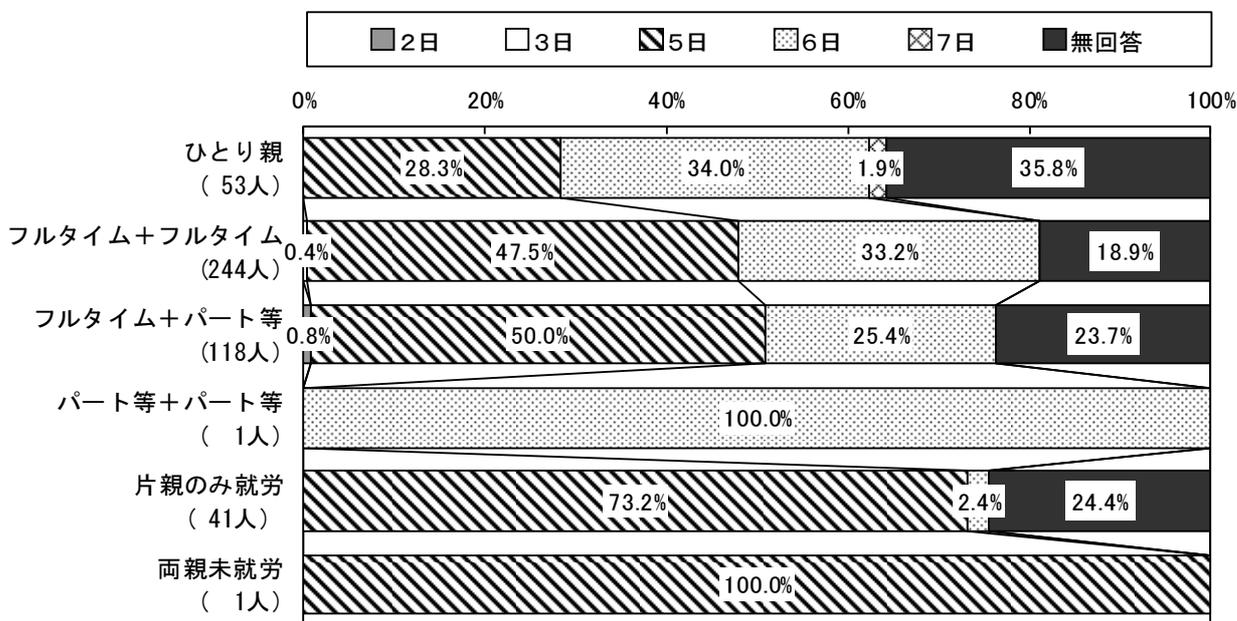
教育・保育の事業の利用希望日数



家庭類型別にみると、週「5日」は、「両親未就労」が100.0%、「片親のみ就労」が73.2%と高く、「ひとり親」が28.3%と低くなります。

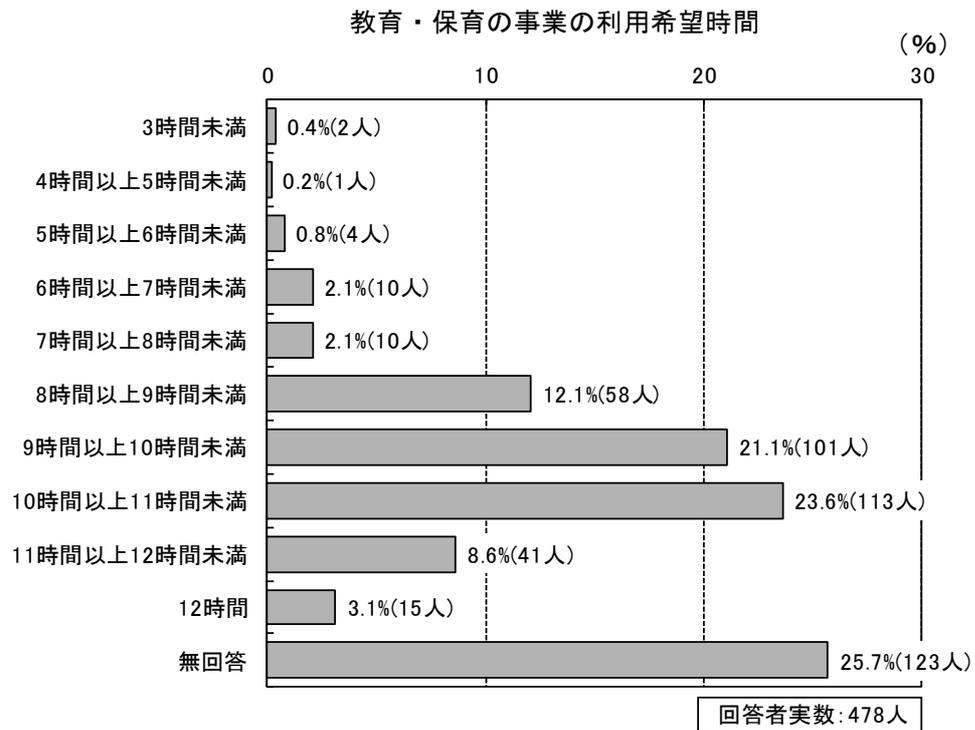
週「6日」は、「パート等+パート等」が100.0%、「ひとり親」と「フルタイム+フルタイム」が30%台で、「片親のみ就労」が2.4%と低くなります。

教育・保育の事業の利用希望日数（家庭類型別）



次に、現在利用している教育・保育の事業について、希望する1日あたりの利用時間は、「10時間以上11時間未満」が23.6%と最も高く、次に「9時間以上10時間未満」が21.1%、「8時間以上9時間未満」が12.1%となります。傾向としては、現在の利用時間と似かよった傾向にあります。

なお、利用希望日数と同じく「無回答」が25.7%と高く、現状のままでよいとする保護者が多いことが考えられます。

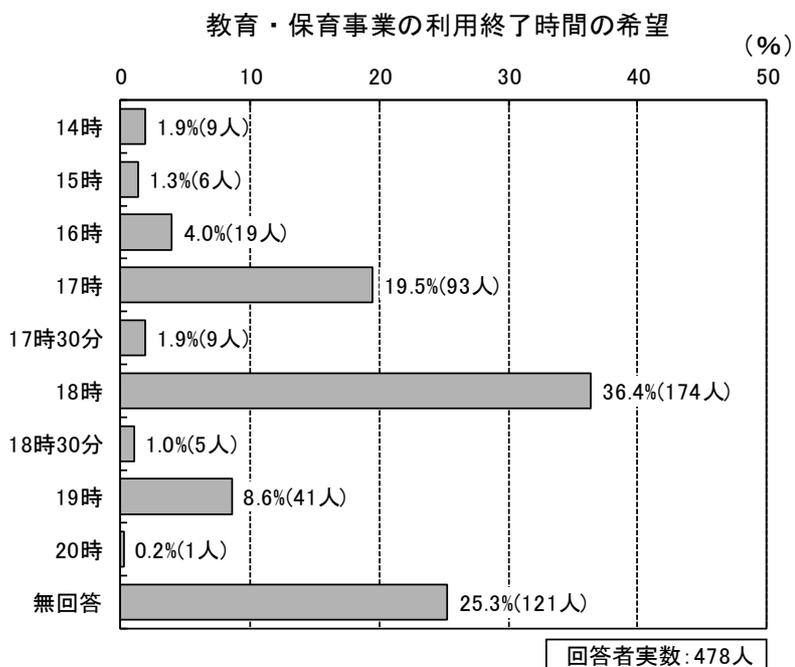
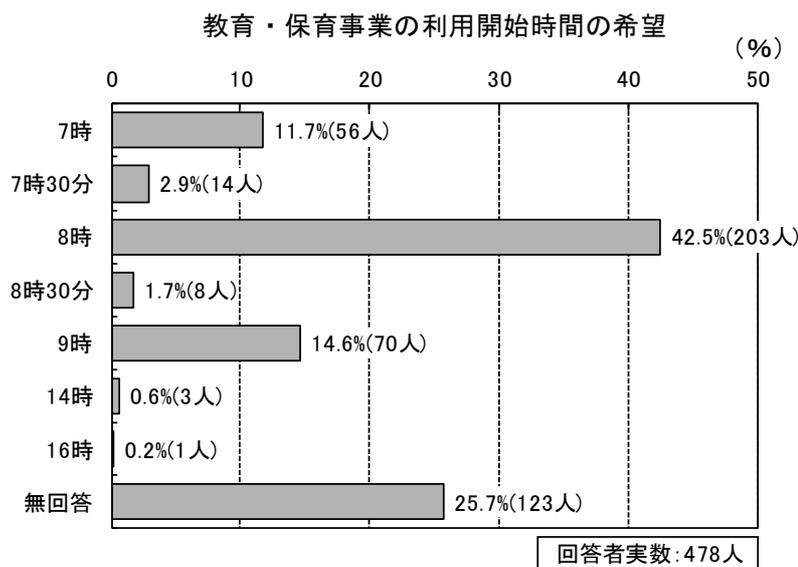


(7) 教育・保育事業の利用開始時間・終了時間の希望

現在利用している教育・保育の事業について、希望する利用開始時間は、「8時」が42.5%と最も高く、次に「9時」が14.6%、「7時」が11.7%となります。現在の利用開始時間にある「17時」の利用希望はありません。

また、希望する利用終了時間は、「18時」が36.4%と最も高く、次に「17時」が19.5%となります。現在の利用終了時間にある「12時」と「13時」の利用希望はありません。

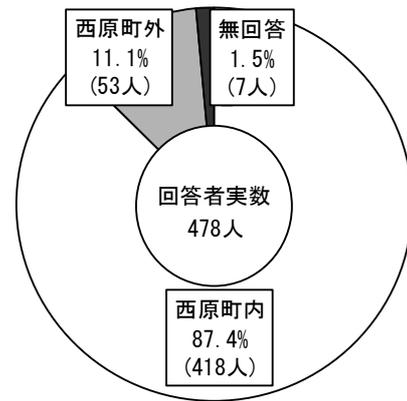
なお、利用開始時間、終了時間のいずれも「無回答」が多くなりますが、回答の傾向としては現在の利用状況と似かよった傾向にあります。



(8) 教育・保育の事業の実施場所

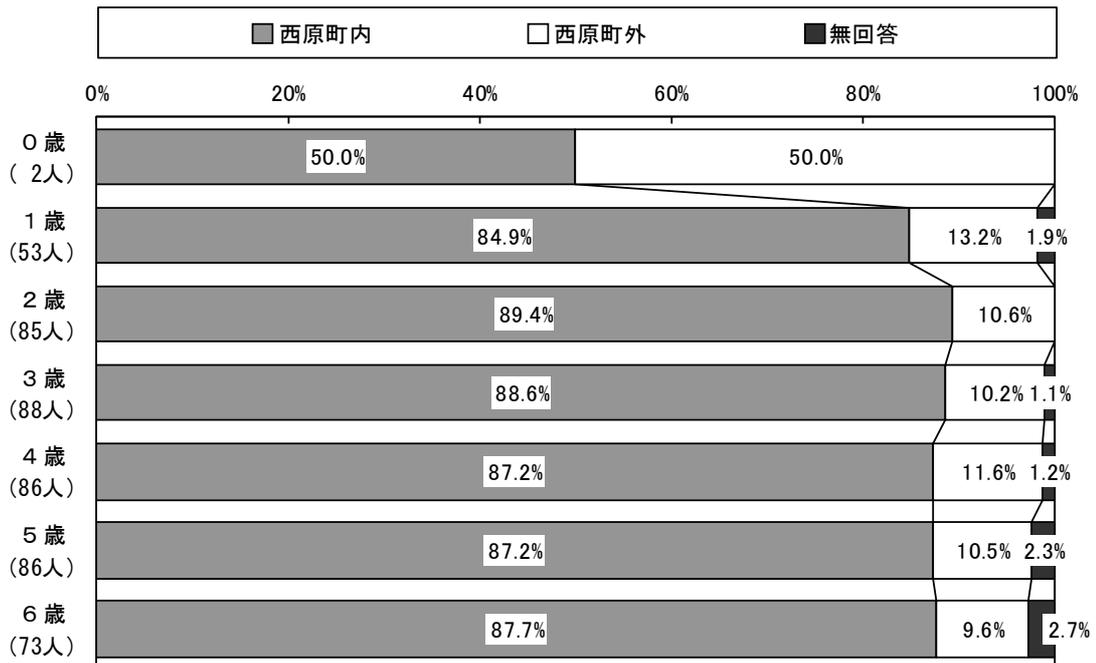
現在利用している教育・保育の事業の実施場所については、「西原町内」が87.4%とほとんどを占め、「西原町外」が11.1%となります。

教育・保育の事業の実施場所



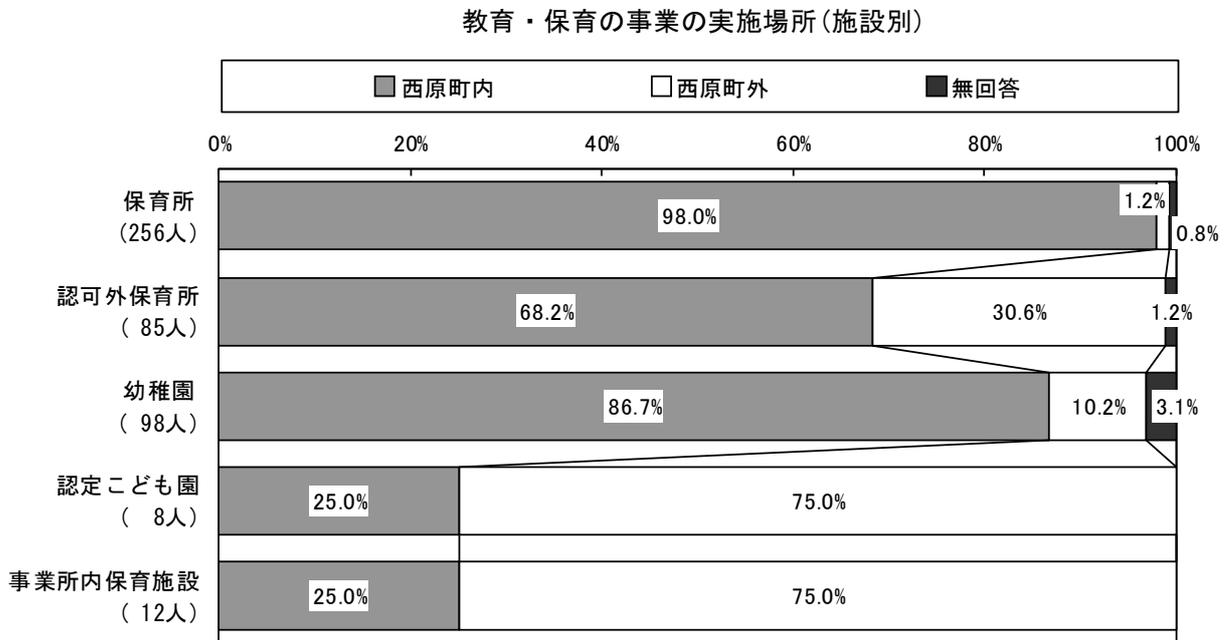
子どもの年齢別にみると、「西原町内」の割合は、「0歳」が50.0%と最も低く、「1歳」から「6歳」までいずれも80%台の割合となります。

教育・保育の事業の実施場所(子どもの年齢別)



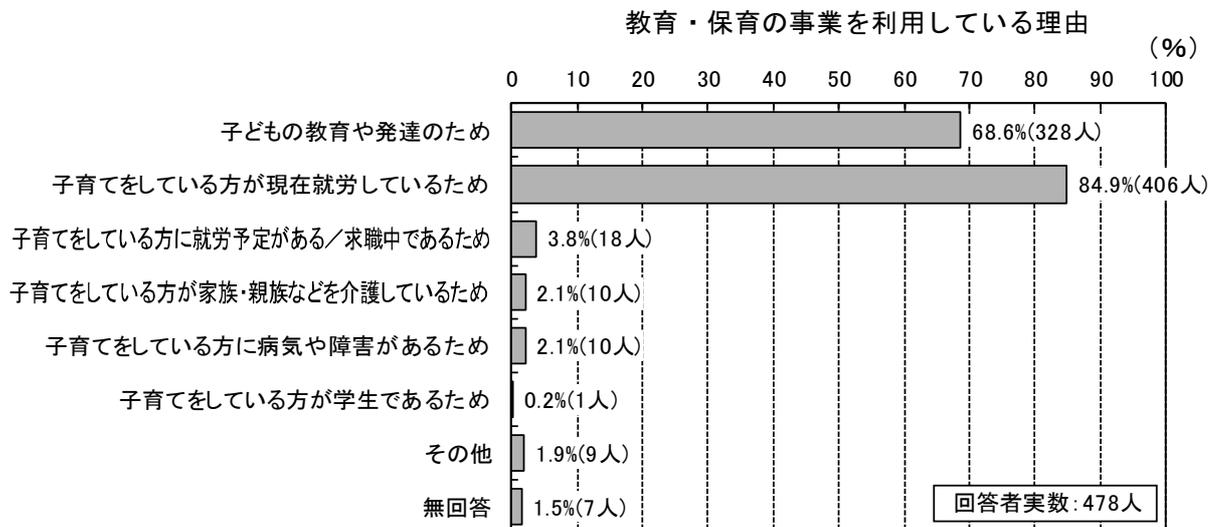
利用している施設別にみると、「西原町内」では、「認可保育所」が98.0%と最も高く、次に「幼稚園」が86.7%、「認可外保育所」が68.2%と高い割合となります。

「西原町外」では、「認定こども園」と「事業所内保育施設」がともに75.0%と多数を占めます。



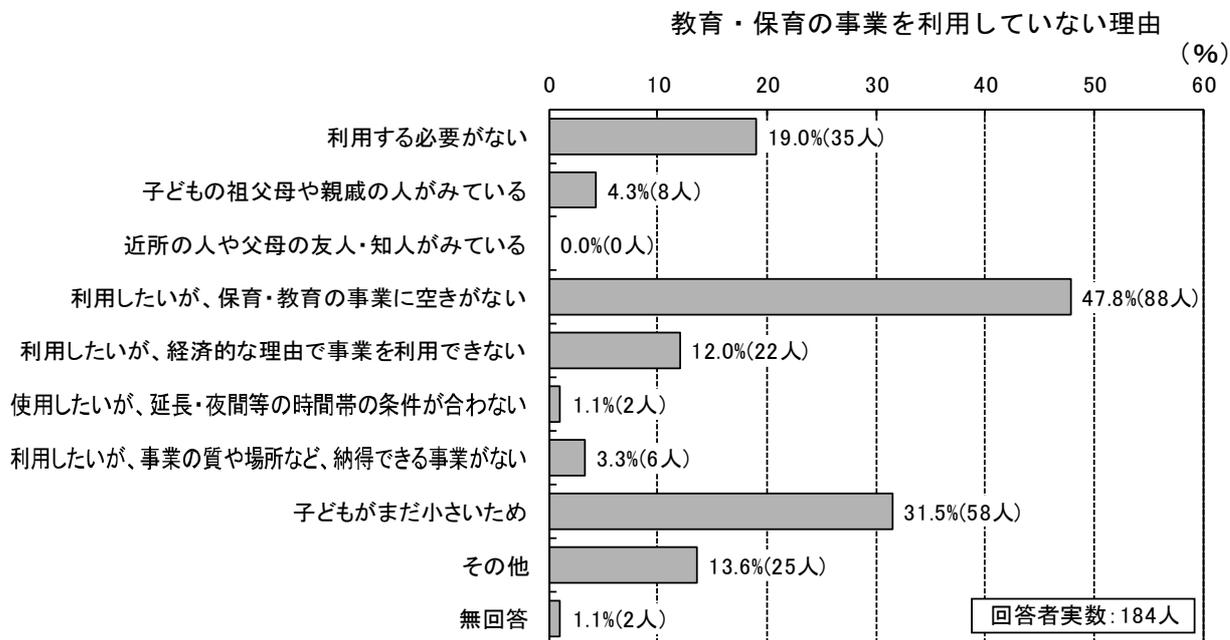
(9) 教育・保育の事業を利用している主な理由(複数回答)

平日に定期的に教育・保育の事業を「利用している」と答えた保護者の、利用している理由については、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労しているため」が84.9%と最も高く、次に「子どもの教育や発達のため」が68.6%で、以上の2つが主な理由となります。



(10) 教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）

現在、定期的な教育・保育の事業を「利用していない」と答えた保護者の、利用していない理由については、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が47.8%と最も高く、次に「子どもがまだ小さいため」が31.5%、「利用する必要がない」が19.0%となります。



子どもの年齢別にみると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は、「1歳」と「2歳」が64%台と高く、「0歳」が25.0%と最も低くなります。

「子どもがまだ小さいため」は、「0歳」から「4歳」までの回答があり、「0歳」が51.8%と最も高く、次に「3歳」が35.7%で、「4歳」が7.7%と最も低くなります。

「利用する必要がない」は、年齢が高いほど割合も高くなる傾向にあり、「6歳」が100.0%、次に「5歳」が50.0%となります。

教育・保育の事業を利用していない理由(子どもの年齢別)

	回答者実数	利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他
0歳	56人	12.5% (7人)	—	—	25.0% (14人)	5.4% (3人)	1.8% (1人)	1.8% (1人)	51.8% (29人)	23.2% (13人)
1歳	73人	16.4% (12人)	2.7% (2人)	—	64.4% (47人)	9.6% (7人)	1.4% (1人)	6.8% (5人)	23.3% (17人)	12.3% (9人)
2歳	14人	14.3% (2人)	—	—	64.3% (9人)	7.1% (1人)	—	—	35.7% (5人)	—
3歳	22人	31.8% (7人)	9.1% (2人)	—	40.9% (9人)	36.4% (8人)	—	—	27.3% (6人)	9.1% (2人)
4歳	13人	30.8% (4人)	30.8% (4人)	—	46.2% (6人)	7.7% (1人)	—	—	7.7% (1人)	7.7% (1人)
5歳	4人	50.0% (2人)	—	—	50.0% (2人)	50.0% (2人)	—	—	—	—
6歳	1人	100.0% (1人)	—	—	—	—	—	—	—	—

家庭類型別にみると、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」は、「フルタイム＋パート等」が71.4%と最も高く、次に「片親のみ就労」が49.4%で、「ひとり親」が33.3%と低くなります。

「子どもがまだ小さいため」は、「両親未就労」が50.0%、次に「ひとり親」と「フルタイム＋フルタイム」、「片親のみ就労」がいずれも30%台となります。

「利用する必要がない」は、「片親のみ就労」が32.9%と最も高く、次に「ひとり親」が16.7%、「フルタイム＋フルタイム」が8.6%となります。

教育・保育の事業を利用していない理由(家庭類型別)

	回答者実数	利用する必要がない	利用したいが、子どもの祖父母や親戚の人がみている	利用したいが、近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他
ひとり親	6人	16.7% (1人)	16.7% (1人)	—	33.3% (2人)	16.7% (1人)	16.7% (1人)	16.7% (1人)	33.3% (2人)	33.3% (2人)
フルタイム＋フルタイム	70人	8.6% (6人)	4.3% (3人)	—	41.4% (29人)	2.9% (2人)	1.4% (1人)	1.4% (1人)	30.0% (21人)	24.3% (17人)
フルタイム＋パート等	21人	—	—	—	71.4% (15人)	4.8% (1人)	—	4.8% (1人)	19.0% (4人)	9.5% (2人)
片親のみ就労	79人	32.9% (26人)	5.1% (4人)	—	49.4% (39人)	20.3% (16人)	—	1.3% (1人)	34.2% (27人)	5.1% (4人)
両親未就労	2人	—	—	—	—	50.0% (1人)	—	—	50.0% (1人)	—

(11) 教育・保育の事業を利用する子どもの年齢

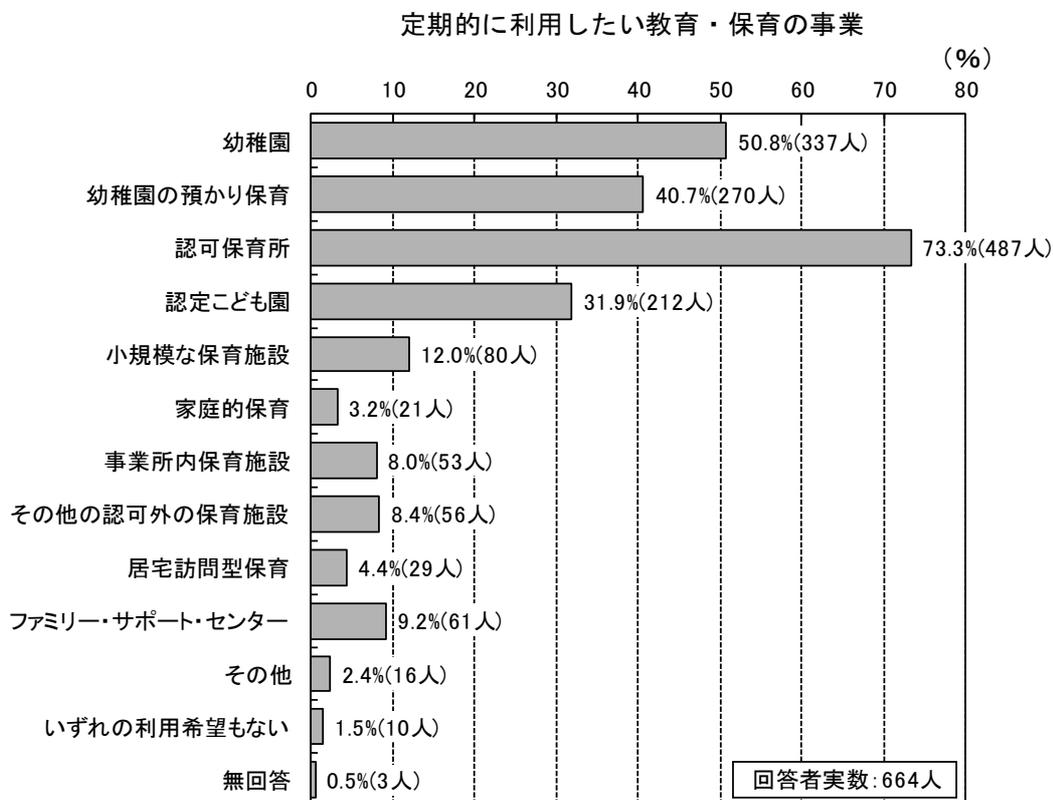
教育・保育の事業を利用していない理由で、「子どもがまだ小さいため」と答えた保護者が、利用を考えている子どもの年齢については、「1歳」が51.7%と最も高く、次に「3歳」が13.8%、「2歳」が10.3%となります。

教育・保育の事業を利用する子どもの年齢

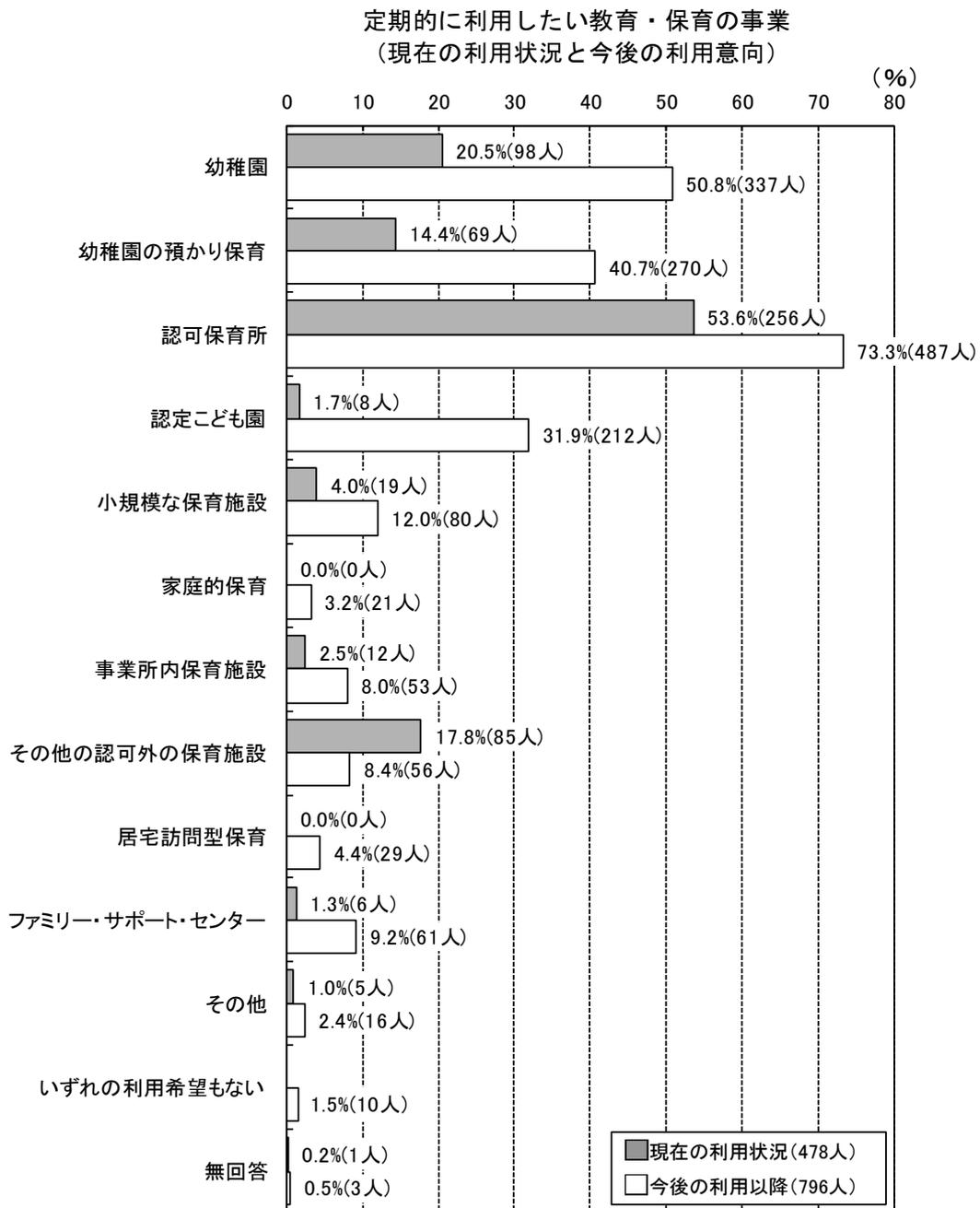
6ヶ月	3.4% (2人)
7ヶ月	1.7% (1人)
9ヶ月	1.7% (1人)
1歳	51.7% (30人)
2歳	10.3% (6人)
3歳	13.8% (8人)
4歳	8.6% (5人)
5歳	6.9% (4人)
無回答	1.7% (1人)
回答者実数	58人

(12) 定期的にご利用したい教育・保育の事業（複数回答）

現在の利用の有無にかかわらず、今後定期的にご利用したい教育・保育の事業については、「認可保育所」が73.3%と最も高く、続いて、「幼稚園」が50.8%、「幼稚園の預かり保育」が40.7%、「認定こども園」が31.9%となります。



現在の利用状況と比べると、「その他の認可外保育施設」以外の事業については、いずれも現在の利用率より利用意向の割合が高く、中でも「幼稚園」で30.3ポイント、「認定こども園」で30.2ポイント、「幼稚園の預かり保育」で26.3ポイントと大きな差があります。また、現在利用のない「家庭的保育」と「居宅訪問型保育」の利用意向があります。



子どもの年齢別にみると、「認可保育所」は、「0歳」が89.8%と最も高く、子どもの年齢が高いほど割合は低くなる傾向にあり、「6歳」が33.8%と最も低くなります。

「幼稚園」は、「2歳」から年齢が高いほど割合も高く、「6歳」が70.3%と最も高く、次に「4歳」と「5歳」が60%台となります。また、「幼稚園の預り保育」も、「2歳」から年齢が高いほど割合も高く、「6歳」が59.5%と最も高くなります。

「認定こども園」は、「0歳」が42.4%と最も高く、「1歳」から「4歳」がいずれも30%台で、「5歳」と「6歳」が20%台と低くなります。

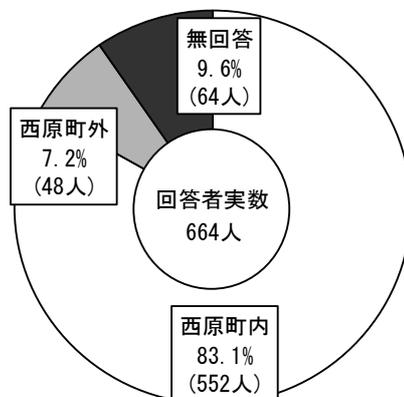
定期的にご利用したい教育・保育の事業(子どもの年齢別)

	回答者実数	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	いずれの利用希望もない	無回答
0歳	59人	45.8% (27人)	32.2% (19人)	89.8% (53人)	42.4% (25人)	27.1% (16人)	6.8% (4人)	10.2% (6人)	11.9% (7人)	6.8% (4人)	10.2% (6人)	1.7% (1人)	—	3.4% (2人)
1歳	126人	27.8% (35人)	20.6% (26人)	89.7% (113人)	36.5% (46人)	23.8% (30人)	2.4% (3人)	15.9% (20人)	7.9% (10人)	4.0% (5人)	11.9% (15人)	3.2% (4人)	1.6% (2人)	—
2歳	99人	39.4% (39人)	32.3% (32人)	83.8% (83人)	30.3% (30人)	7.1% (7人)	2.0% (2人)	6.1% (6人)	12.1% (12人)	5.1% (5人)	7.1% (7人)	2.0% (2人)	1.0% (1人)	—
3歳	110人	54.5% (60人)	40.0% (44人)	85.5% (94人)	34.5% (38人)	13.6% (15人)	5.5% (6人)	10.0% (11人)	9.1% (10人)	7.3% (8人)	11.8% (13人)	0.9% (1人)	—	—
4歳	100人	61.0% (61人)	52.0% (52人)	69.0% (69人)	34.0% (34人)	9.0% (9人)	3.0% (3人)	5.0% (5人)	9.0% (9人)	3.0% (3人)	6.0% (6人)	2.0% (2人)	1.0% (1人)	—
5歳	90人	65.6% (59人)	56.7% (51人)	51.1% (46人)	21.1% (19人)	2.2% (2人)	1.1% (1人)	2.2% (2人)	2.2% (2人)	2.2% (2人)	6.7% (6人)	1.1% (1人)	3.3% (3人)	1.1% (1人)
6歳	74人	70.3% (52人)	59.5% (44人)	33.8% (25人)	24.3% (18人)	1.4% (1人)	2.7% (2人)	4.1% (3人)	6.8% (5人)	2.7% (2人)	10.8% (8人)	6.8% (5人)	4.1% (3人)	—

(13) 教育・保育の事業を利用したい場所

教育・保育の事業を利用したい場所については、「西原町内」が83.1%で、現在の利用場所の割合（町内87.4%）と大差ありません。

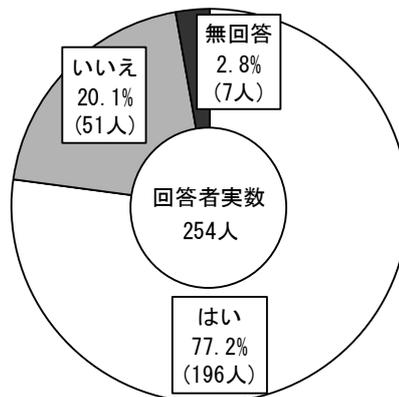
教育・保育の事業を利用したい場所



(14) 幼稚園利用希望の強さ

現在、利用している、利用していないに関わらず、特に幼稚園（幼稚園の預り保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望することについては、「はい」が77.2%と多数を占め、「いいえ」が20.1%となります。

幼稚園利用希望の強さ

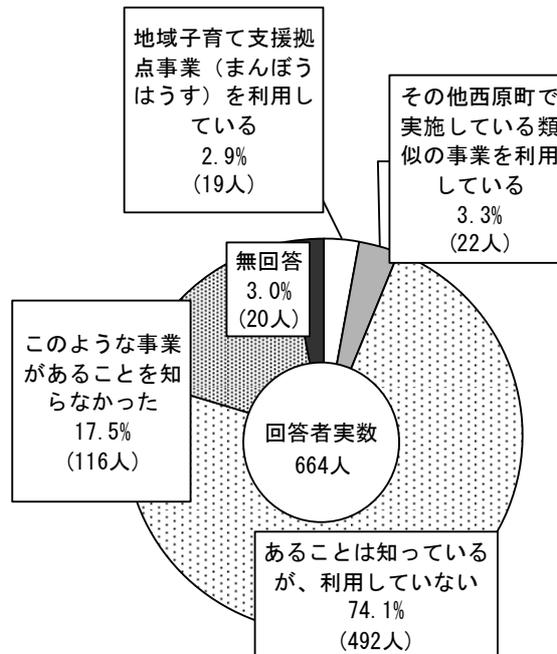


6. 地域の子育て支援事業の利用

(1) 子育て支援センターの利用状況

西原町内の子育て支援センター（まんぼうはうす）の利用については、「あることは知っているが、利用していない」が74.1%と最も高く、「利用している」は2.9%となります。

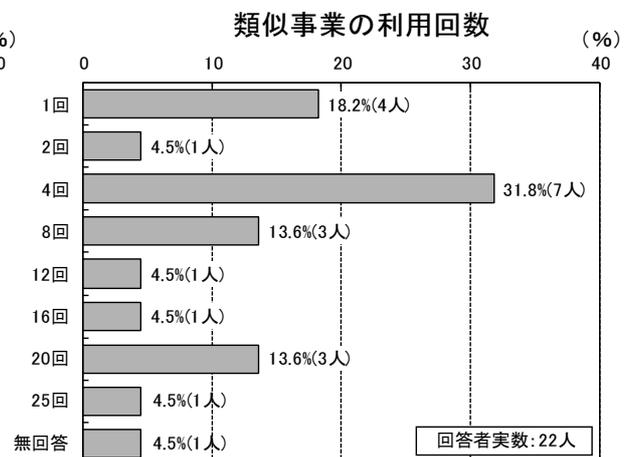
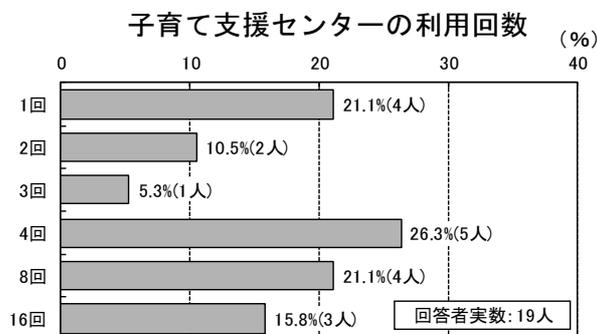
地域の子育て支援センターの利用状況



(2) 子育て支援センターの利用回数

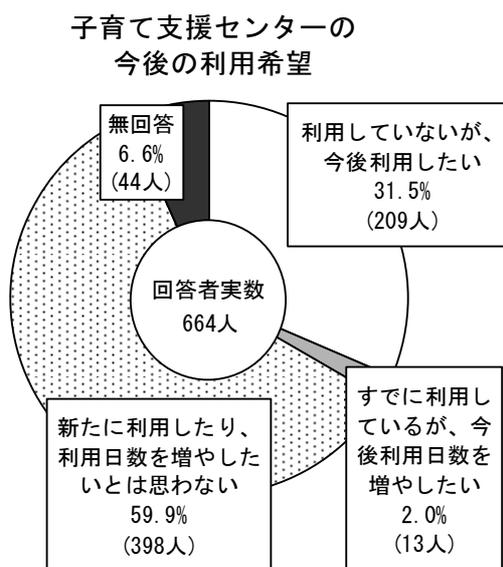
子育て支援センターを利用していると答えた保護者の、1ヶ月あたりの利用回数は、「4回」が26.3%と最も高く、次に「1回」と「8回」が21.1%となります。利用回数が最も多いのは「16回」で15.8%となります。

類似事業を利用していると答えた保護者の、1ヶ月あたりの利用回数は、「4回」が31.8%と最も高く、次に「1回」が18.2%となります。利用回数が最も多いのは「25回」で4.5%となります。



(3) 子育て支援センターの利用希望

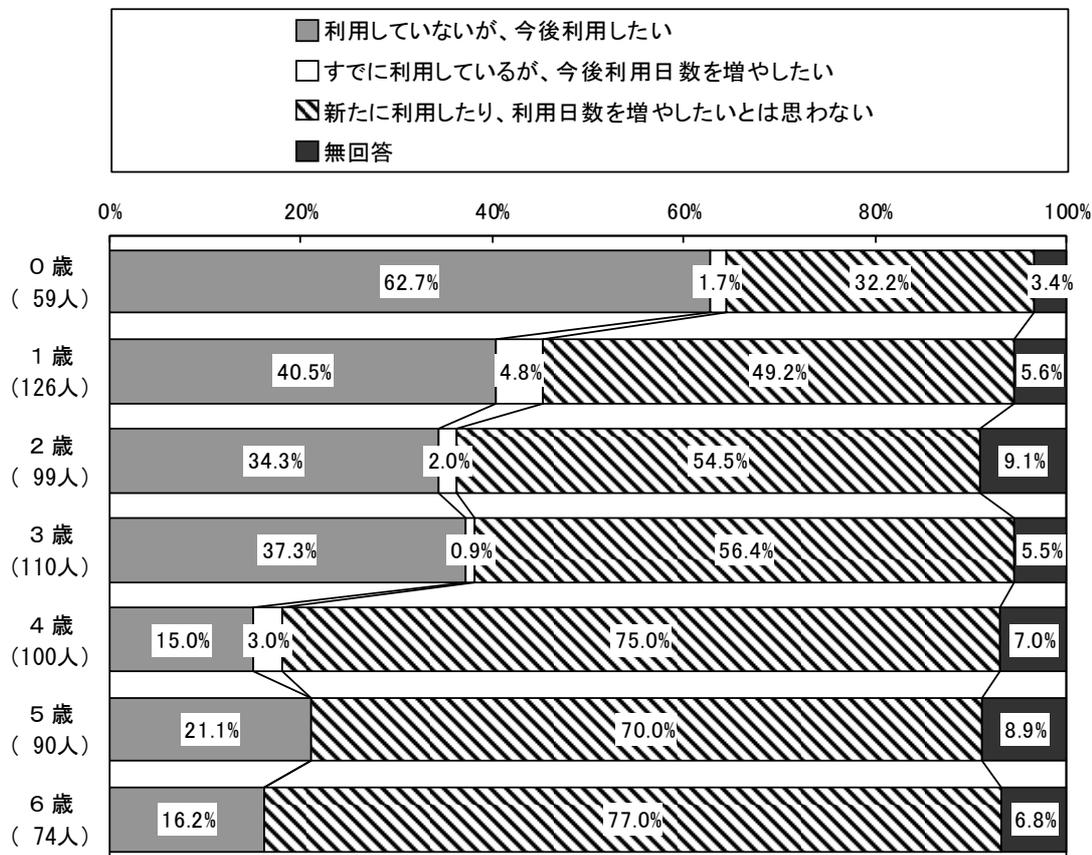
子育て支援センターの今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が59.9%と最も高く、次に「利用していないが、今後利用したい」が31.5%となります。



子どもの年齢別にみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は、「0歳」が32.2%と最も低く、「1歳」から「3歳」が50%程度、「4歳」から「6歳」が70%台となります。

一方、「利用していないが、今後利用したい」は、「0歳」が62.7%と最も高く、年齢が高いほど割合は低くなる傾向にあり、特に「4歳」からの意向が低くなります。

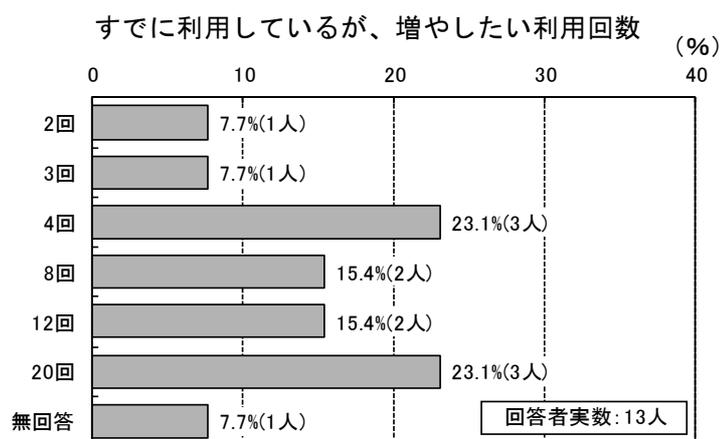
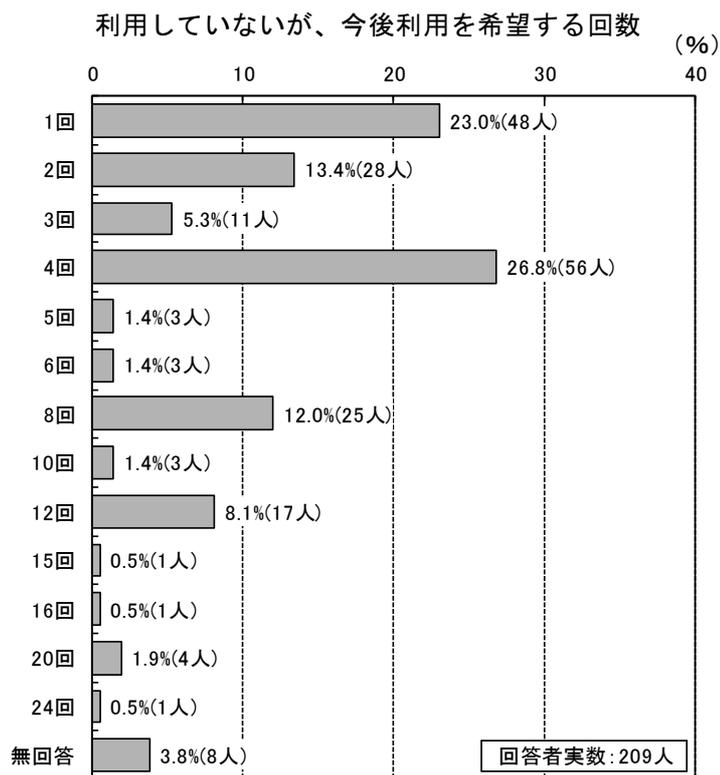
子育て支援センターの今後の利用希望（子どもの年齢別）



(4) 子育て支援センターの利用希望回数

子育て支援センターを「利用していないが、今後利用したい」と答えた保護者の、希望する1ヶ月あたりの利用希望回数は、「4回」が26.8%と最も高く、次に「1回」が23.0%となります。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と答えた保護者の、希望する1ヶ月あたりの増やしたい回数は、「4回」と「20回」が23.1%と最も高く、次に「8回」と「12回」が15.4%となります。



(5) 子育て支援事業の周知及び利用等

1) 周知状況

西原町内で実施されている子育て支援事業について、「知っている」は、「ベビースクール」が70.2%と最も高く、次に「西原町子育てHP ゆいわらび」が62.8%、「こんにちは赤ちゃん事業」が60.4%、「西原町こども子育てガイド」が58.7%と、それぞれ半数以上を占めます。

一方、そのほかの事業については、いずれも「知っている」より「知らない」の割合が高くなります。

子育て支援事業の周知状況

	回答者 実数	知っている	知らない	無回答
ベビースクール	664人	70.2% (466人)	23.8% (158人)	6.0% (40人)
こんにちは赤ちゃん事業	664人	60.4% (401人)	34.2% (227人)	5.4% (36人)
西原町こども子育てガイド	664人	58.7% (390人)	35.8% (238人)	5.4% (36人)
西原町子育て情報サービス (西原町イベント催事カレンダー)	664人	39.3% (261人)	56.0% (372人)	4.7% (31人)
西原町子育て情報サービス 「さわふじったー(西原町)twitter」	664人	14.9% (99人)	80.9% (537人)	4.2% (28人)
西原町子育て情報サービス (facebook)	664人	12.0% (80人)	83.6% (555人)	4.4% (29人)
西原町子育て情報サービス (さわふじメールサービス)	664人	15.8% (105人)	79.8% (530人)	4.4% (29人)
西原町子育てHP「ゆいわらび」	664人	62.8% (417人)	32.5% (216人)	4.7% (31人)
※西原町こどもすこやか応援事業	664人	11.7% (78人)	83.6% (555人)	4.7% (31人)

※西原町こどもすこやか応援事業…経済的困難がある世帯のこどものニーズに対応した支援を行います。

2) 利用状況

西原町内で実施されている子育て支援事業の利用について、「利用したことがある」は、「西原町子育てHP ゆいわらび」が48.6%と最も高く、次に「こんにちは赤ちゃん事業」が41.3%、「ベビースクール」が38.1%となります。

一方、そのほかの事業については、「利用したことがない」の割合が「利用したことがある」の割合を大きく上回ります。

子育て支援事業の利用状況

	回答者 実数	利用したことがある	利用したことがない	無回答
ベビースクール	664人	38.1% (253人)	53.0% (352人)	8.9% (59人)
こんにちは赤ちゃん事業	664人	41.3% (274人)	48.8% (324人)	9.9% (66人)
西原町子ども子育てガイド	664人	27.9% (185人)	60.4% (401人)	11.7% (78人)
西原町子育て情報サービス (西原町イベント催事カレンダー)	664人	20.5% (136人)	68.2% (453人)	11.3% (75人)
西原町子育て情報サービス 「さわふじったー(西原町)twitter」	664人	2.6% (17人)	85.4% (567人)	12.0% (80人)
西原町子育て情報サービス (facebook)	664人	2.1% (14人)	85.7% (569人)	12.2% (81人)
西原町子育て情報サービス (さわふじメールサービス)	664人	3.3% (22人)	84.3% (560人)	12.3% (82人)
西原町子育てHP「ゆいわらび」	664人	48.6% (323人)	40.2% (267人)	11.1% (74人)
西原町こどもすこやか応援事業	664人	2.0% (13人)	84.9% (564人)	13.1% (87人)

3) 今後の利用意向

西原町内で実施されている子育て支援事業の今後の利用意向について、「今後利用したい」は、「西原町子育てHPゆいわらび」が64.0%と最も高く、次に「西原町子育て情報サービス(西原町イベント催事カレンダー)」が62.3%、「西原町子ども子育てガイド」が58.1%となります。

これまでの利用状況と比べると、「西原町こどもすこやか応援事業」が33.1ポイント高く、「西原町子育て情報サービスさわふじったー(西原町)twitter」も32.8ポイント高くなります。

なお、利用状況も含め、「無回答」の割合が比較的高くなっていますが、周知していない事業の割合が高いことによるものと考えられます。

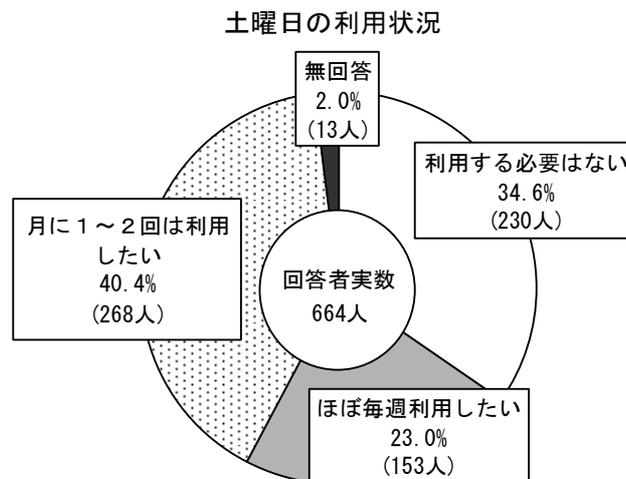
子育て支援事業の利用意向

	回答者 実数	今後利用したい	利用しない	無回答
ベビースクール	664人	44.3% (294人)	42.8% (284人)	13.0% (86人)
こんにちは赤ちゃん事業	664人	39.8% (264人)	45.6% (303人)	14.6% (97人)
西原町子ども子育てガイド	664人	58.1% (386人)	28.0% (186人)	13.9% (92人)
西原町子育て情報サービス (西原町イベント催事カレンダー)	664人	62.3% (414人)	25.0% (166人)	12.7% (84人)
西原町子育て情報サービス 「さわふじったー(西原町)twitter」	664人	35.4% (235人)	52.1% (346人)	12.5% (83人)
西原町子育て情報サービス (facebook)	664人	34.3% (228人)	53.3% (354人)	12.3% (82人)
西原町子育て情報サービス (さわふじメールサービス)	664人	44.0% (292人)	43.2% (287人)	12.8% (85人)
西原町子育てHP「ゆいわらび」	664人	64.0% (425人)	23.2% (154人)	12.8% (85人)
西原町こどもすこやか応援事業	664人	35.1% (233人)	50.9% (338人)	14.0% (93人)

7. 土曜・休日や長期休暇中の教育・保育の事業の利用希望について

(1) 土曜日の利用希望

定期的な教育・保育事業の土曜日の利用希望については、「月に1～2回は利用したい」が40.4%、「ほぼ毎週利用したい」が23.0%で、合わせると63.4%が利用したいと考えています。

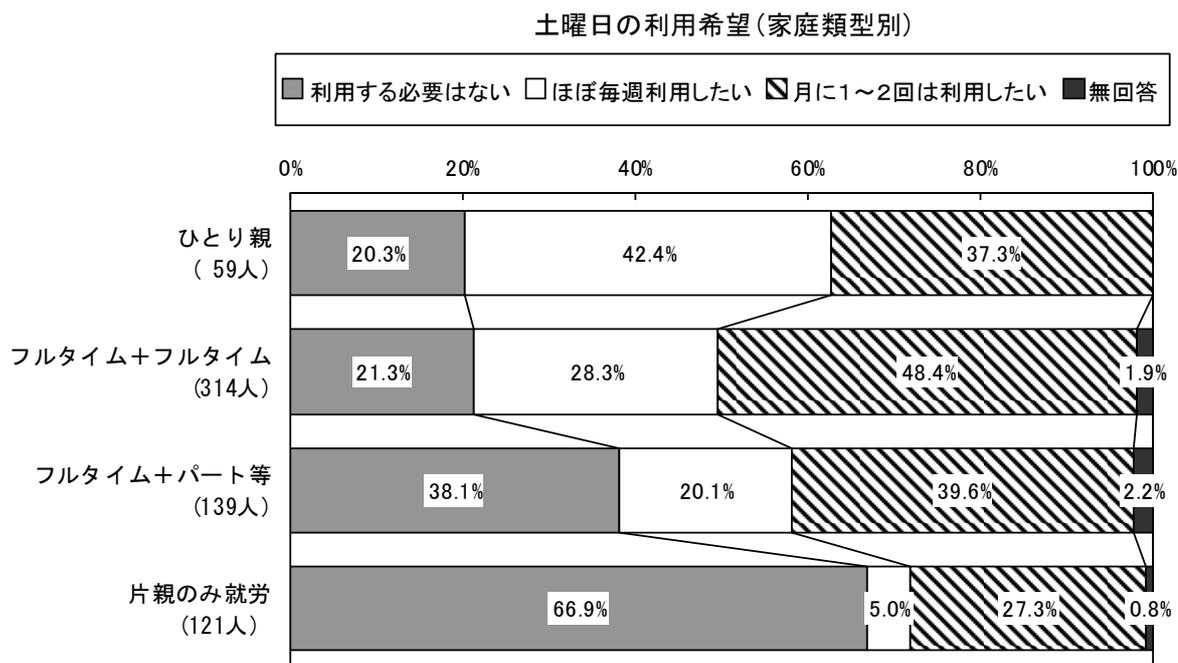


家庭類型別にみると、「月に1～2回は利用したい」は、「フルタイム+フルタイム」が48.4%と最も高く、「片親のみ就労」が27.3%と最も低くなります。

「ほぼ毎週利用したい」は、「ひとり親」が42.4%と最も高く、「片親のみ就労」が5.0%と最も低くなります。

一方、「利用する必要はない」は、「片親のみ就労」が66.9%と最も高く、「ひとり親」が20.3%と最も低くなります。

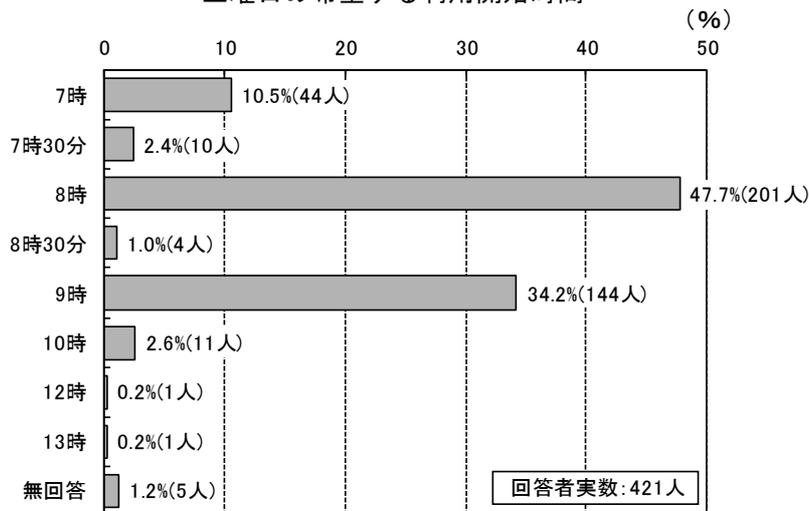
「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた、利用したい割合は、「ひとり親」が79.7%、「フルタイム+フルタイム」が76.7%と高く、「フルタイム+パート等」が59.7%で、「片親のみ就労」が32.3%と低くなります。



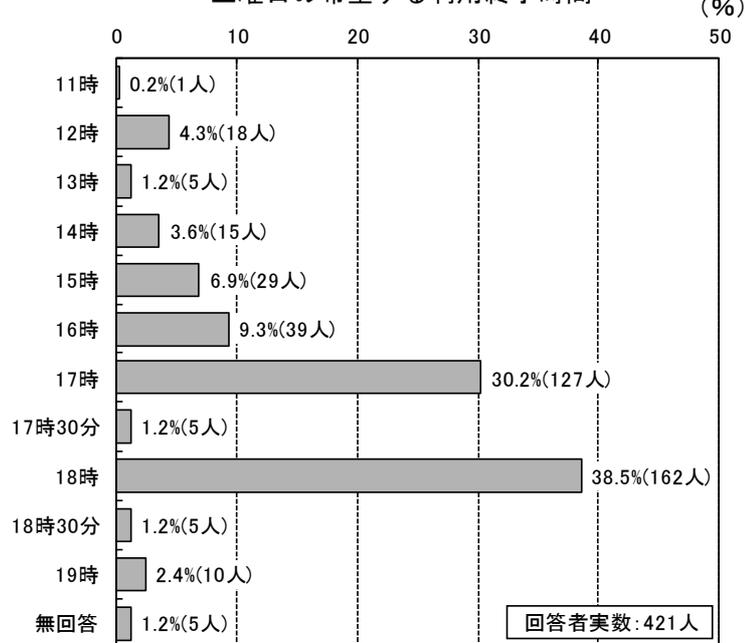
「ほぼ毎週利用したい」あるいは「月に1～2回は利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「7時」から「13時」まであり、「8時」が47.7%と最も高く、次に「9時」が34.2%となります。平日の利用希望と比べると開始時間は、「8時」(42.5%)が5.2ポイント高く、「9時」(14.6%)が19.6ポイント高くなります。なお、平日の利用開始時間の希望にある「14時」、「16時」の希望はありません。

また、希望する終了時間は、「18時」が38.5%と最も高く、次に「17時」が30.2%となります。平日と同じ時間に終了したいと考える保護者が多い結果となりますが、平日にはない「11時」、「12時」、「13時」の希望があります。

土曜日の希望する利用開始時間

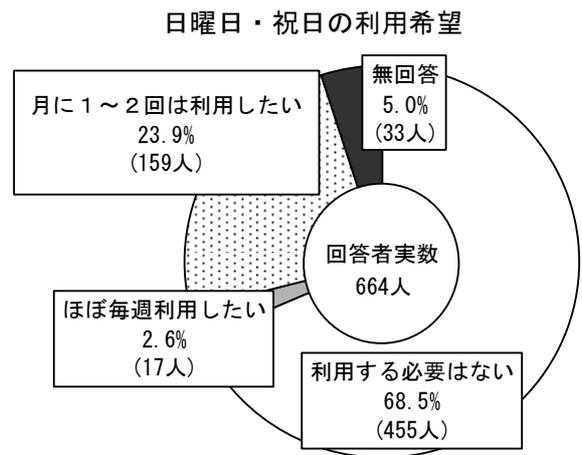


土曜日の希望する利用終了時間



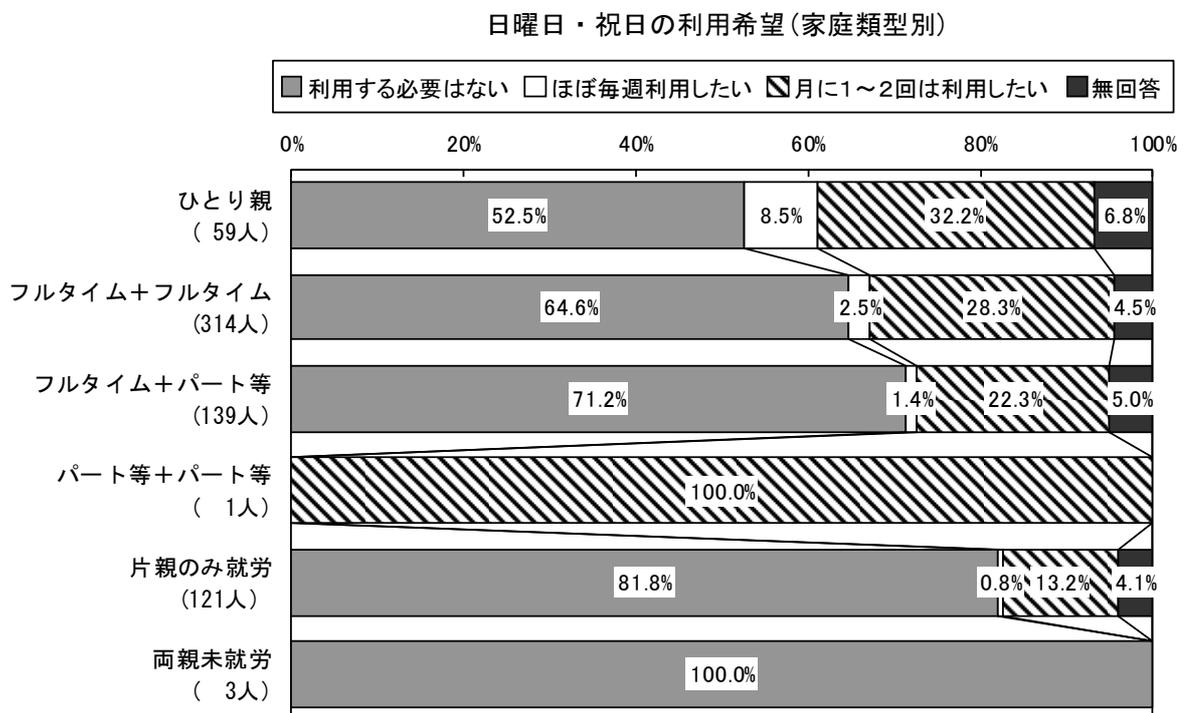
(2) 日曜日・祝日の利用希望

定期的な教育・保育の事業の日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が68.5%と最も高くなります。次に「月に1～2回は利用したい」が23.9%、「ほぼ毎週利用したい」が2.6%となります。



家庭類型別にみると、「利用する必要はない」は、「両親未就労」が100.0%と最も高く、次に「片親のみ就労」が81.8%、「フルタイム+パート等」が71.2%となります。

「月に1～2回は利用したい」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「ひとり親」が32.2%となります。

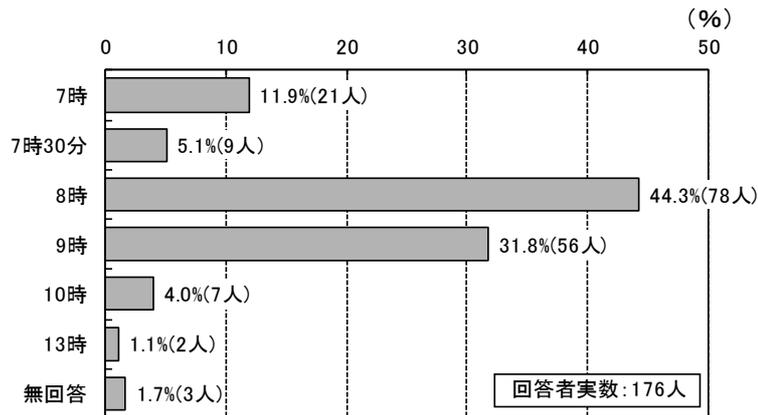


「ほぼ毎週利用したい」あるいは「月に1~2回は利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「8時」が44.3%と最も高く、次に「9時」が31.8%となります。

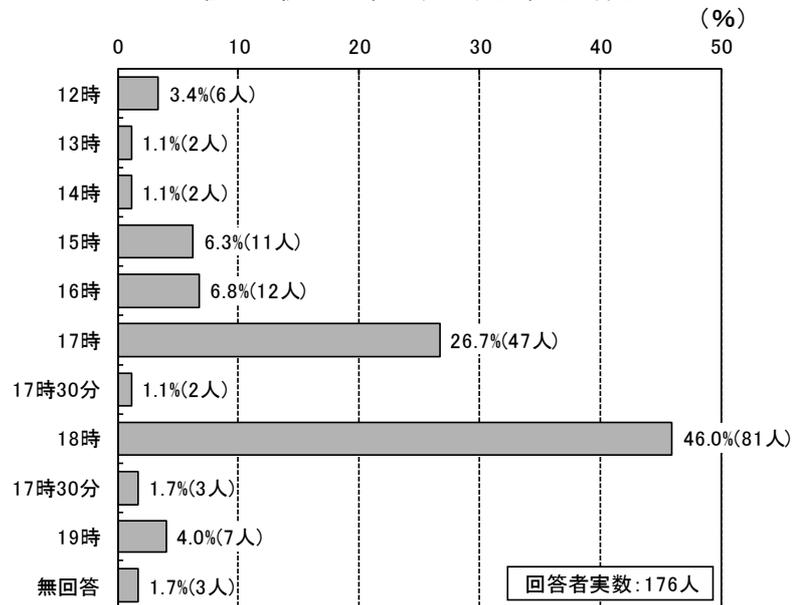
土曜日の希望する開始時間と比べると、「8時」は3.4ポイント低く、「9時」は2.4ポイント低くなります。

また、希望する終了時間は、「18時」が46.0%と最も高く、次に「17時」が26.7%となります。土曜日の利用希望と比べると、「18時」は7.5ポイント高く、「17時」は3.5ポイント低くなります。

日曜日・祝日の希望する利用開始時間

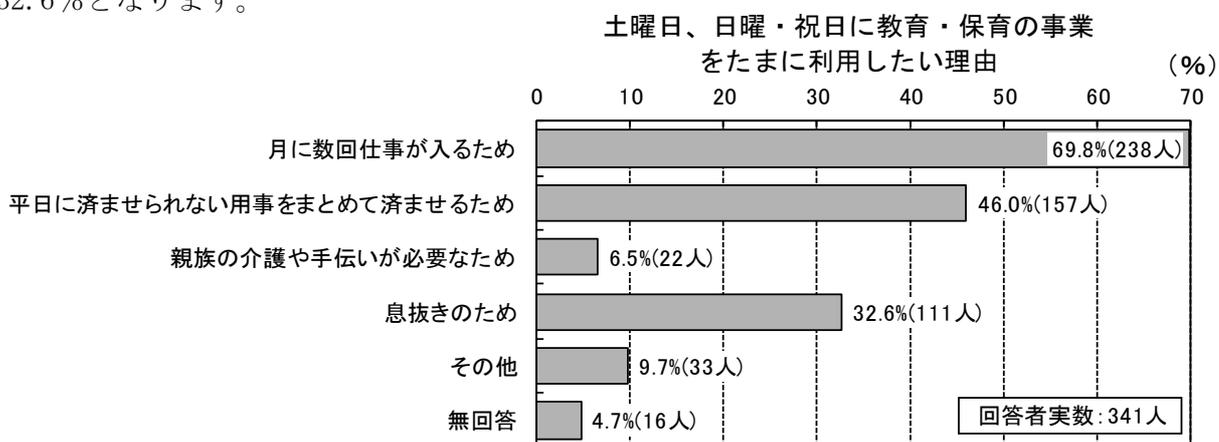


日曜日・祝日の希望する利用終了時間



(3) 土曜日、日曜・祝日に教育・保育の事業をたまに利用したい理由（複数回答）

土曜日または、日曜日・祝日に教育・保育の事業をたまに利用したい（「月に1～2回は利用したい」と答えた理由については、「月に数回仕事が入るため」が69.8%と最も高く、次に「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が46.0%、「息抜きのため」が32.6%となります。



子どもの年齢別にみると、「月に数回仕事が入るため」は、「4歳」が78.4%と最も高く、「0歳」が59.5%と最も低くなります。

「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」は、「5歳」が55.3%と最も高く、次に「2歳」が53.8%で、「6歳」が35.5%と最も低くなります。

「息抜きのため」は、「2歳」が36.5%と最も高く、次に「0歳」が35.1%で、「1歳」が27.1%と最も低くなります。

土曜日、日曜・祝日に教育・保育の事業をたまに利用したい理由(子どもの年齢別)

	回答者実数	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他	無回答
0歳	37人	59.5% (22人)	48.6% (18人)	2.7% (1人)	35.1% (13人)	5.4% (2人)	5.4% (2人)
1歳	70人	70.0% (49人)	45.7% (32人)	8.6% (6人)	27.1% (19人)	11.4% (8人)	5.7% (4人)
2歳	52人	69.2% (36人)	53.8% (28人)	5.8% (3人)	36.5% (19人)	9.6% (5人)	5.8% (3人)
3歳	58人	74.1% (43人)	44.8% (26人)	3.4% (2人)	34.5% (20人)	8.6% (5人)	1.7% (1人)
4歳	51人	78.4% (40人)	39.2% (20人)	9.8% (5人)	33.3% (17人)	7.8% (4人)	3.9% (2人)
5歳	38人	63.2% (24人)	55.3% (21人)	5.3% (2人)	31.6% (12人)	7.9% (3人)	5.3% (2人)
6歳	31人	71.0% (22人)	35.5% (11人)	6.5% (2人)	29.0% (9人)	16.1% (5人)	6.5% (2人)

家庭類型別にみると、「月に数回仕事が入るため」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「ひとり親」が78.8%と高く、次に「フルタイム+フルタイム」が77.3%で、「片親のみ就労」が22.2%と最も低くなります。

「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」は、「片親のみ就労」が52.8%と最も高く、「ひとり親」が42.4%と最も低くなります。

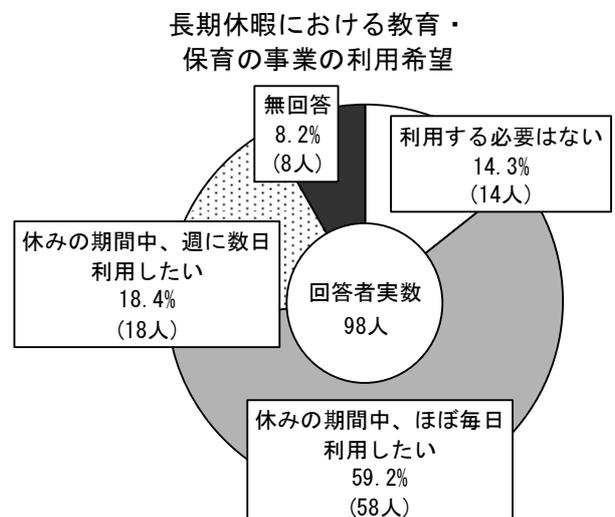
「息抜きのため」も、「片親のみ就労」が50.0%と最も高く、「フルタイム+フルタイム」が29.4%と最も低くなります。

土曜日、日曜・祝日に教育・保育の事業をたまに利用したい理由（家庭類型別）

	回答者実数	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他	無回答
ひとり親	33人	78.8% (26人)	42.4% (14人)	—	36.4% (12人)	6.1% (2人)	3.0% (1人)
フルタイム+フルタイム	194人	77.3% (150人)	46.4% (90人)	5.7% (11人)	29.4% (57人)	9.3% (18人)	4.1% (8人)
フルタイム+パート等	70人	68.6% (48人)	45.7% (32人)	7.1% (5人)	31.4% (22人)	10.0% (7人)	2.9% (2人)
パート等+パート等	1人	100.0% (1人)	—	—	—	—	—
片親のみ就労	36人	22.2% (8人)	52.8% (19人)	16.7% (6人)	50.0% (18人)	13.9% (5人)	11.1% (4人)

(4) 長期休暇における教育・保育の事業の利用希望

「幼稚園」を利用している子について、夏休み・冬休みなど長期休暇における教育・保育の事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が59.2%と最も高く、次に「休みの期間中、週に数日利用したい」が18.4%で、合わせると77.6%が利用を希望しています。

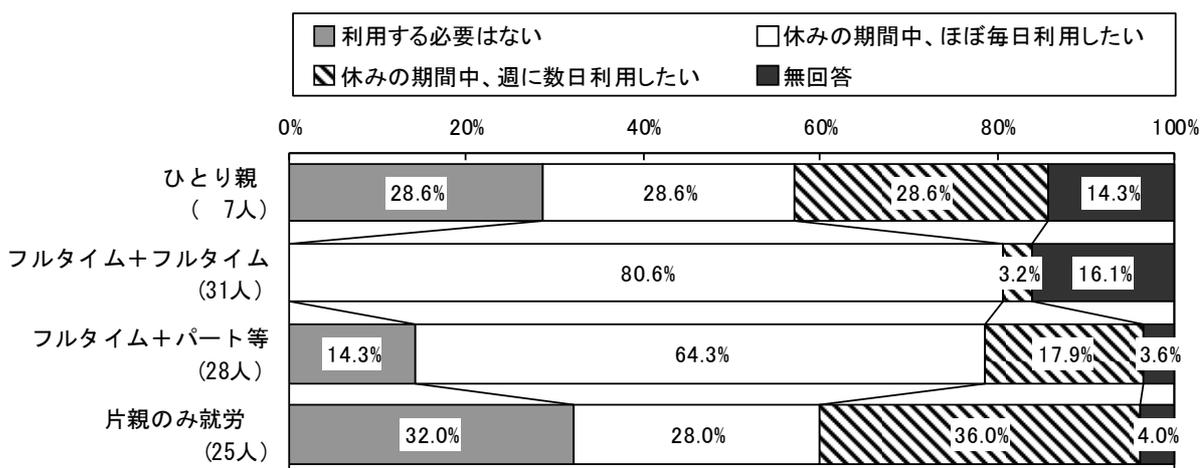


家庭類型別にみると、「利用する必要はない」は、「片親のみ就労」が32.0%と最も高く、「フルタイム+パート等」が14.3%と最も低くなります。

「休みの期間中ほぼ毎日利用したい」は、「フルタイム+フルタイム」が80.6%と最も高く、次に「フルタイム+パート等」が64.3%で、「ひとり親」と「片親のみ就労」が28%台と低くなります。

「休みの期間中、週に数日利用したい」は、「片親のみ就労」が36.0%と最も高く、次に「ひとり親」が28.6%で、「フルタイム+フルタイム」が3.2%と最も低くなります。

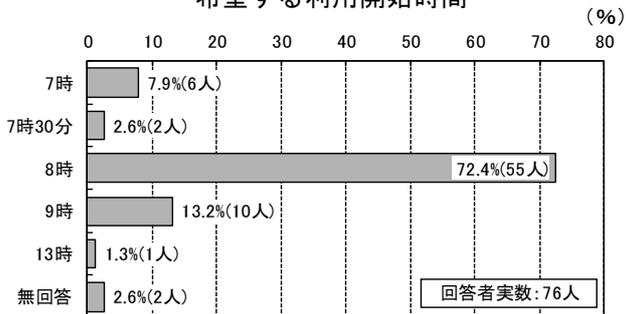
長期休暇における教育・保育の事業の利用希望(家庭類型別)



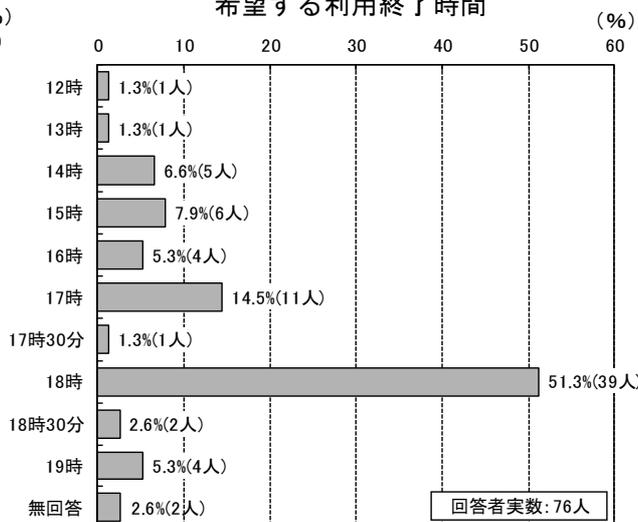
「ほぼ毎日利用したい」または「週に数日利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「8時」が72.4%と最も高く多数を占めます。

また、希望する利用終了時間は、「18時」が51.3%と最も高く、次に「17時」が14.5%となります。

長期休暇における教育・保育の事業の希望する利用開始時間

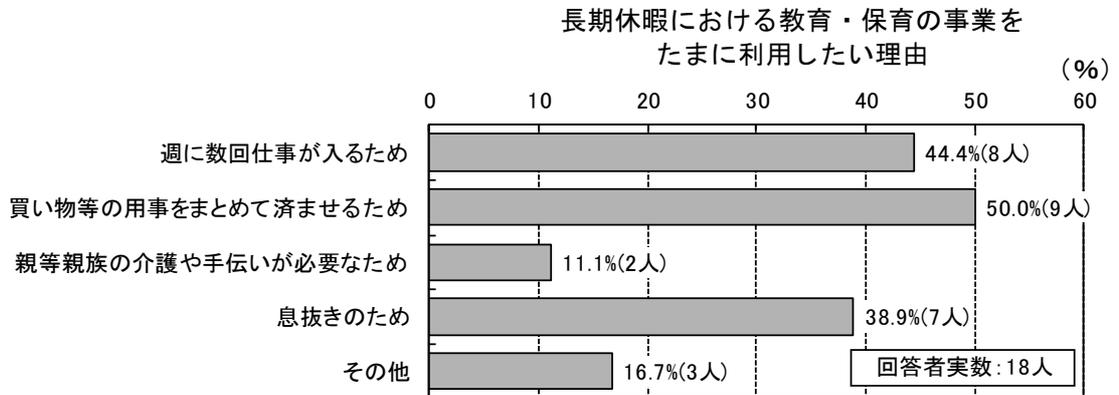


長期休暇における教育・保育の事業の希望する利用終了時間



(5) 長期休暇における教育・保育の事業をたまに利用したい理由（複数回答）

長期休暇における教育・保育の事業をたまに利用したい（「休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた理由については、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が50.0%と最も高く、次に「週に数回仕事が入るため」が44.4%、「息抜きのため」が38.9%となります。

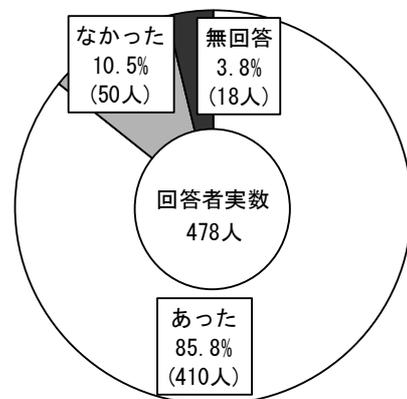


8. 子どもが病気などの際の対応について

(1) 病気やケガによる事業の利用の有無

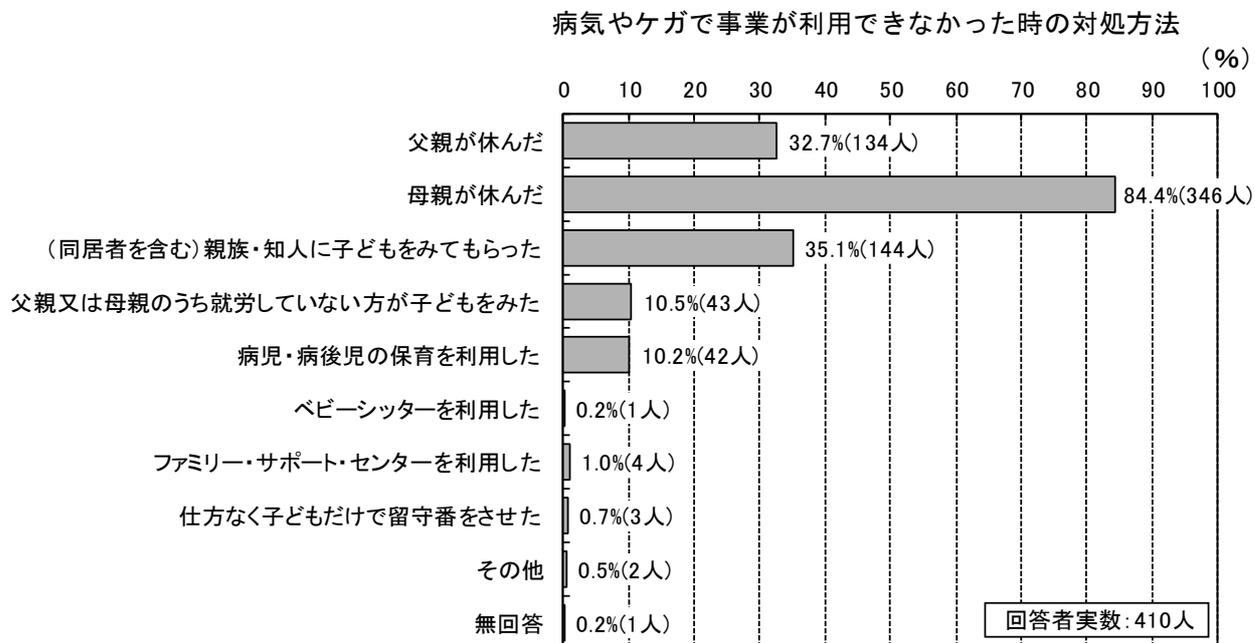
定期的な教育・保育の事業を「利用している」と答えた保護者が、この1年間に子どもが病気やケガで通常の仕事が利用できなかったことについては、「あった」が85.8%、「なかった」が10.5%となります。

病気やケガによる事業の利用の有無



(2) 病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法（複数回答）

子どもの病気やケガで、普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が84.4%と最も高く、次に「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が35.1%、「父親が休んだ」が32.7%となります。



次に、1年間の対処方法別の日数をみると、「父親が休んだ」では、「1日」から「20日」までであり、「2日」が21.6%と最も高く、次に「1日」が18.7%、「3日」と「5日」が17%台となります。

また、「母親が休んだ」では、「1日」から「84日」まであり、「10日」が17.3%と最も高く、次に「3日」が15.3%、「5日」が11.0%となります。

「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は、「1日」から「30日」まであり、「2日」と「5日」が20.1%と最も高く、次に「10日」が16.0%、「3日」が13.2%となります。

「病児・病後児の保育を利用した」では、「1日」から「30日」まであり、「2日」が28.6%と最も高く、次に「1日」が14.3%となります。また、「無回答」を除いた38人の保護者の、病児・病後児保育の1年間の延利用日数は178日で、1人あたり平均4.7日となります。

1年間の対処方法と日数

①父親が休んだ

1日	18.7% (25人)
2日	21.6% (29人)
3日	17.2% (23人)
4日	1.5% (2人)
5日	17.9% (24人)
6日	3.7% (5人)
7日	1.5% (2人)
10日	4.5% (6人)
14日	1.5% (2人)
15日	3.0% (4人)
20日	2.2% (3人)
無回答	6.7% (9人)
回答者実数	134人

②母親が休んだ

1日	4.6% (16人)
2日	7.8% (27人)
3日	15.3% (53人)
4日	4.0% (14人)
5日	11.0% (38人)
6日	4.0% (14人)
7日	4.6% (16人)
8日	1.7% (6人)
10日	17.3% (60人)
12日	2.0% (7人)
13日	0.3% (1人)
14日	1.7% (6人)
15日	3.8% (13人)
16日	0.3% (1人)
20日	5.8% (20人)
21日	0.3% (1人)
24日	0.6% (2人)
25日	0.9% (3人)
30日	0.6% (2人)
39日	0.3% (1人)
40日	0.9% (3人)
45日	0.3% (1人)
50日	0.6% (2人)
60日	0.3% (1人)
84日	0.3% (1人)
無回答	10.7% (37人)
回答者実数	346人

③(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった

1日	6.9% (10人)
2日	20.1% (29人)
3日	13.2% (19人)
4日	2.1% (3人)
5日	20.1% (29人)
6日	1.4% (2人)
7日	4.2% (6人)
10日	16.0% (23人)
12日	0.7% (1人)
13日	0.7% (1人)
15日	1.4% (2人)
20日	4.2% (6人)
30日	2.1% (3人)
無回答	6.9% (10人)
回答者実数	144人

④父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

1日	7.0% (3人)
2日	7.0% (3人)
3日	16.3% (7人)
5日	18.6% (8人)
6日	4.7% (2人)
7日	4.7% (2人)
10日	16.3% (7人)
14日	2.3% (1人)
16日	4.7% (2人)
20日	7.0% (3人)
25日	2.3% (1人)
50日	2.3% (1人)
無回答	7.0% (3人)
回答者時数	43人

⑤病児・病後児の保育を利用した

1日	14.3% (6人)
2日	28.6% (12人)
3日	11.9% (5人)
4日	4.8% (2人)
5日	11.9% (5人)
6日	4.8% (2人)
8日	2.4% (1人)
10日	4.8% (2人)
15日	4.8% (2人)
30日	2.4% (1人)
無回答	9.5% (4人)
回答者実数	42人

⑥ベビーシッターを利用した

1日	100.0% (1人)
回答者実数	1人

⑦ファミリー・サポート・センターを利用した

1日	75.0% (3人)
2日	25.0% (1人)
回答者実数	4人

⑧仕方なく子どもだけで留守番をさせた

1日	33.3% (1人)
2日	33.3% (1人)
3日	33.3% (1人)
回答者実数	3人

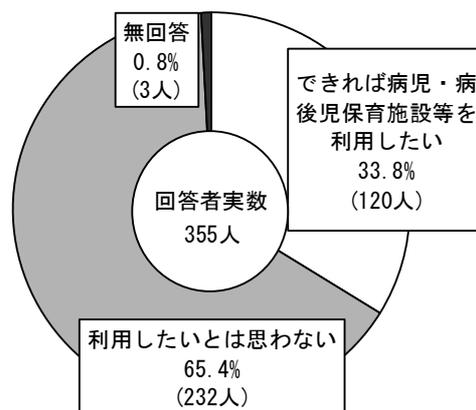
⑨その他

3日	50.0% (1人)
20日	50.0% (1人)
回答者実数	2人

(3) 病児・病後児施設等の利用意向

子どもが病気やケガで、普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法で、「父親が休んだ」あるいは「母親が休んだ」と答えた保護者の、病児・病後児保育の利用意向については、「利用したいとは思わない」が65.4%で、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が33.8%となります。

病児・病後児施設等の利用意向



次に、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と答えた保護者の、利用したいと思った日数は、「1日」から「30日」まであり、「2日」が17.5%と最も高く、次に「5日」が15.8%となります。

また、「無回答」の割合が15.0%と比較的高くなっていますが、具体的に休んで看たい日数を把握できていない（記憶、記録がない）ためと考えられます。

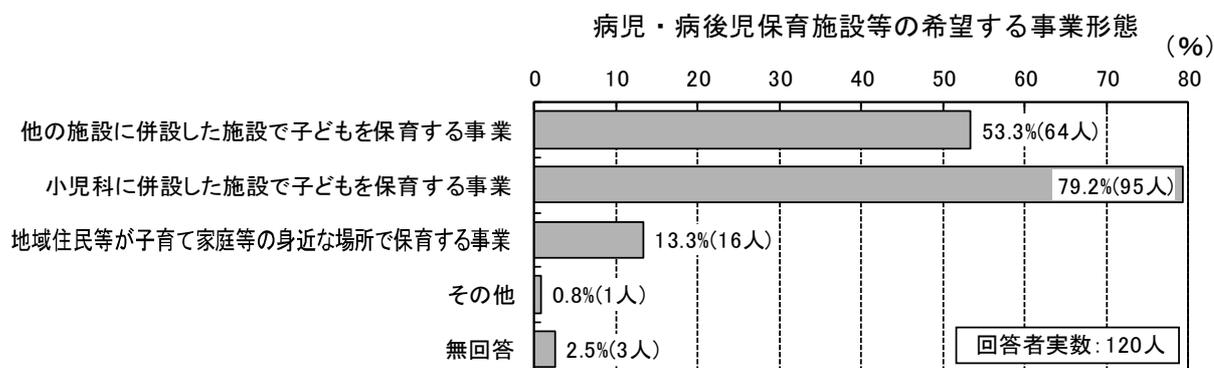
「無回答」を除いた102人の保護者の、利用したい延日数は520日で、1人あたり平均5.1日となります。

病児・病後児施設を
利用したい日数

1日	10.8% (13人)
2日	17.5% (21人)
3日	14.2% (17人)
4日	1.7% (2人)
5日	15.8% (19人)
6日	2.5% (3人)
7日	5.8% (7人)
10日	13.3% (16人)
14日	0.8% (1人)
20日	1.7% (2人)
30日	0.8% (1人)
無回答	15.0% (18人)
回答者実数	120人

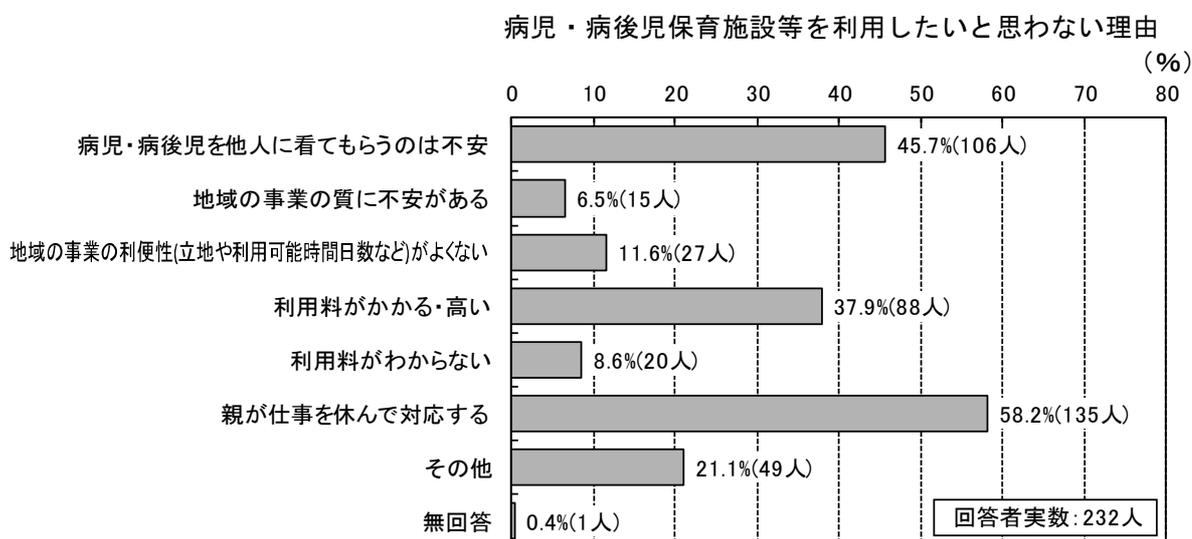
(4) 病児・病後児保育施設等の希望する事業形態（複数回答）

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と答えた保護者の、子どもを預ける場合の望ましいと思われる事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が79.2%と最も高く、次に「他の施設（幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が53.3%となります。



(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）

病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と答えた保護者の、その理由については、「親が仕事を休んで対応する」が58.2%と最も高く、次に「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が45.7%、「利用料がかかる・高い」が37.9%となります。



家庭類型別にみると、「親が仕事を休んで対応する」は、「片親のみ就労」が66.7%と最も高く、「フルタイム+フルタイム」が56.9%と最も低くなります。

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」は、「ひとり親」と「フルタイム+パート等」、「片親のみ就労」がいずれも50.0%で、「フルタイム+フルタイム」が40.8%となります。

「利用料がかかる・高い」は、「フルタイム+フルタイム」が40.0%と最も高く、「ひとり親」が25.0%と低くなります。

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由(家庭類型別)

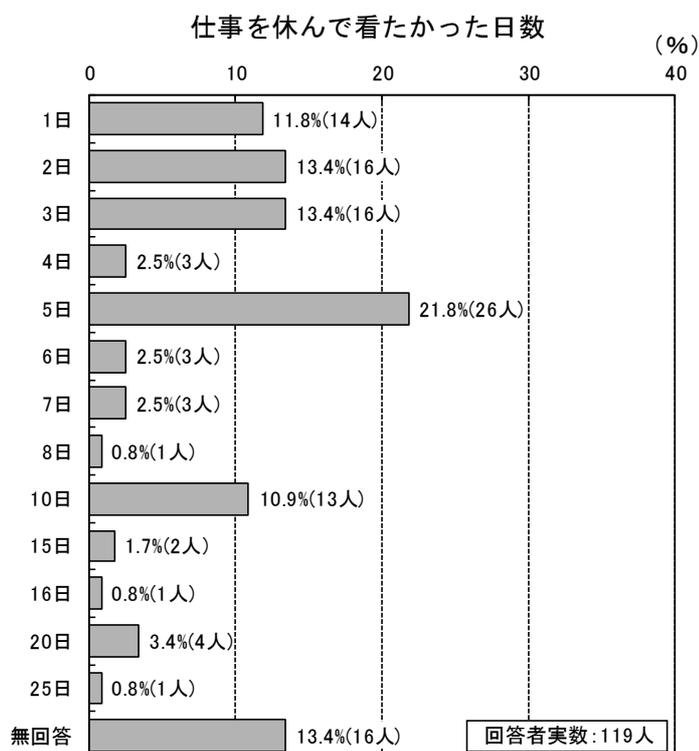
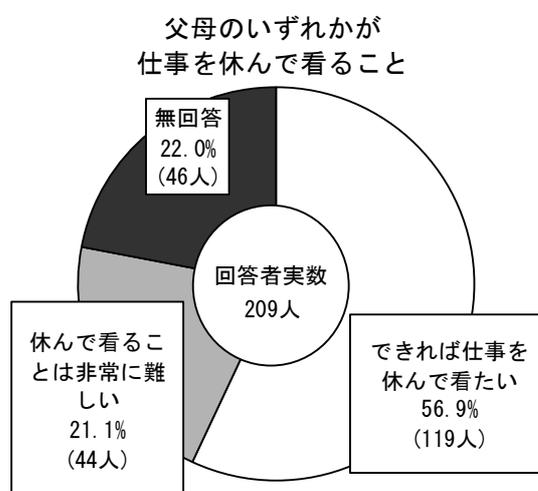
	回答者実数	病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	地域の事業の質に不安がある	地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数などがよくない)	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	親が仕事を休んで対応する	その他	無回答
ひとり親	20人	50.0% (10人)	—	20.0% (4人)	25.0% (5人)	20.0% (4人)	60.0% (12人)	15.0% (3人)	—
フルタイム+フルタイム	130人	40.8% (53人)	6.9% (9人)	12.3% (16人)	40.0% (52人)	6.9% (9人)	56.9% (74人)	25.4% (33人)	—
フルタイム+パート等	68人	50.0% (34人)	7.4% (5人)	8.8% (6人)	38.2% (26人)	8.8% (6人)	61.8% (42人)	13.2% (9人)	1.5% (1人)
片親のみ就労	6人	50.0% (3人)	—	—	—	—	66.7% (4人)	50.0% (3人)	—

(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看ること

前項の「(2) 病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法」で、子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった際、「父親が休んだ」、「母親が休んだ」以外の対処方法を選択した保護者について、できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が56.9%、「休んで看るとは非常に難しい」が21.1%となります。

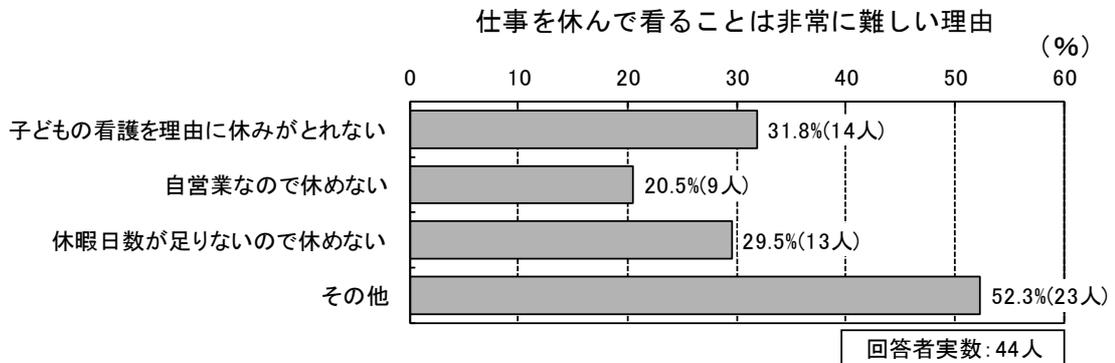
なお、「無回答」が22.0%と比較的高くなっていますが、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」とする保護者が含まれるためと考えられます。

次に、「できれば仕事を休んで子どもを看たい」と答えた保護者の、見たかった日数については、「1日」から「25日」まであり、「5日」が21.8%と最も高く、次に「2日」と「3日」がともに13.4%、「1日」が11.8%となります。



(7) 仕事を休んで見ることは非常に難しい理由（複数回答）

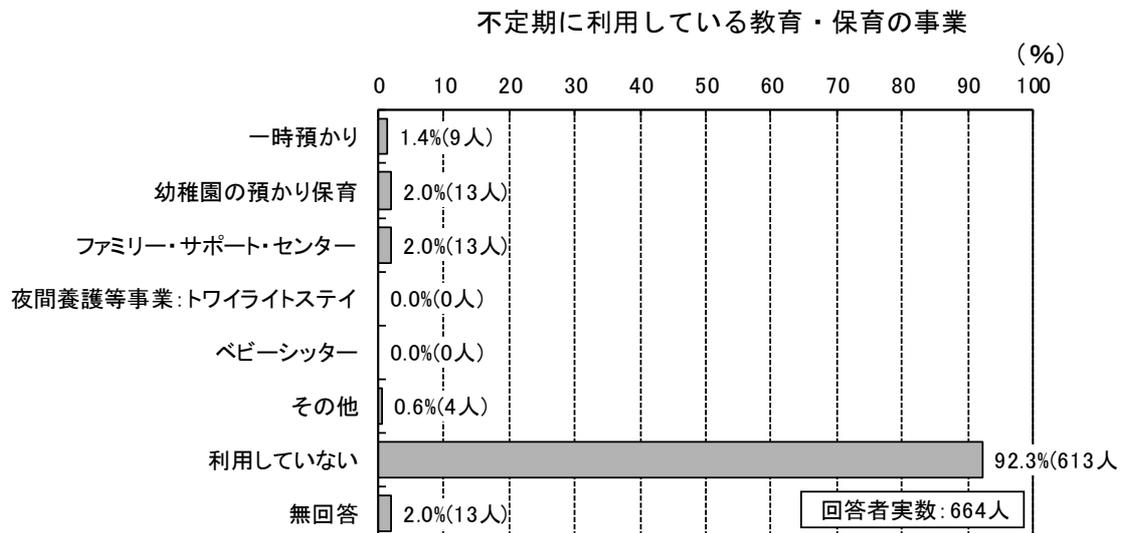
子どもが病気やけがで教育・保育の事業が利用できなかった場合に、「仕事を休んで見るのが非常に難しい」と答えた理由については、「その他」が52.3%と最も高く、次に「子どもの看護を理由に休みがとれない」が31.8%、「休假日数が足りないので休めない」が29.5%となります。



9. 不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している教育・保育の事業（複数回答）

保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業については、「利用していない」が92.3%とほとんどを占めます。一方、利用している事業では「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」、「ファミリー・サポート・センター」などがあります。



利用している事業の年間利用日数をみると、「一時預かり」は、「1日」から「20日」まであり、「幼稚園の預かり保育」は、「1日」から「240日」まであります。また、「ファミリー・サポート・センター」も、「1日」から「240日」まであります。

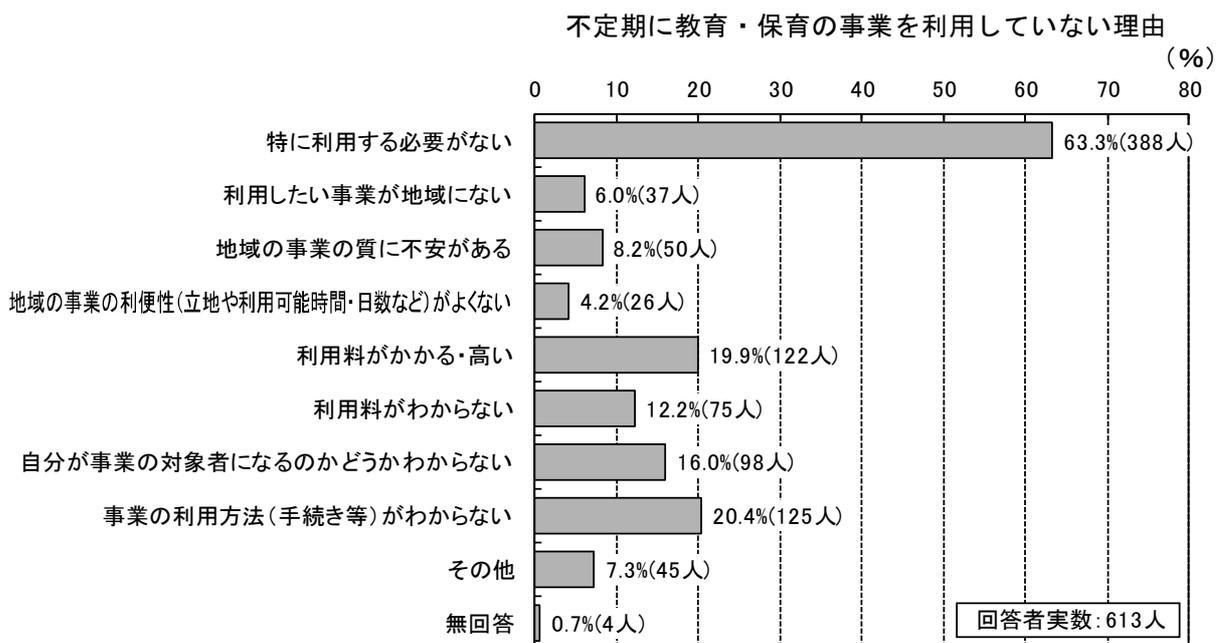
利用している事業の年間利用日数

①一時預かり		②幼稚園の預かり保育		③ファミリー・サポート・センター	
1日	22.2% (2人)	1日	7.7% (1人)	1日	7.7% (1人)
2日	11.1% (1人)	6日	7.7% (1人)	2日	15.4% (2人)
5日	11.1% (1人)	20日	7.7% (1人)	3日	15.4% (2人)
12日	22.2% (2人)	30日	7.7% (1人)	6日	7.7% (1人)
15日	11.1% (1人)	100日	7.7% (1人)	7日	7.7% (1人)
20日	22.2% (2人)	104日	7.7% (1人)	10日	15.4% (2人)
回答者実数	9人	180日	7.7% (1人)	12日	7.7% (1人)
		240日	7.7% (1人)	30日	7.7% (1人)
		無回答	38.5% (5人)	240日	7.7% (1人)
		回答者実数	13人	無回答	7.7% (1人)
				回答者実数	13人
④その他					
5日	25.0% (1人)				
20日	25.0% (1人)				
48日	25.0% (1人)				
無回答	25.0% (1人)				
回答者実数	4人				

(2) 不定期に教育・保育の事業を利用していない理由（複数回答）

不定期に教育・保育の事業を「利用していない」と答えた保護者の、その理由については、「特に利用する必要がない」が63.3%と最も高く、次に「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が20.4%、「利用料がかかる・高い」が19.9%となります。

また、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」が16.0%、「利用料がわからない」が12.2%となっていますが、事業の利用方法を含め、周知が深まれば、不定期の教育・保育の事業の利用につながる可能性があります。



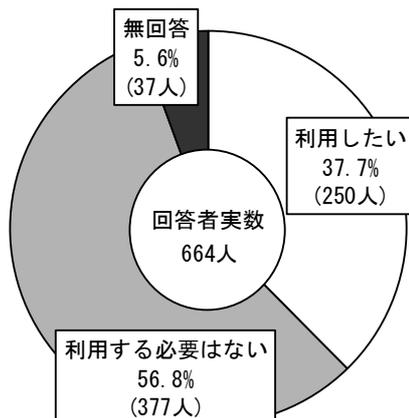
(3) 不定期の教育・保育の事業の利用希望

保護者の私用、通院、不定期の就労等による、不定期の教育・保育の事業の利用希望については、「利用したい」が37.7%、「利用する必要はない」が56.8%となります。

次に、「利用したい」と答えた保護者の、利用したい年間合計日数は「1日」から「240日」まであり、「10日」が18.8%と最も高く、次に「12日」が14.4%となります。

また、「無回答」の割合が14.0%と比較的高くなっていますが、不定期の就労等により、日数が予測できないためと考えられます。

不定期の教育・保育の事業の利用希望

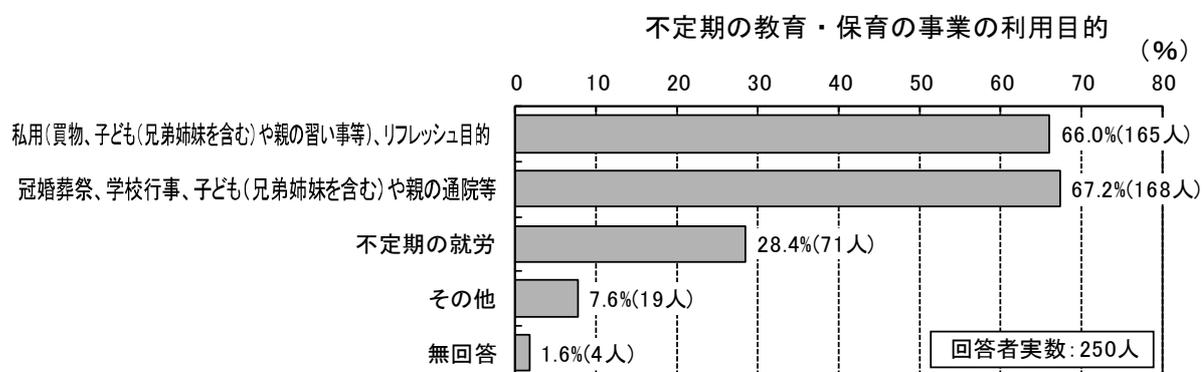


不定期の教育・保育の事業の年間利用希望日数

1日	0.4% (1人)	27日	0.4% (1人)
2日	2.4% (6人)	30日	4.0% (10人)
3日	4.0% (10人)	34日	0.8% (2人)
4日	1.2% (3人)	36日	0.8% (2人)
5日	11.2% (28人)	40日	1.6% (4人)
6日	2.8% (7人)	48日	0.8% (2人)
7日	0.8% (2人)	50日	1.6% (4人)
8日	0.4% (1人)	56日	0.4% (1人)
9日	0.4% (1人)	66日	0.4% (1人)
10日	18.8% (47人)	96日	0.4% (1人)
12日	14.4% (36人)	100日	0.8% (2人)
14日	0.4% (1人)	101日	0.4% (1人)
15日	4.0% (10人)	120日	0.4% (1人)
17日	0.4% (1人)	180日	0.8% (2人)
19日	0.4% (1人)	240日	0.8% (2人)
20日	5.2% (13人)	無回答	14.0% (35人)
23日	0.4% (1人)	回答者実数	250人
24日	4.0% (10人)		

(4) 不定期の教育・保育の事業の利用目的・利用希望日数（複数回答）

不定期の教育・保育の事業を「利用したい」と答えた保護者の利用目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が67.2%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が66.0%と高く、「不定期の就労」が28.4%となります。



家庭類型別にみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は、「パート等＋パート等」が100%、次に「片親のみ就労」が73.9%で、そのほかの家庭ではいずれも60%台の割合となります。

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」も、「パート等＋パート等」が100.0%、次に「フルタイム＋パート等」が73.9%と高く、「ひとり親」が50.0%と最も低くなります。

一方、「不定期の就労」は、「ひとり親」が50.0%と最も高く、「片親のみ就労」が19.6%と低くなります。

不定期の教育・保育の事業の利用目的(家庭類型別)

	回答者実数	私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	不定期の就労	その他	無回答
ひとり親	22人	50.0% (11人)	68.2% (15人)	50.0% (11人)	4.5% (1人)	—
フルタイム＋フルタイム	125人	66.4% (83人)	64.8% (81人)	28.0% (35人)	8.8% (11人)	2.4% (3人)
フルタイム＋パート等	46人	73.9% (34人)	65.2% (30人)	30.4% (14人)	4.3% (2人)	—
パート等＋パート等	1人	100.0% (1人)	100.0% (1人)	—	—	—
片親のみ就労	46人	69.6% (32人)	73.9% (34人)	19.6% (9人)	10.9% (5人)	2.2% (1人)

次に、利用目的別の年間の利用希望日数については、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)リフレッシュ目的」では、「1日」から「100日」まであり、「5日」と「12日」が17.0%と最も高く、次に「10日」が13.9%となります。

「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」では、「1日」から「240日」まであり、「5日」が20.2%と最も高く、次に「2日」が16.1%となります。

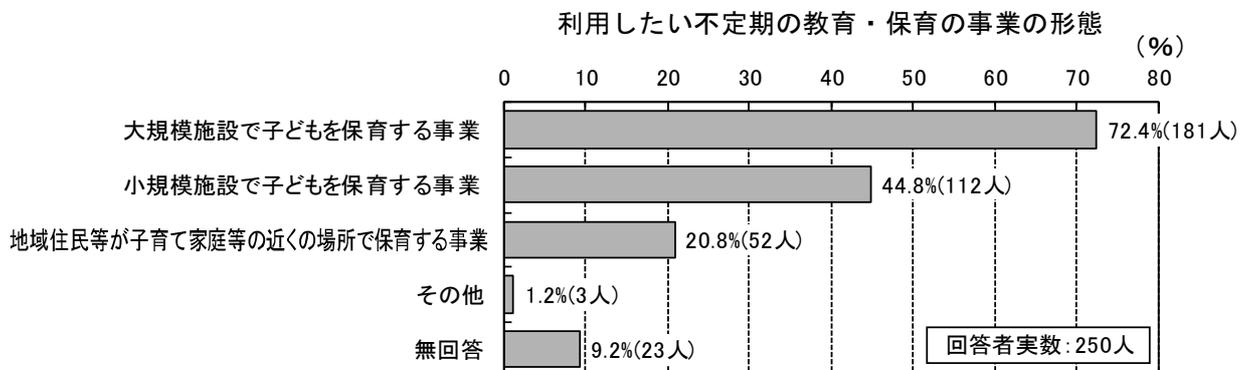
「不定期の就労」では、「1日」から「180日」まであり、「5日」が15.5%と最も高く、次に「10日」が14.1%となります。

利用目的別の年間利用希望日数

①私用		②冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等		③不定期の就労	
1日	6.1% (10人)	1日	3.0% (5人)	1日	1.4% (1人)
2日	8.5% (14人)	2日	16.1% (27人)	2日	5.6% (4人)
3日	9.1% (15人)	3日	11.3% (19人)	3日	11.3% (8人)
4日	3.6% (6人)	4日	4.2% (7人)	4日	4.2% (3人)
5日	17.0% (28人)	5日	20.2% (34人)	5日	15.5% (11人)
6日	5.5% (9人)	6日	6.5% (11人)	6日	1.4% (1人)
7日	0.6% (1人)	7日	2.4% (4人)	7日	1.4% (1人)
9日	1.8% (3人)	8日	1.8% (3人)	8日	1.4% (1人)
10日	13.9% (23人)	9日	1.2% (2人)	10日	14.1% (10人)
11日	0.6% (1人)	10日	13.7% (23人)	12日	2.8% (2人)
12日	17.0% (28人)	12日	6.5% (11人)	15日	2.8% (2人)
13日	0.6% (1人)	14日	0.6% (1人)	20日	8.5% (6人)
15日	1.2% (2人)	20日	1.8% (3人)	24日	4.2% (3人)
20日	1.8% (3人)	30日	2.4% (4人)	30日	4.2% (3人)
24日	3.0% (5人)	50日	1.2% (2人)	34日	1.4% (1人)
25日	0.6% (1人)	90日	0.6% (1人)	40日	1.4% (1人)
30日	1.8% (3人)	240日	0.6% (1人)	48日	1.4% (1人)
36日	1.2% (2人)	無回答	6.0% (10人)	60日	1.4% (1人)
40日	0.6% (1人)	回答者実数	168人	80日	1.4% (1人)
50日	0.6% (1人)			180日	2.8% (2人)
100日	0.6% (1人)			無回答	11.3% (8人)
無回答	4.2% (7人)			回答者実数	71人
回答者実数	165人				
		④その他			
		3日	10.5% (2人)		
		4日	5.3% (1人)		
		5日	5.3% (1人)		
		6日	5.3% (1人)		
		10日	10.5% (2人)		
		12日	5.3% (1人)		
		15日	10.5% (2人)		
		20日	5.3% (1人)		
		30日	10.5% (2人)		
		40日	10.5% (2人)		
		48日	5.3% (1人)		
		240日	5.3% (1人)		
		無回答	10.5% (2人)		
		回答者実数	19人		

(5) 利用したい不定期の教育・保育の事業の形態（複数回答）

不定期に教育・保育の事業を「利用したい」と答えた保護者の、希望する事業の形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」が72.4%と最も高く、次に「小規模施設で子どもを保育する事業（子育て支援センター等）」が44.8%となります。



子どもの年齢別にみると、「大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育所等）」は、「0歳」が84.6%と最も高く、「1歳」が65.6%と最も低くなります。そのほかの年齢では、いずれも70%台となります。

「小規模施設で子どもを保育する事業（子育て支援センター等）」も、「0歳」が61.5%と最も高く、「4歳」が22.9%と最も低く、次に「5歳」が28.0%となります。

「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」も、「0歳」が30.8%と最も高く、「4歳」が11.4%と最も低くなります。

不定期に利用したい教育・保育の事業の形態(子どもの年齢別)

	回答者 実数	大規模施設で 子どもを保育 する事業	小規模施設で 子どもを保育 する事業	地域住民等が子 育て家庭等の近 くの場所で保育 する事業	その他	無回答
0歳	26人	84.6% (22人)	61.5% (16人)	30.8% (8人)	—	3.8% (1人)
1歳	64人	65.6% (42人)	54.7% (35人)	21.9% (14人)	3.1% (2人)	4.7% (3人)
2歳	40人	70.0% (28人)	45.0% (18人)	20.0% (8人)	2.5% (1人)	5.0% (2人)
3歳	35人	71.4% (25人)	51.4% (18人)	20.0% (7人)	—	14.3% (5人)
4歳	35人	77.1% (27人)	22.9% (8人)	11.4% (4人)	—	17.1% (6人)
5歳	25人	76.0% (19人)	28.0% (7人)	20.0% (5人)	—	16.0% (4人)
6歳	22人	72.7% (16人)	40.9% (9人)	27.3% (6人)	—	9.1% (2人)

家庭類型別にみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「片親のみ就労」が80.4%と高く、「ひとり親」が50.0%と最も低くなります。

「小規模施設で子どもを保育する事業（子育て支援センター等）」も、「片親のみ就労」が52.2%と最も高く、「ひとり親」が36.4%と最も低くなります。

また、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（ファミリー・サポート・センター等）」は、「フルタイム+パート等」と「片親のみ就労」がともに23.9%と最も高く、「ひとり親が」13.6%と低くなります。

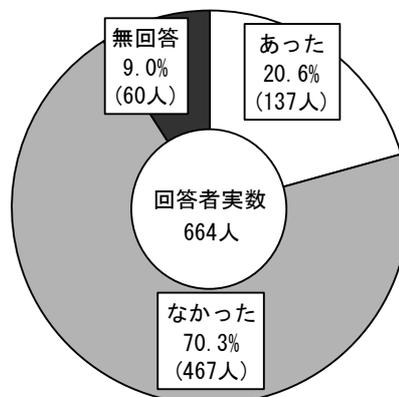
利用したい不定期の教育・保育の事業の形態(家庭類型別)

	回答者 実数	大規模施設で 子どもを保育 する事業	小規模施設で 子どもを保育 する事業	地域住民等が子 育て家庭等の近 くの場所で保育 する事業	その他	無回答
ひとり親	22人	50.0% (11人)	36.4% (8人)	13.6% (3人)	—	18.2% (4人)
フルタイム +フルタイム	125人	72.0% (90人)	42.4% (53人)	20.8% (26人)	1.6% (2人)	9.6% (12人)
フルタイム +パート等	46人	76.1% (35人)	45.7% (21人)	23.9% (11人)	2.2% (1人)	4.3% (2人)
パート等 +パート等	1人	100.0% (1人)	—	—	—	—
片親のみ就労	46人	80.4% (37人)	52.2% (24人)	23.9% (11人)	—	8.7% (4人)

(6) 泊りがけで子どもを家族以外にみてもらったこと

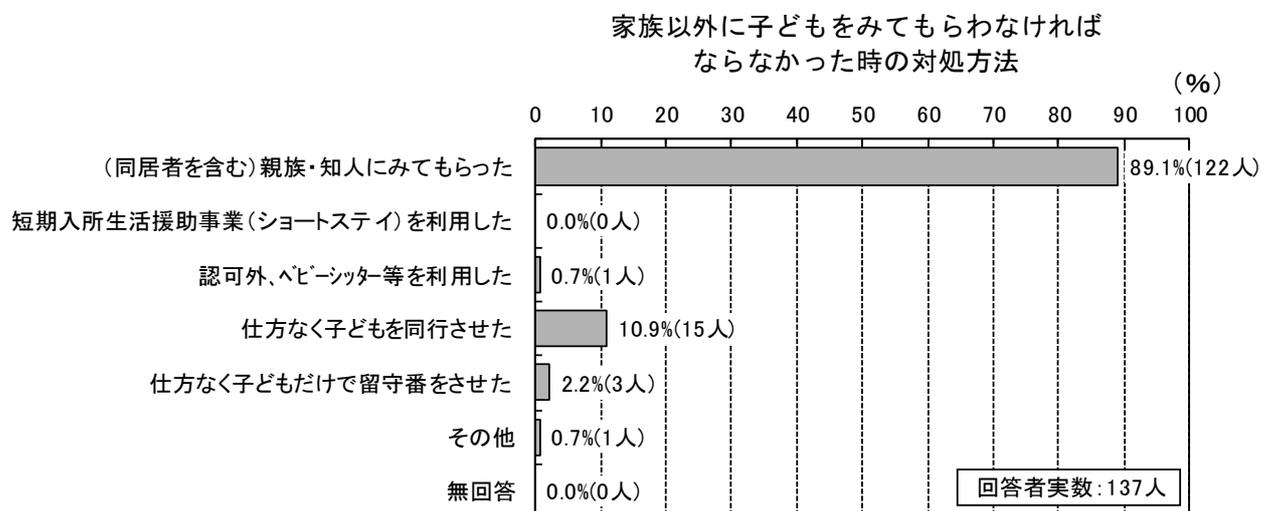
この1年間に保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことについては、「なかった」が70.3%、「あった」が20.6%となります。

泊りがけで子どもを家族以外に
みてもらったこと



(7) 泊りがけで家族以外に子どもをみてもらった時の対処方法

泊りがけで、家族以外に子どもをみてもらわなければならないことが「あった」と答えた保護者の、その時の対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が89.1%とほとんどを占め、「仕方なく子どもを同行させた」が10.9%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が2.2%となります。

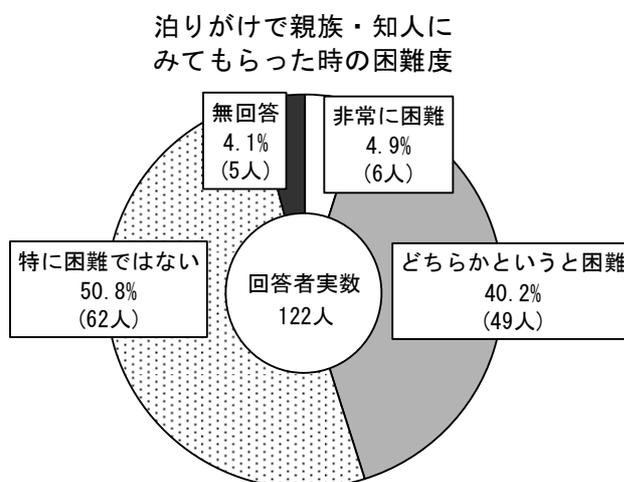


次に、対処方法別の泊数をみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」は、「1泊」から「180泊」まであり、「1泊」が40.2%と最も高くなります。また、「仕方なく子どもを同行させた」は、「1泊」から「30泊」まであり、「2泊」が26.7%と最も高くなります。

対処方法と泊数

①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった泊数	③仕方なく子どもを同行させた
1泊 40.2% (49人)	1泊 20.0% (3人)
2泊 20.5% (25人)	2泊 26.7% (4人)
3泊 8.2% (10人)	3泊 13.3% (2人)
4泊 5.7% (7人)	4泊 13.3% (2人)
5泊 6.6% (8人)	10泊 6.7% (1人)
6泊 1.6% (2人)	30泊 6.7% (1人)
7泊 6.6% (8人)	無回答 13.3% (2人)
10泊 3.3% (4人)	回答者実数 15人
12泊 0.8% (1人)	
15泊 1.6% (2人)	
30泊 0.8% (1人)	
60泊 0.8% (1人)	
180泊 0.8% (1人)	
無回答 2.5% (3人)	
回答者実数 122人	
	④仕方なく子どもだけで留守番をさせた
	1泊 66.7% (2人)
	13泊 33.3% (1人)
	回答者実数 3人
	⑤その他
	1泊 100.0% (1人)
	回答者実数 1人
②認可外、ベビーシッターを利用した	
1泊 100.0% (1人)	
回答者実数 1人	

また、子どもを泊りがけで「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた保護者の、その時の困難度については、「特に困難ではない」が50.8%と最も高く、「どちらかという困難」が40.2%、「非常に困難」が4.9%となります。

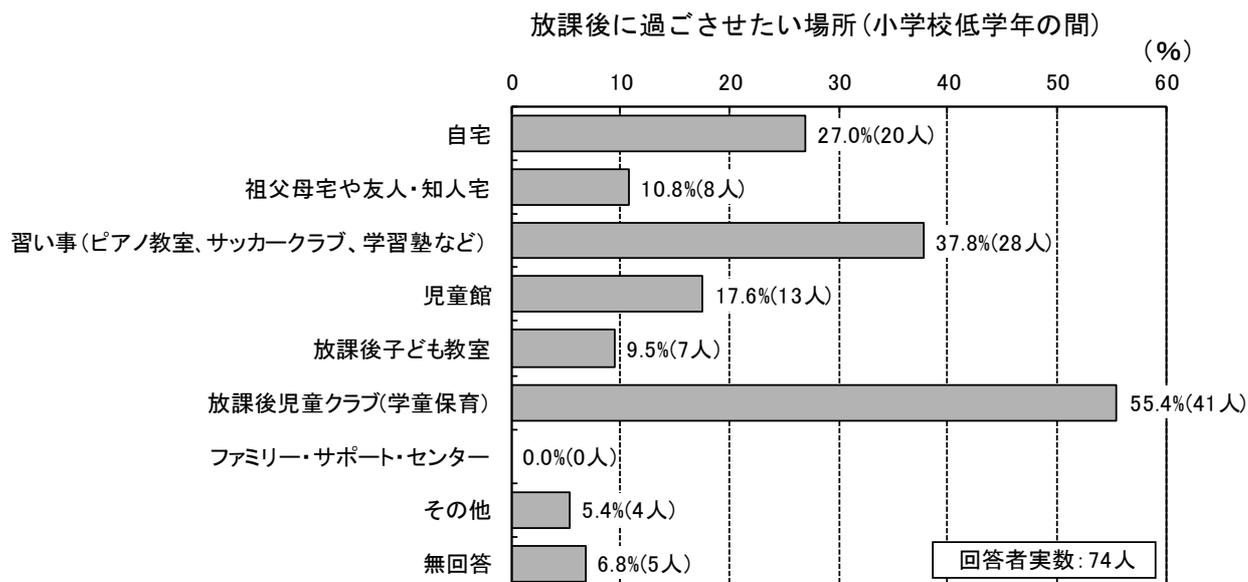


10. 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 放課後に過ごさせたい場所 (複数回答)

〈小学校低学年の間〉

就学前の子(5歳以上の子が対象)が小学校就学後に、放課後の時間を過ごしてもらいたい場所として、小学校低学年(1~3年生)の間は、「放課後児童クラブ(学童保育)」が55.4%と最も高くなります。続いて、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が37.8%、「自宅」が27.0%、「児童館」が17.6%となります。



次に、過ごしてもらいたい場所別に、希望する週あたりの利用日数をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」は、週「5日」が73.2%、「習い事(ピアノ教室など)」は、週「2日」が50.0%、「児童館」は、週「3日」が46.2%とそれぞれ最も高くなります。

また、週「6日」では、「放課後児童クラブ（学童保育）」のみ回答があり、12.2%となります。

放課後に過ごさせたい場所の週あたりの利用希望日数（小学校低学年の間）

	回答者 実数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	20人	10.0% (2人)	10.0% (2人)	15.0% (3人)	5.0% (1人)	35.0% (7人)	—	10.0% (2人)	15.0% (3人)
祖父母宅や友人・知人宅	8人	12.5% (1人)	25.0% (2人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	12.5% (1人)	—	—	25.0% (2人)
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	28人	14.3% (4人)	50.0% (14人)	25.0% (7人)	—	7.1% (2人)	—	—	3.6% (1人)
児童館	13人	—	7.7% (1人)	46.2% (6人)	—	30.8% (4人)	—	—	15.4% (2人)
放課後子ども教室	7人	—	28.6% (2人)	42.9% (3人)	—	28.6% (2人)	—	—	—
放課後児童クラブ (学童保育)	41人	—	2.4% (1人)	7.3% (3人)	2.4% (1人)	73.2% (30人)	12.2% (5人)	—	2.4% (1人)
その他 (公民館、公園など)	10人	—	—	25.0% (1人)	25.0% (1人)	25.0% (1人)	—	—	25.0% (1人)

次に、「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごさせたいと考えている保護者が、下校時から何時までの利用を希望するかについては、「18時」が58.5%と最も高く、次に「19時」が17.1%となります。

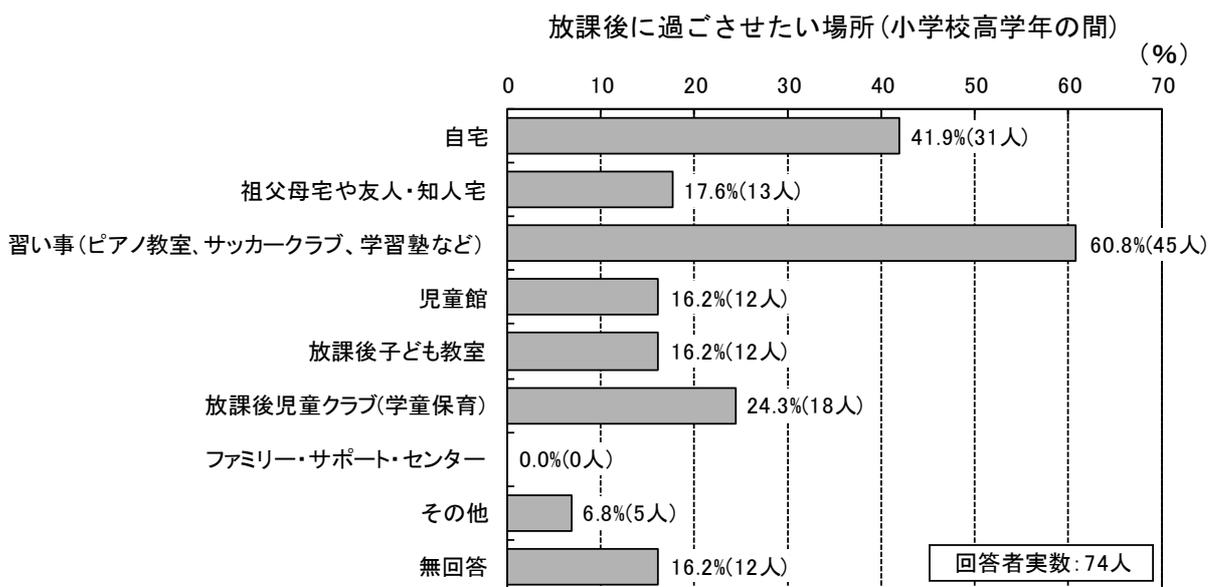
放課後児童クラブの利用希望時間
(小学校低学年の間)

17時	14.6% (6人)
17時30分	2.4% (1人)
18時	58.5% (24人)
18時30分	2.4% (1人)
19時	17.1% (7人)
無回答	4.9% (2人)
回答者実数	41人

〈小学校高学年の間〉

放課後に過ごさせたい場所として小学校高学年(4~6年生)の間は、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が60.8%と最も高く、次に「自宅」が41.9%となります。続いて、「放課後児童クラブ(学童保育)」が24.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.6%、「児童館」と「放課後子ども教室」がともに16.2%となります。

低学年の間過ごさせたい場所と比べると、高学年は「習い事」が23.0ポイント高く、「放課後児童クラブ(学童保育)」が31.1ポイント低くなります。



次に、過ごしてもらいたい場所別に、希望する週あたりの利用日数をみると、「習い事(ピアノなど)」は、週「2日」が51.1%、「放課後児童クラブ(学童保育)」は、週「5日」が44.4%、「児童館」も、「週5日」が41.7%、「放課後子ども教室」も、「週2日」が33.3%とそれぞれ最も高くなります。

放課後に過ごさせたい場所の週あたりの利用希望日数(小学校高学年の間)

	回答者 実数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	31人	9.7% (3人)	19.4% (6人)	12.9% (4人)	3.2% (1人)	45.2% (14人)	—	3.2% (1人)	6.5% (2人)
祖父母宅や友人・知人宅	31人	15.4% (2人)	38.5% (5人)	23.1% (3人)	—	—	7.7% (1人)	—	15.4% (2人)
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	45人	4.4% (2人)	51.1% (23人)	35.6% (16人)	—	6.7% (3人)	—	—	2.2% (1人)
児童館	12人	16.7% (2人)	8.3% (1人)	25.0% (3人)	—	41.7% (5人)	—	—	8.3% (1人)
放課後子ども教室	12人	25.0% (3人)	33.3% (4人)	25.0% (3人)	16.7% (2人)	—	—	—	—
放課後児童クラブ (学童保育)	18人	5.6% (1人)	11.1% (2人)	22.2% (4人)	5.6% (1人)	44.4% (8人)	11.1% (2人)	—	—
その他 (公民館、公園など)	12人	—	20.0% (1人)	20.0% (1人)	—	40.0% (2人)	—	—	20.0% (1人)

次に、「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごさせたいと考えている保護者が、下校時から何時までの利用を希望するかについては、「18時」が55.6%と最も高く、次に「19時」が27.8%となります。

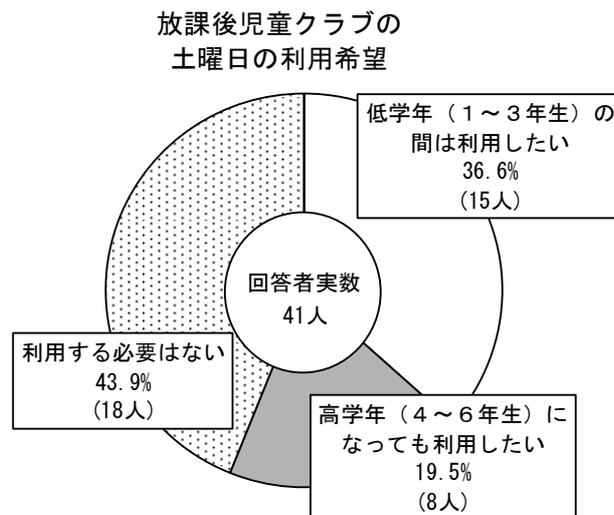
放課後児童クラブの利用希望時間
(小学校高学年の間)

17時	5.6% (1人)
17時30分	5.6% (1人)
18時	55.6% (10人)
19時	27.8% (5人)
無回答	5.6% (1人)
回答者実数	18人

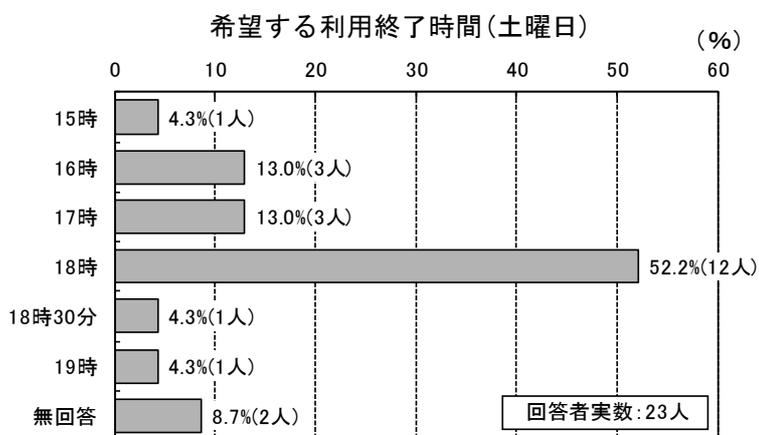
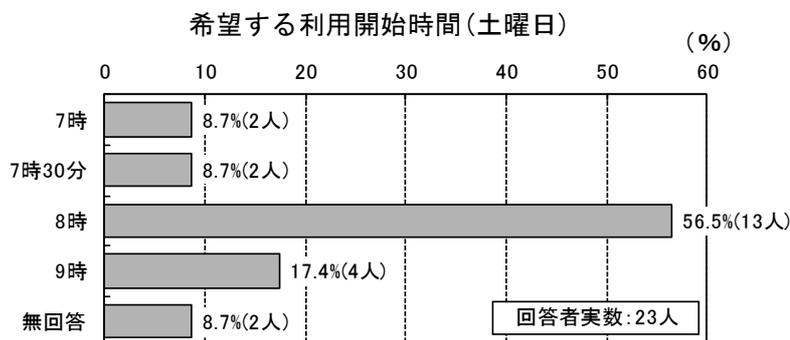
(2) 放課後児童クラブの土曜日、休日の利用希望

〈土曜日〉

「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用したいと答えた保護者の、「土曜日」の利用希望については、「利用する必要はない」が43.9%と最も高く、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が36.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が19.5%となります。

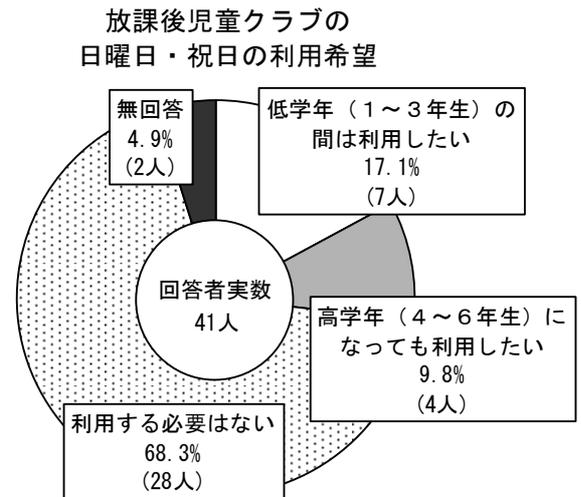


低学年の間または高学年になっても「利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「8時」が56.5%と最も高く、次に「9時」が17.4%となります。また、希望する終了時間は、「18時」が52.2%と最も高く、次に「16時」と「17時」がともに13.0%となります。

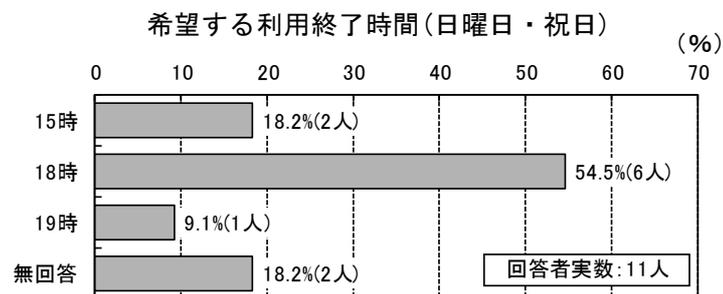
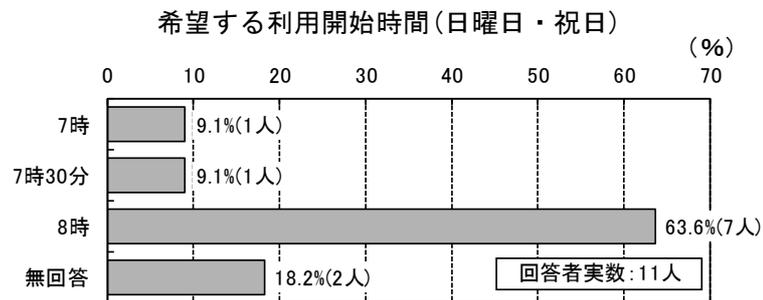


〈日曜日・祝日〉

放課後児童クラブの「日曜日・祝日」の利用希望をみると、「利用する必要はない」が68.3%と7割近くを占め、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が17.1%、「高学年(4～6年生)の間は利用したい」が9.8%となります。

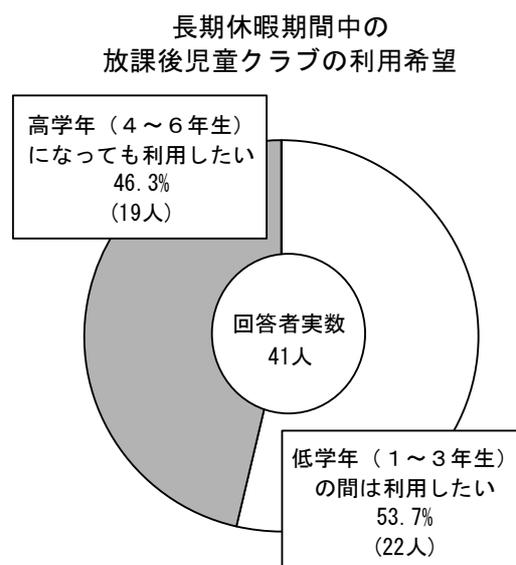


低学年の間または高学年になっても「利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「8時」が63.6%と最も高く、次に「7時」と「7時30分」が9.1%となります。また、希望する終了時間は、「18時」が54.5%と最も高く、次に「15時」が18.2%となります。

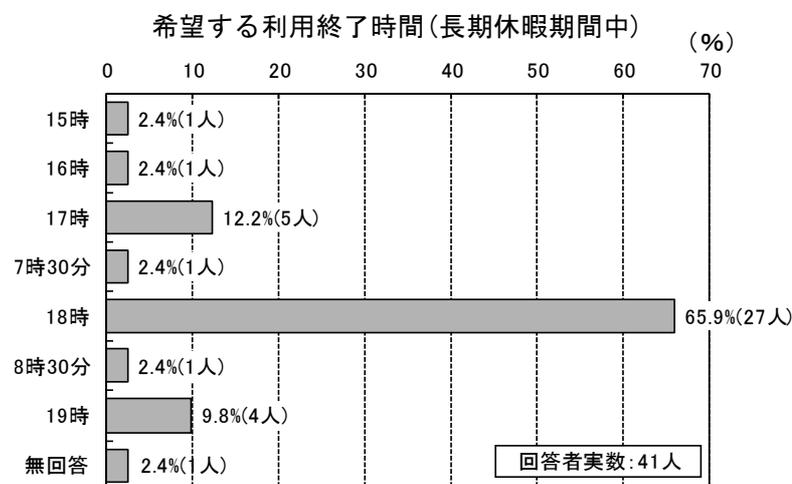
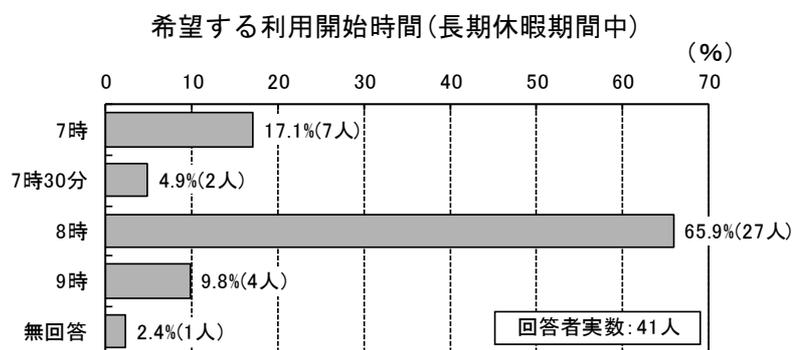


(3) 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望

子どもの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望については、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が53.7%と最も高く、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が46.3%となります。

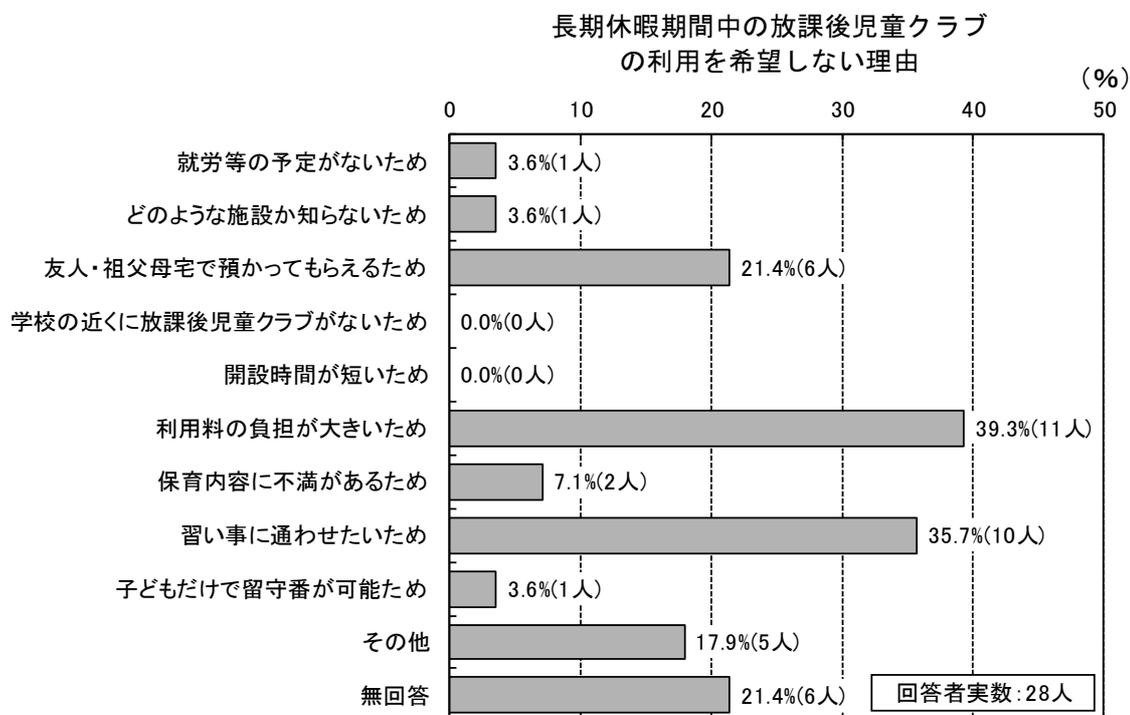


低学年の間または高学年になっても「利用したい」と答えた保護者の、希望する利用開始時間は、「8時」が65.9%と最も高く、次に「7時」が17.1%となります。また、希望する終了時間は、「18時」が65.9%と最も高く、次に「17時」が12.2%となります。



(4) 放課後児童クラブを利用しない理由（複数回答）

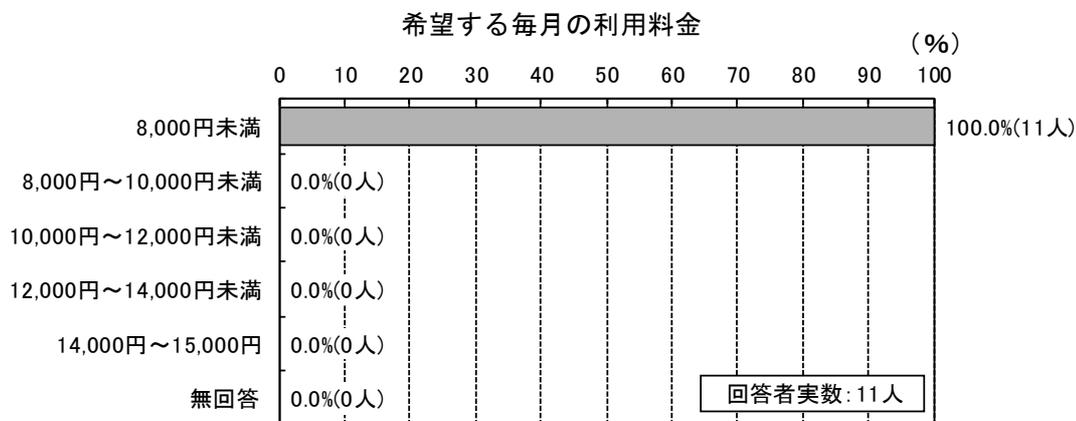
小学校就学後の放課後の過ごし方で、放課後児童クラブの利用希望がない保護者の、希望しない理由については、「利用料の負担が大きい」が39.3%と最も高く、次に「習い事に通わせたい」が35.7%、「友人・祖父母宅で預かってもらえる」が21.4%となります。



選択肢の略称	選択肢の内容
どのような施設か知らないため	放課後児童クラブがどのような施設なのか知らないため
友人・祖父母宅で預かってもらえるため	小学校就学後、友人・知人宅や祖父母宅で預かってもらえるため
学校の近くに放課後児童クラブがないため	入学予定の学校の近くに、放課後児童クラブがないため
開設時間が短いため	利用したいと思うが、放課後児童クラブの開設時間が短いため
利用料の負担が大きい	利用したいと思うが、放課後児童クラブの利用料の負担が大きい
保育内容に不満があるため	放課後児童クラブの保育内容に不安又は不満があるため
習い事に通わせたい	習い事（クラブ活動、学習塾など）を利用したいと考えているため
子どもだけで留守番が可能	放課後の短時間ならば、子どもだけでも留守番が可能であると考えているため

(5) 希望する放課後児童クラブの利用料金（複数回答）

「(4) 放課後児童クラブを利用しない理由」として、「利用料の負担が大きいため」と答えた保護者が、希望する毎月の利用料金は、全員が「8,000円未満」と答えています。



* 西原町の放課後児童クラブ（学童保育）の利用料金は、8,000円から15,000円の間で設定されており、低学年ほど金額は高くなります。

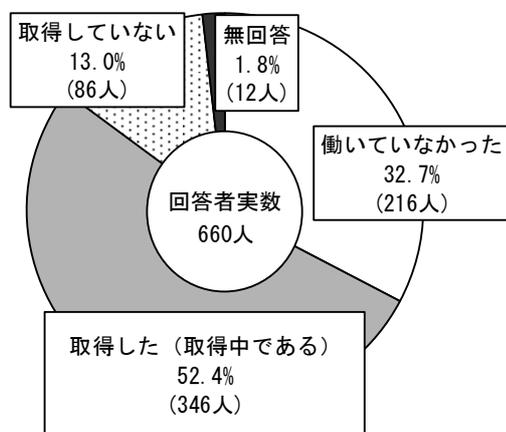
11. 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 育児休業の取得状況

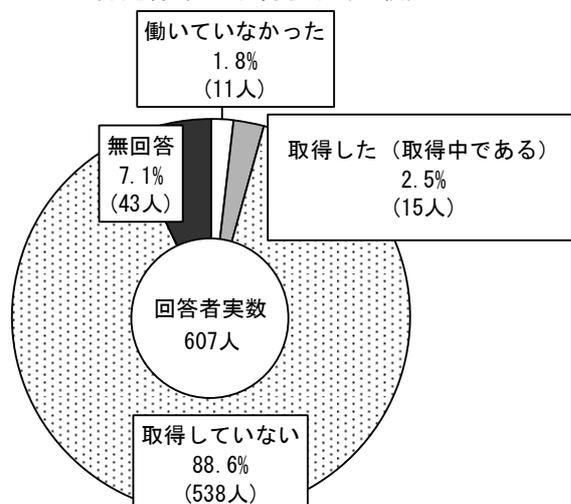
子どもが生まれた時の母親、父親の育児休業の取得について、母親の場合は、「取得した（取得中である）」が52.4%と最も高く、「働いていなかった」が32.7%、「取得していない」が13.0%となります。

父親の場合は、「取得していない」が88.6%とほとんどを占め、「取得した（取得中である）」が2.5%となります。

育児休業の取得状況（母親）



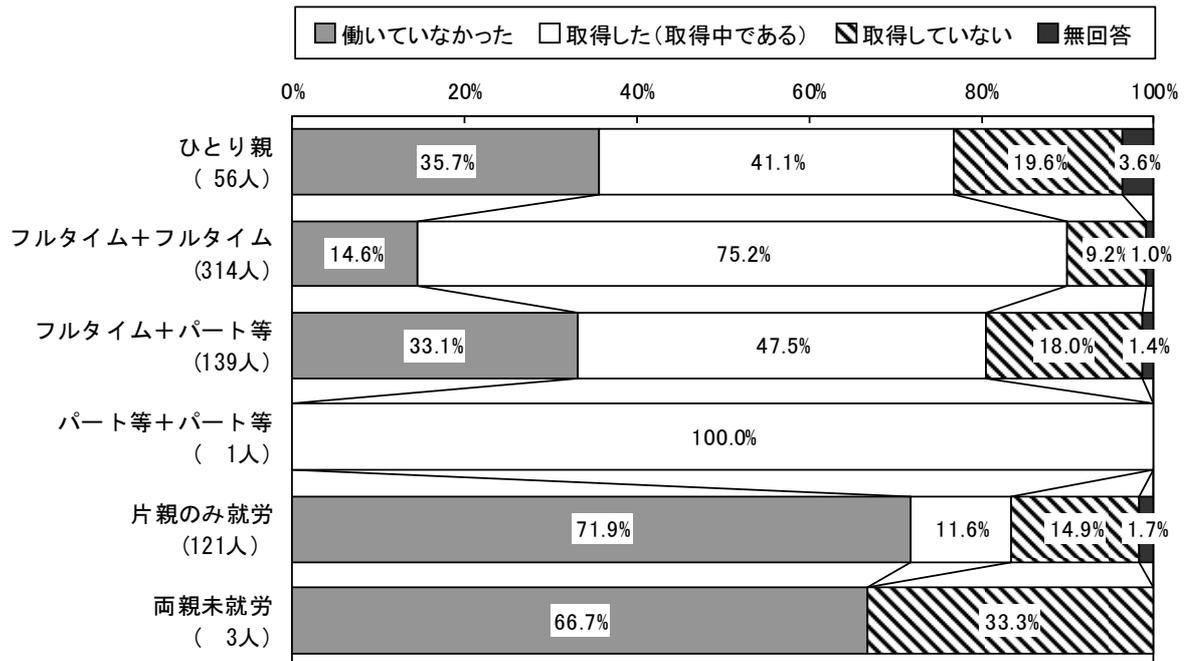
育児休業の取得状況（父親）



母親の育児休業の取得状況について家庭類型別にみると、「取得した（取得中である）」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「フルタイム+フルタイム」が75.2%と高く、「フルタイム+パート等」と「ひとり親」が40%台となります。また「片親のみ就労」が11.6%と最も低くなります。

一方、「取得していない」は、「両親未就労」が33.3%と最も高く、次に「ひとり親」が19.6%、「フルタイム+パート等」が18.0%となります。

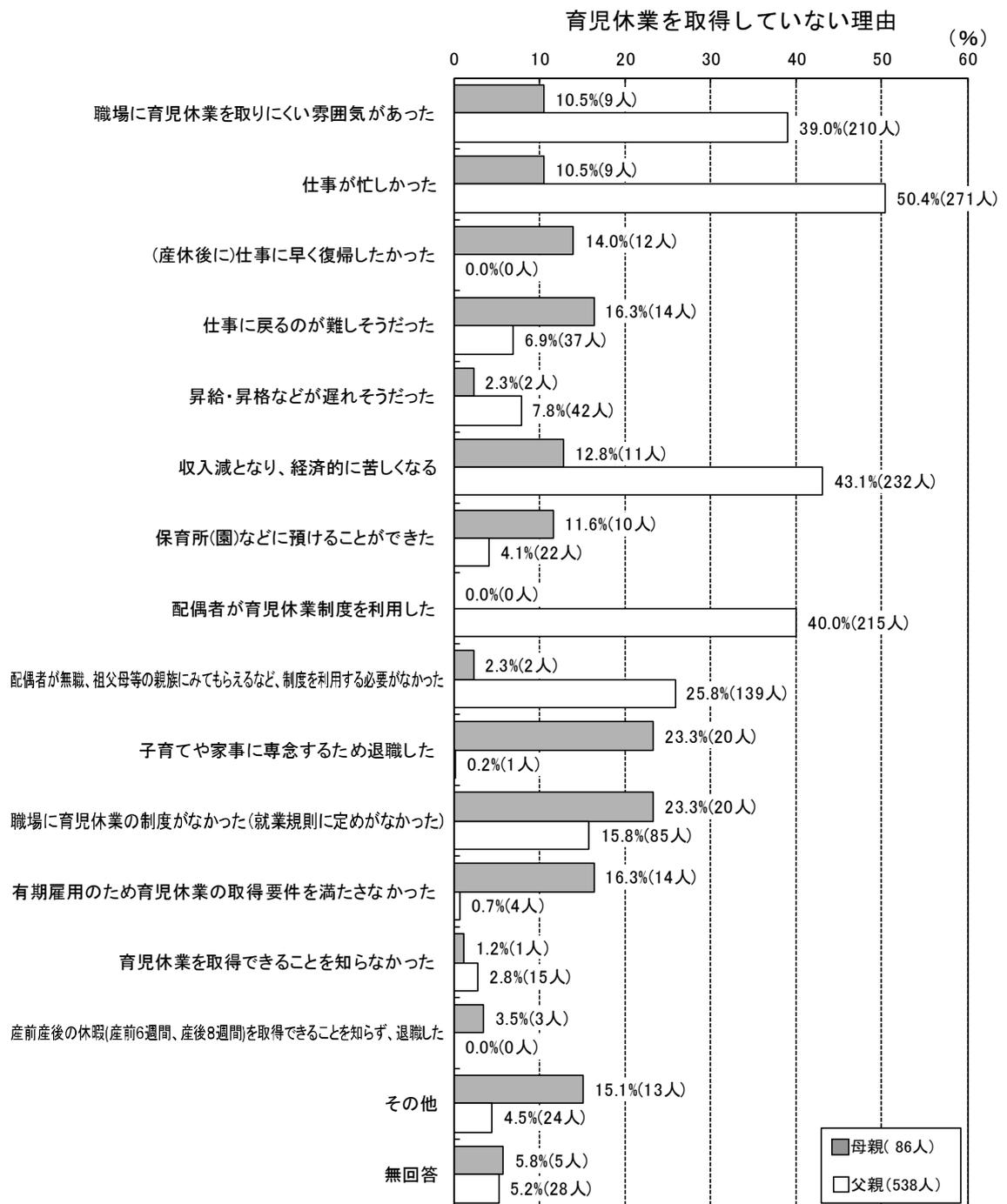
育児休業の取得状況（母親：家庭類型別）



(2) 育児休業を取得していない理由（複数回答）

育児休業を「取得していない」と答えた母親と父親の、取得していない理由について、母親の場合は、「子育てや家事に専念するため退職した」と「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がともに23.3%と最も高くなります。次に、「仕事に戻るのが難しそうだった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに16.3%となります。

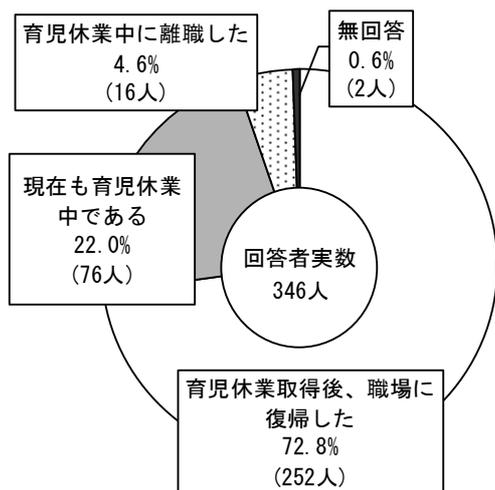
父親の場合は、「仕事が忙しかった」が50.4%と最も高くなります。続いて、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が43.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が40.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が39.0%となります。



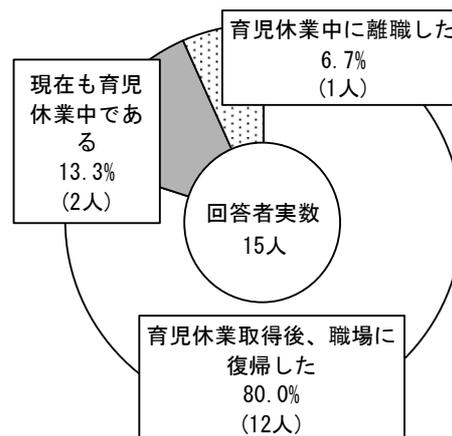
(3) 育児休業取得後の職場復帰

育児休業を「取得した(取得中である)」と答えた母親と父親の、育児休業取得後の職場復帰について、母親の場合は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が72.8%と多数を占め、次に「現在も育児休業中である」が22.0%、「育児休業中に離職した」が4.6%となります。父親の場合は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が80.0%とほとんどです。

育児休業取得後の職場復帰(母親)



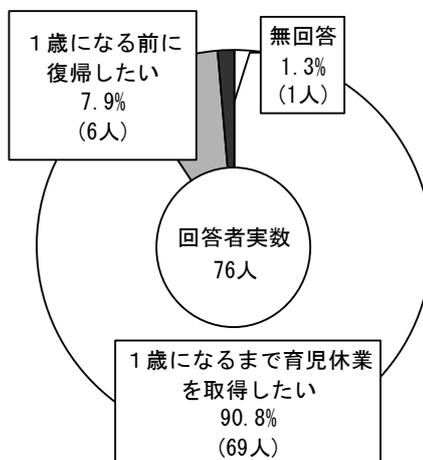
育児休業取得後の職場復帰(父親)



(4) 1歳になるまでの育児休業の取得希望(母親)

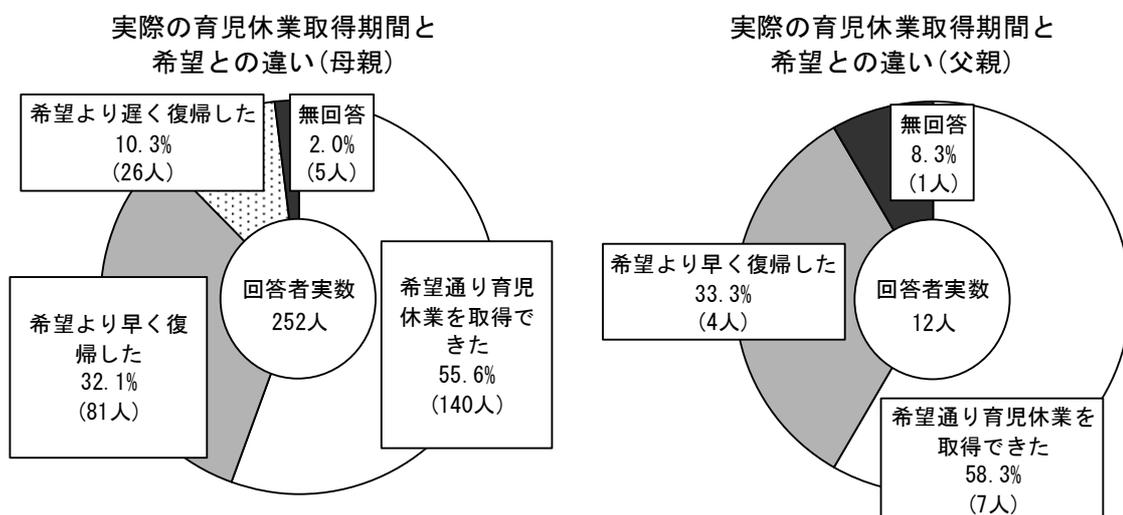
「現在も育児休業中である」と答えた母親について、子どもが1歳になったときに必ず利用できる(預けられる)事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか、または、利用できる事業があっても1歳になる前に職場に復帰するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.8%とほとんどを占め、「1歳になる前に復帰したい」が7.9%となります。

1歳になるまでの育児休業の取得希望(母親)



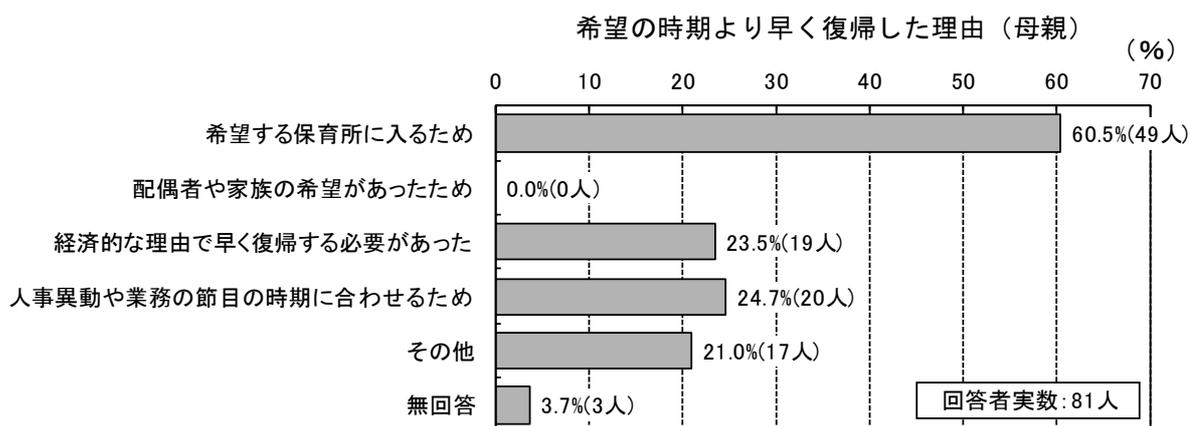
(5) 実際の育児休業取得期間と希望との違い

「育児休業後、職場に復帰した」と答えた母親と父親の、育児休業の実際の取得期間と希望する取得期間の違いについて、母親の場合は、「希望通り育児休業を取得できた」が55.6%、「希望より早く復帰した」が32.1%、「希望より遅く復帰した」が10.3%となります。父親の場合は、「希望通り育児休業を取得できた」が58.3%となります。

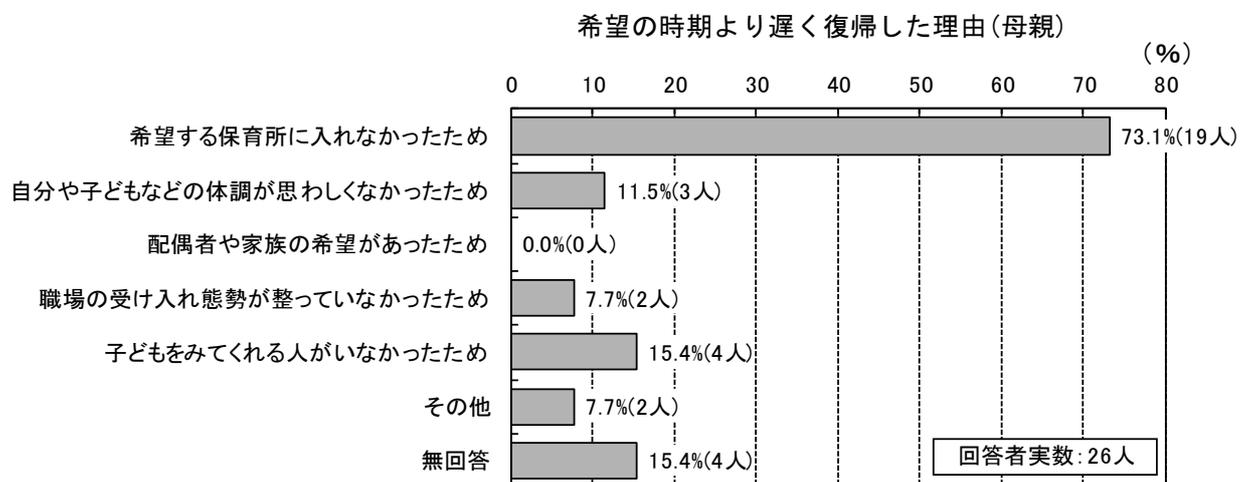


(6) 希望の時期に職場復帰しなかった理由(母親：複数回答)

「希望より早く復帰した」と答えた母親の、早く復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」が60.5%と最も高く、次に「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が24.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が23.5%となります。



また、「希望の時期より遅く復帰した」と答えた母親の、遅く復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が73.1%と、早く復帰した理由と同じく、保育所入所にかかわる理由が最も高くなります。次に「子どもをみてくれる人がいなかったため」が15.4%となります。



(7) 職場復帰した実際の時期と希望の時期の子どもの年齢（母親）

母親が育児休業から実際に職場復帰した時の子どもの年齢については、「1歳」が23.0%と最も高く、次に「1歳6ヶ月」が7.5%となります。

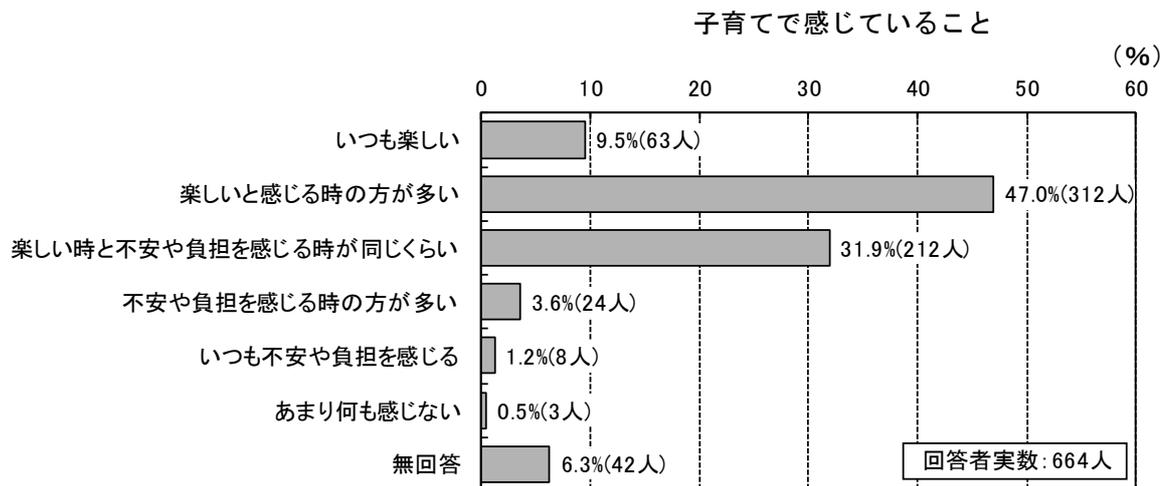
一方、希望していた職場復帰時の子どもの年齢については、「1歳」が44.8%と最も高く、実際に「1歳」で職場復帰をした割合（23.0%）と比べて21.8ポイント高くなります。

実際に職場復帰した時の子どもの年齢			希望する職場復帰時の子どもの年齢		
1ヶ月	0.8% (2人)	2.8% (7人)	3ヶ月	0.4% (1人)	0.4% (1人)
2ヶ月	1.2% (3人)		6ヶ月	4.0% (10人)	58.4% (147人)
3ヶ月	0.8% (2人)		7ヶ月	1.6% (4人)	
4ヶ月	1.6% (4人)	8ヶ月	1.6% (4人)		
5ヶ月	1.6% (4人)	9ヶ月	0.8% (2人)		
6ヶ月	7.1% (18人)	10ヶ月	2.8% (7人)		
7ヶ月	4.0% (10人)	11ヶ月	2.8% (7人)		
8ヶ月	6.3% (16人)	1歳	44.8% (113人)		
9ヶ月	5.2% (13人)	1歳1ヶ月	2.0% (5人)	25.9% (65人)	
10ヶ月	5.2% (13人)	1歳2ヶ月	2.4% (6人)		
11ヶ月	6.7% (17人)	1歳3ヶ月	1.2% (3人)		
1歳	23.0% (58人)	1歳4ヶ月	0.4% (1人)		
1歳1ヶ月	5.6% (14人)	1歳5ヶ月	1.2% (3人)		
1歳2ヶ月	4.4% (11人)	1歳6ヶ月	12.7% (32人)		
1歳3ヶ月	3.6% (9人)	1歳8ヶ月	0.4% (1人)		
1歳4ヶ月	0.8% (2人)	1歳10ヶ月	0.4% (1人)		
1歳5ヶ月	3.2% (8人)	2歳	4.0% (10人)		
1歳6ヶ月	7.5% (19人)	2歳2ヶ月	0.4% (1人)		
1歳8ヶ月	1.2% (3人)	2歳3ヶ月	0.4% (1人)		
1歳9ヶ月	0.4% (1人)	2歳9ヶ月	0.4% (1人)		
1歳10ヶ月	0.8% (2人)	3歳	2.0% (5人)	2.4% (6人)	
2歳1ヶ月	0.4% (1人)	7歳	0.4% (1人)		
2歳2ヶ月	0.4% (1人)	無回答	13.1% (33人)	13.1% (33人)	
2歳3ヶ月	0.4% (1人)	回答者実数	252人		
2歳7ヶ月	0.4% (1人)	2.4% (6人)			
2歳9ヶ月	0.8% (2人)				
2歳11ヶ月	0.8% (2人)				
4歳4ヶ月	0.4% (1人)	0.4% (1人)			
6歳	0.4% (1人)	0.4% (1人)			
無回答	5.2% (13人)	5.2% (13人)			
回答者実数	252人				

12. そのほかの子育てに関すること

(1) 子育てで感じていること

子育てで感じていることは、「楽しいと感じる時の方が多い」が47.0%と最も高く、次に「楽しい時と不安や負担を感じる時が同じくらい」が31.9%、「いつも楽しい」が9.5%となります。また、割合は低くなりますが、「不安や負担を感じる時の方が多い」が3.6%、「いつも不安や負担を感じる」が1.2%、「あまり何も感じない」が0.5%となります。

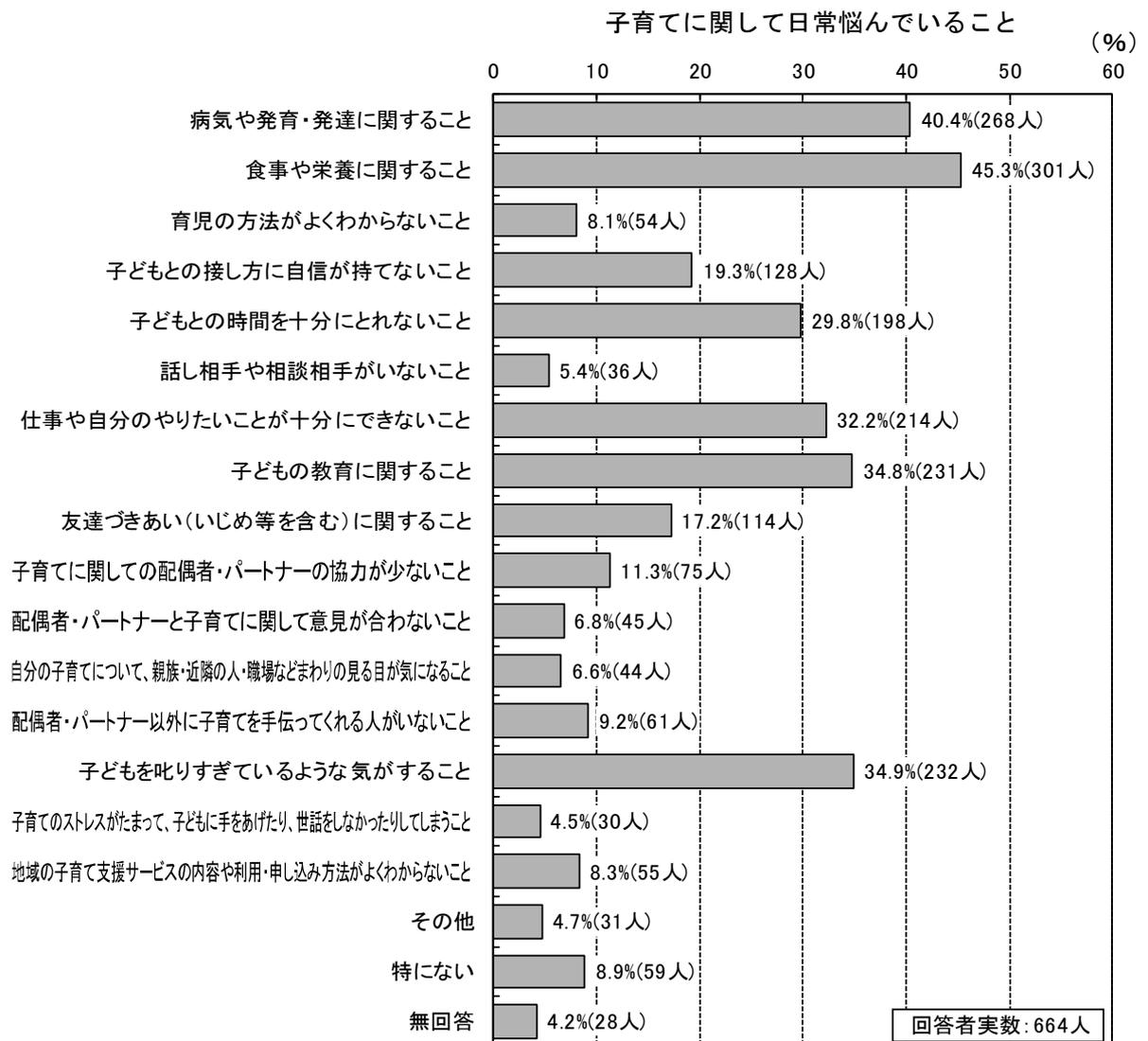


(2) 子育てに関して日常悩んでいること（複数回答）

子育てに関して、日常悩んでいることや気になることについては、「食事や栄養に関すること」が45.3%と最も高く、次に「病気や発育・発達に関すること」が40.4%となります。

続いて、「子どもを叱りすぎているような気がする」と34.9%、「子どもの教育に関すること」が34.8%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が32.2%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が29.8%となります。

また、「子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと」に悩んでいる保護者が4.5%おり、子どもに手をあげるなどの行為が行き過ぎることがないよう、相談支援や周りからのサポートを必要とする可能性がうかがえます。



子どもの年齢別に、割合の高かった上位6つの悩みや気になることをみると、「食事や栄養に関すること」は、「0歳」が57.6%と最も高く、年齢が高いほど割合は低くなる傾向にあり、「6歳」が28.4%と最も低くなります。

「病気や発育・発達に関すること」も、「0歳」が55.9%と最も高く、「1歳」と「2歳」、「6歳」が40%台、「3歳」から「5歳」が30%台となります。

「子どもを叱りすぎているような気がする」とは、「0歳」が18.6%と最も低く、年齢が高いほど割合も高くなる傾向にあり、「4歳」と「5歳」が40.0%と最も高くなります。

「子どもの教育に関すること」も、「0歳」が27.1%と最も低く、「1歳」から「5歳」がいずれも30%台で、「6歳」が48.6%と最も高くなります。

「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」は、「1歳」が38.1%と最も高く、「5歳」が21.1%と最も低くなります。

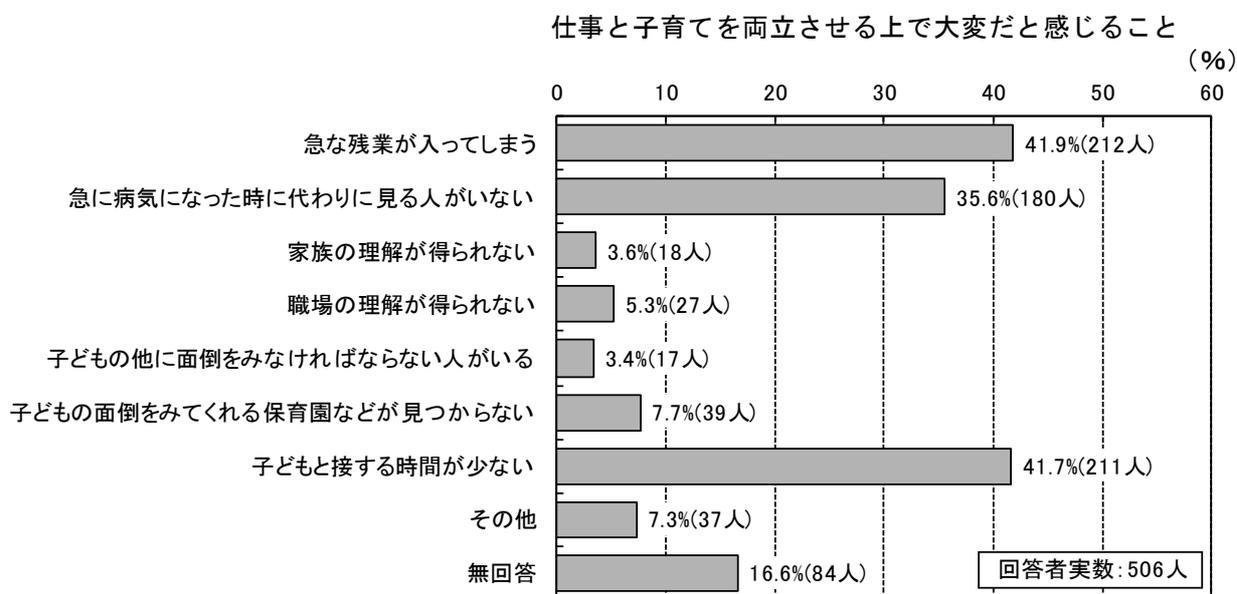
「子どもとの時間を十分にとれないこと」は、「6歳」が35.1%と最も高く、「1歳」が15.3%と最も低くなります。

子育てに関して日常悩んでいること（子どもの年齢別）

	回答者実数	病気や発育・発達に関すること	食事や栄養に関すること	子どもとの時間を十分にとれないこと	仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	子どもの教育に関すること	子どもを叱りすぎているような気がする
0歳	59人	55.9% (33人)	57.6% (34人)	15.3% (9人)	35.6% (21人)	27.1% (16人)	18.6% (11人)
1歳	126人	41.3% (52人)	53.2% (67人)	25.4% (32人)	38.1% (48人)	31.7% (40人)	27.8% (35人)
2歳	99人	41.4% (41人)	48.5% (48人)	33.3% (33人)	35.4% (35人)	36.4% (36人)	38.4% (38人)
3歳	110人	38.2% (42人)	48.2% (53人)	29.1% (32人)	30.0% (33人)	33.6% (37人)	35.5% (39人)
4歳	100人	35.0% (35人)	41.0% (41人)	35.0% (35人)	29.0% (29人)	36.0% (36人)	40.0% (40人)
5歳	90人	36.7% (33人)	38.9% (35人)	31.1% (28人)	21.1% (19人)	33.3% (30人)	40.0% (36人)
6歳	74人	41.9% (31人)	28.4% (21人)	35.1% (26人)	35.1% (26人)	48.6% (36人)	39.2% (29人)

(3) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること (3つまで回答)

共働き、または働いているひとり親の家庭において、仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについては、「急な残業が入ってしまう」が41.9%、「子どもと接する時間が少ない」が41.7%と高く、次に「急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない」が35.6%となります。



選択肢の略称	選択肢の内容
急に病気になった時に代わりに見る人がいない	自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない

子どもの年齢別にみると、「急な残業が入ってしまう」は、「0歳」と「2歳」が51.2%と最も高く、そのほかの年齢ではそれぞれ40%前後の割合となります。

「子どもと接する時間が少ない」は、「1歳」から「5歳」がいずれも40%台と高く、「0歳」と「6歳」が30%台と低くなります。

また、「急に病気になった時に代わりに見る人がいない」は、「0歳」が44.2%と最も高く、次に「1歳」が39.1%となります。

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（子どもの年齢別）

	回答者実数	急な残業が入ってしまう	急に病気になった時に代わりに見る人がいない	家族の理解が得られない	職場の理解が得られない	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない	子どもと接する時間が少ない	その他	無回答
0歳	43人	51.2% (22人)	44.2% (19人)	2.3% (1人)	4.7% (2人)	—	23.3% (10人)	34.9% (15人)	2.3% (1人)	20.9% (9人)
1歳	87人	37.9% (33人)	39.1% (34人)	2.3% (2人)	9.2% (8人)	4.6% (4人)	8.0% (7人)	42.5% (37人)	9.2% (8人)	14.9% (13人)
2歳	82人	51.2% (42人)	29.3% (24人)	2.4% (2人)	7.3% (6人)	1.2% (1人)	6.1% (5人)	43.9% (36人)	6.1% (5人)	14.6% (12人)
3歳	89人	41.6% (37人)	32.6% (29人)	5.6% (5人)	3.4% (3人)	6.7% (6人)	9.0% (8人)	43.8% (39人)	5.6% (5人)	18.0% (16人)
4歳	78人	38.5% (30人)	37.2% (29人)	3.8% (3人)	5.1% (4人)	5.1% (4人)	5.1% (4人)	42.3% (33人)	10.3% (8人)	14.1% (11人)
5歳	65人	36.9% (24人)	35.4% (23人)	6.2% (4人)	—	—	6.2% (4人)	44.6% (29人)	4.6% (3人)	13.8% (9人)
6歳	58人	37.9% (22人)	34.5% (20人)	1.7% (1人)	6.9% (4人)	3.4% (2人)	1.7% (1人)	32.8% (19人)	12.1% (7人)	24.1% (14人)

家庭類型別にみると、「急な残業が入ってしまう」は、「フルタイム+フルタイム」が48.7%と最も高く、「ひとり親」が44.2%、「フルタイム+パート等」が25.9%となります。

「子どもと接する時間が少ない」は、「フルタイム+フルタイム」が45.2%と最も高く、「フルタイム+パート等」が36.7%、「ひとり親」が34.6%となります。

一方、「急に病気になった時に代わりに見る人がいない」は、「パート等+パート等」が100.0%、次に「ひとり親」が40.4%、「フルタイム+パート等」が39.6%、「フルタイム+フルタイム」が32.8%となります。

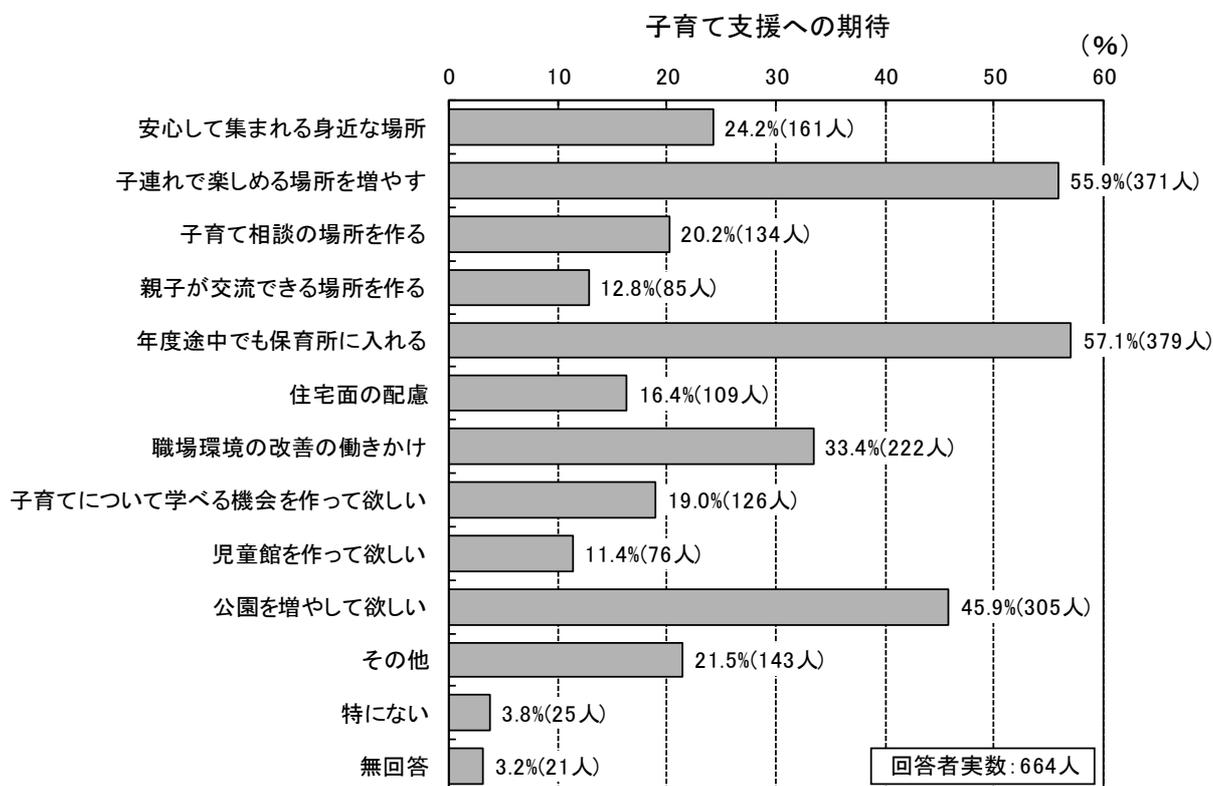
仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること（家庭類型別）

	回答者実数	急な残業が入ってしまう	急に病気になった時に代わりに見る人がいない	家族の理解が得られない	職場の理解が得られない	子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる	子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない	子どもと接する時間が少ない	その他	無回答
ひとり親	52人	44.2% (23人)	40.4% (21人)	1.9% (1人)	9.6% (5人)	7.7% (4人)	5.8% (3人)	34.6% (18人)	7.7% (4人)	17.3% (9人)
フルタイム+フルタイム	314人	48.7% (153人)	32.8% (103人)	4.5% (14人)	5.4% (17人)	2.9% (9人)	6.4% (20人)	45.2% (142人)	7.6% (24人)	16.2% (51人)
フルタイム+パート等	139人	25.9% (36人)	39.6% (55人)	2.2% (3人)	3.6% (5人)	2.9% (4人)	11.5% (16人)	36.7% (51人)	6.5% (9人)	17.3% (24人)
パート等+パート等	1人	-	100.0% (1人)	-	-	-	-	-	-	-

(4) 子育て支援への期待（複数回答）

行政に対して保護者が期待する子育て支援については、「年度途中でも保育所に入れる」が57.1%と最も高く、次に「子連れで楽しめる場所を増やす」が55.9%となります。

また、「公園を増やしてほしい」が45.9%、「職場環境の改善の働きかけ」が33.4%、「安心して集まれる身近な場所」が24.2%となります。



選択肢の略称	選択肢の内容
安心して集まれる身近な場所	親子が安心して集まれる身近な場が欲しい
子連れで楽しめる場所を増やす	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
子育て相談の場所を作る	子育てに困った時に相談したり情報が得られる場を作って欲しい
親子が交流できる場所を作る	子育てサークルなど親子が交流できる場を作って欲しい
年度途中でも保育所に入れる	育児休業明けに年度途中でも保育所に入れるようにして欲しい
住宅面の配慮	公営住宅への多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
職場環境の改善の働きかけ	残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい

Ⅲ 就学前児童の保護者の自由記述

(子育て環境や支援に関する意見・要望等)

就学前児童の保護者からは延べ462件の意見・要望が寄せられました。

「保育施設について」の意見が166件と最も多く、次に「子育て支援等について」が78件、「経済的支援について」が50件となります。

項目	件数
【1. 保育施設について】	166件
①待機児童解消のために保育施設の増や保育士の処遇向上を行ってほしい	34
②短時間勤務や求職中であっても（または働いていなくても）保育園に入れるようにしてほしい	21
③待機児童が多い、対応してほしい	19
④職場復帰の時期や子どもの年齢（きょうだいを含む）等により、希望する時期に保育所に入所できるようにしてほしい	16
⑤保育士の質の向上や保育士の働き方・処遇を見直すなど保育士不足を解消してほしい	13
⑥土曜日保育を利用しやすいようにしてほしい	12
⑦認可保育所の内定通知を早目に出してほしい	8
⑧保育園の入所判定を具体的に示してほしい	3
⑨希望する認可園に入れるようにしてほしい	3
⑩育休中の短時間保育は負担が大きいのでやめてほしい	3
⑪育休中を理由に上の子が退園しなければならないルールをどうにかしてほしい	2
⑫上原地区に認可保育園をつくってほしい	2
⑬子育て中の保育士が働きやすい環境にしてほしい	2
⑭兄弟で同じ保育園に通えるようにしてほしい	1
⑮土曜日保育をする人は勤務証明書を出してもらった方がよい	1
⑯産前産後休暇の時期の保育園入園の査定は、同じ点数で行ってほしい	1
⑰その他（入所手続きや保育所の運営、対応等に関する意見等のほか、保育に対する感謝の声がある）	15
(認可外保育園について)	
⑱認可外保育園の保育内容や活動の充実を図ってほしい	4
⑲認可外保育園への支援を行ってほしい	3
⑳認可外保育園も認可保育園と同じ保育料にしてほしい	1
㉑認可外保育園の状況を定期的に確認したほうがよい	1
㉒認可外保育園を増やしてほしい	1

項 目	件 数
<p>【2. 子育て支援等について】</p> <p>①一時預かり（一時保育）を充実してほしい。長期休暇に預けられる環境をつくってほしい。</p> <p>②子どもの発育・発達について相談やアプローチ、情報の提供などを進めてほしい</p> <p>③子育て支援センターを利用できるようにしてほしい。また、遊び場の工夫や子どもに合わせた利用しやすい運営方法を考えてもらいたい</p> <p>④病児保育の施設を増やしてほしい。利用時間を早めてほしい。利用料金を見直してほしい。</p> <p>⑤社会や職場が子育てにもっと理解を深めてほしい</p> <p>⑥町の子育て支援の充実を図ってほしい</p> <p>⑦親に代わって送迎等子どもをみてもらえるサービスについて</p> <p>⑧就労との調整を図るために集団健診の年間スケジュールが早くほしい。健診時間・平日健診を見直してほしい。</p> <p>⑨子育て中の親の交流の場をつくってほしい</p> <p>⑩祖父母や父親を含む子育ての勉強が必要</p> <p>⑪安心して子どもが過ごせる場所を確保してほしい</p> <p>⑫一時保育を利用できるようにしてほしい</p> <p>⑬予防接種を公費負担にしてほしい</p> <p>⑭祝日に預けられるようにしてほしい</p> <p>⑮親子で参加できるイベント等の開催をさらに進めてほしい</p> <p>⑯子ども医療費を拡充してほしい</p> <p>⑰その他（多胎児の支援、親子クッキング教室の開催、ブックスタート事業の確保・食の安全に関する要望があるほか、個人の子育て支援への意欲や子育てのしやすさを喜ぶ声がある。）</p>	<p>78件</p> <p>9</p> <p>8</p> <p>7</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>6</p>
<p>【3. 経済的支援について】</p> <p>①子どもの医療費を助成してほしい・無料化してほしい（できたら中学生まで）</p> <p>②保育料が高い、見直してほしい、0歳から無償化してほしいなど</p> <p>③給食費などの教育関係費を助成または無料にほしい</p> <p>④子どものインフルエンザ等の予防接種の補助を行ってほしい、増やしてほしい</p> <p>⑤多子世帯への経済的支援がほしい</p> <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童手当は親の収入に関係なく平等にほしい ・習い事を無料にほしい ・医療費還付の手続きは月1回でも日曜日にできないか ・母子家庭への住宅支援がほしい ・ひとり親家庭への医療等の支援 	<p>50件</p> <p>15</p> <p>15</p> <p>7</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>

項 目	件 数
【4. 公園・遊び場等】 ①公園や遊び場が少ない、増やしてほしい（遊具がたくさんある公園など） ②公園の管理や整備をちゃんとやってほしい ③雨の日や日差しが強い日に遊べる場所がほしい ④老朽化した公園を整備してほしい ⑤プールがあるとよい ⑥児童館が分かりにくい、駐車場がなく、小さい子を連れて行くには不便	33 件 17 6 4 3 2 1
【5. 学童保育等について】 ①学童が少ない、増やしてほしい（立地の偏りがないう） ②小学校内での学童保育があると助かる ③夏休みの学童があれば助かる ④学童保育の施設面、保育内容の充実を図ってほしい ⑤放課後子ども教室の実施や充実（長期休みの居場所として）を図ってほしい ⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 産休中でも学童を利用できるようにしてほしい ・ 学校と学童の情報共有を積極的に行ってほしい ・ 学童の利用料を考えてほしい ・ 学童に入れる基準を学童に周知すべきである（対象外の世帯の子がいる） ・ 指導者への金銭面の支援がほしい ・ 学童はここしか入れないと言われた 	26 件 11 3 2 2 2 6
【6. 幼稚園について】 ①預かり保育について（春休み期間中預かってほしい、結果が届くのが遅い、スムーズに入れるようにしてほしい） ②幼稚園の3年保育を実施してほしい ③入園式までの間子どもを預ける場所がない、負担が大きい ④その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一時預かりがあれば助かる ・ 幼稚園の選考について不透明な点が多い ・ 土曜日開所してもらえると有り難い ・ 入園通知の結果をもう少し早く（2月頃までに）してほしい ・ 幼稚園の開園時間を延ばしてほしい ・ 坂田幼稚園にクーラーを取り付けてほしい ・ クラスに副担任（補助の先生）を置いたらどうか 等 	21 件 7 3 2 9

項 目	件 数
【7. 学校・教育について】 ①西原小学校、西原中学校は校区が広く遠すぎる（スクールバスを考えてみては） ②教育の質・学力の向上を図ってほしい ③その他 ・西原東中学校の指定靴はなぜ4足もあるのか、やめてほしい ・スポーツ遠征への助成、プロサッカーチームとの交流を図りたい ・学校に洋式トイレを増やしてほしい ・小学校区の制限をなくしてほしい ・3学期制に戻してほしい ・塾が少ない、習い事をさせたい ・いじめ問題に速やかに対応してほしい ・小学校の1クラスの人数を減らしてほしい（子ども一人ひとりへの対応の充実） ・学校の設備を改修してほしい 等	22件 4 3 2 13
【8. 地域のこと・交流について】 ①親子で交流できる場をつくってほしい ②地域の子ども会活動を活発にしたい ③西原町は子育てしやすい町だと感じた。これからも力を入れてほしい ④上原地区はスーパーも遠いし不便、街灯も増やしてほしい ⑤子どもたちを地域で見守りできる町であってほしい	9件 5 1 1 1 1
【9. 情報提供について】 ①保育所入所や子育て支援に関する情報を積極的に提供してほしい ②幼児教育無償化について、私立園の情報が入りづらい、案内をお願いします ③広報誌やHP等で情報を見て助けられている	8件 6 1 1
【10. 安心・安全について】 ①不審者が多い、安全パトロールの強化が必要 ②西原町は街灯が少ない、増やしてほしい ③交通量が多いなど、交通事故がおこりそうで不安。安全対策を強化してほしい ④22時以降、未成年の外出は厳しく取り締まってほしい	40件 20 11 8 1
【11. その他】 ①わくわくワークのような体験型の取り組みを続けてほしい ②行政職員に丁寧・親身な対応等をお願いしたい ③アンケートについて（質問がややこしい、結果を公表してほしい） ④子どもが小さいうちは、短時間勤務できる職場が増えてほしい	9件 7 1 1 1

●小学生児童調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「西原町子ども・子育て支援事業計画（第2期）」の策定に伴い、本町の小学生児童の放課後児童クラブのニーズや地域活動等のニーズを把握するなど、計画の策定に必要な基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2. 実施主体

西原町福祉部こども課

3. 調査対象

- ・調査は、小学生児童のいる世帯の保護者に対し行いました。
- ・就学前児童と小学生児童が同居する世帯については、2種類の調査票が届くことになります。

4. 調査基準日

平成30年12月末日現在

5. 調査期間

平成31年3月1日～平成31年3月20日

6. 調査の方法

ニーズ把握の対象となる児童が在籍する小学校を通じて、調査票の配布・回収を行いました。

7. 配布・回収状況

調査票の配布件数が1,200件、回収件数が819件で、回収率は68.3%となります。

配布・回収状況

配布件数	回収件数	回収率
1,200件	819件	68.3%

8. 集計・表示について

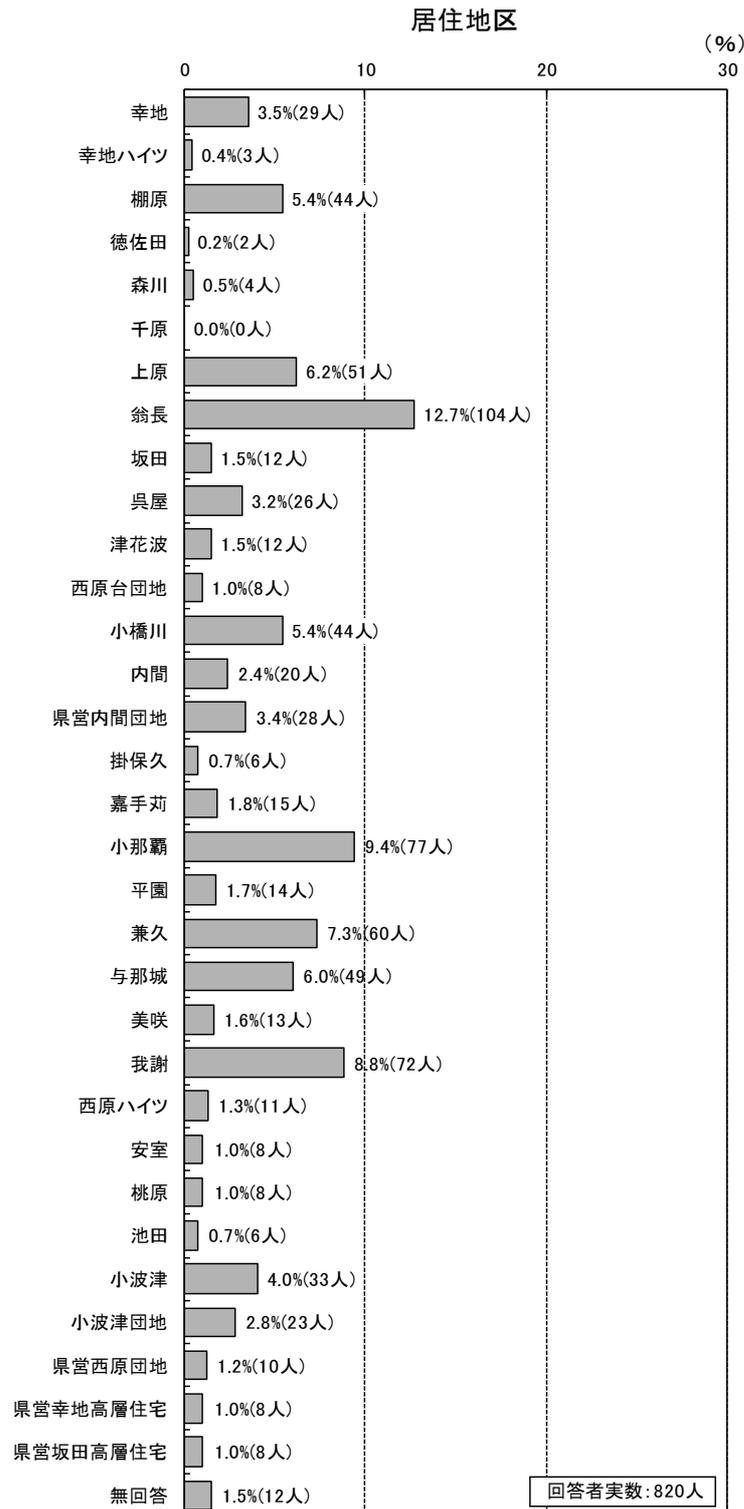
- (1) 集計は単純集計と子どもの年齢及び回答者の属性によるクロス集計を行いました。
- (2) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため比率を合計しても100.0%とならないことがあります。
- (3) 複数回答の設問については、比率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 結果が分かりやすいようグラフ及びクロス表については、クロス項目の「無回答」を除いて表示する場合があります
- (5) ここで言う「子ども」とはニーズ把握の対象となる子を指します。
- (6) 「無回答」には回答がなかったもの及び回答の判別が困難(不明)なものを含みます。
- (7) 帯グラフの左端の()内は回答者実数を表します。
- (8) 報告書の文章や図表において、選択肢の一部を省略して記載している場合があります。

II 調査結果の報告

1. 地域と小学校

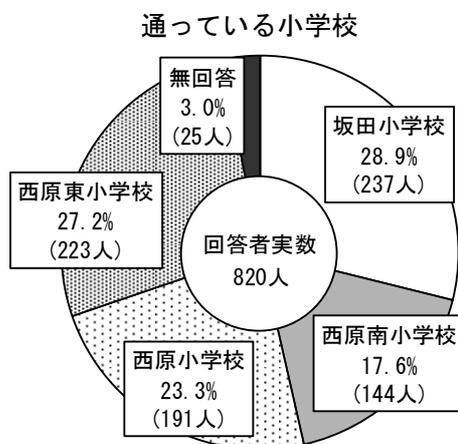
(1) 居住地区

回答者の居住地区は、「翁長」が12.7%と最も高く、次に「小那覇」が9.4%、「我謝」が8.8%となります。



(2) 通っている小学校

子どもが通っている小学校は、「坂田小学校」が28.9%と最も高く、次に「西原東小学校」が27.2%、「西原小学校」が23.3%、「西原南小学校」が17.6%となります。



2. 家族の状況

(1) 子どもの学年

回答のあった子どもの学年は、「5年生」が19.0%と最も高く、次に「4年生」が18.8%、となります。また、「6年生」が12.9%と最も低くなります。

子どもの学年

1年生	17.4% (143人)
2年生	17.4% (143人)
3年生	13.9% (114人)
4年生	18.8% (154人)
5年生	19.0% (156人)
6年生	12.9% (106人)
無回答	0.5% (4人)
回答者実数	820人

(2) 世帯の子どもの人数

世帯の子どもの人数(調査対象の子を含む)は、「3人」が38.8%と最も高く、次に「2人」が27.0%となります。

また、子どもの人数は「7人」が最多で、1世帯あたりの子どもの人数(平均)は、2.88人となります。

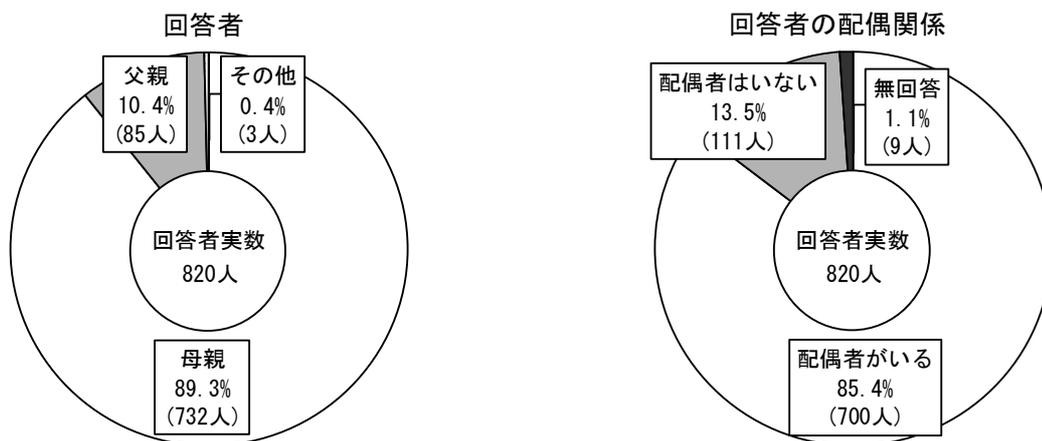
世帯の子どもの人数

1人	9.5% (78人)
2人	27.0% (221人)
3人	38.8% (318人)
4人	19.5% (160人)
5人	2.6% (21人)
6人	1.6% (13人)
7人	0.7% (6人)
無回答	0.4% (3人)
回答者実数	820人

(3) 回答者・配偶関係

回答者は「母親」が89.3%、「父親」が10.4%となります。

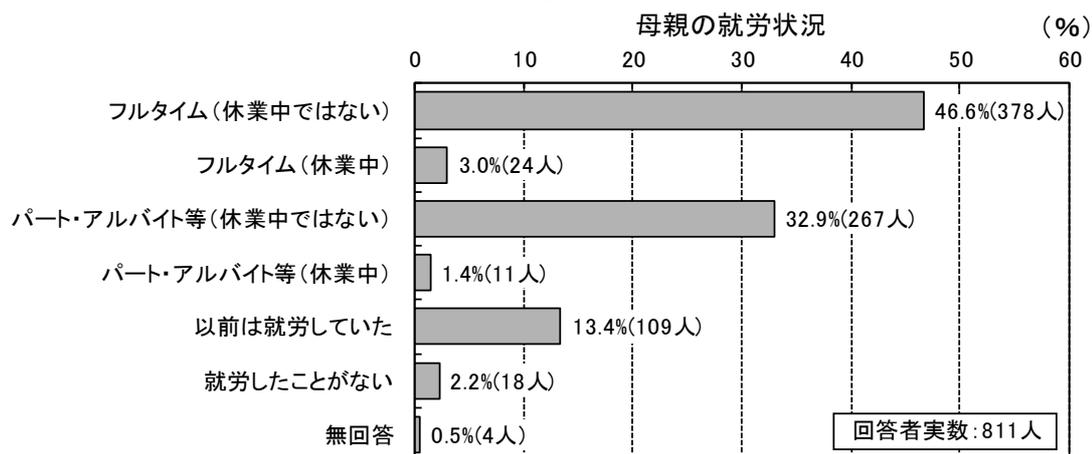
また、回答者の配偶関係は「配偶者がいる」が85.4%、「配偶者はいない」が13.5%となります。



3. 保護者の就労状況

(1) 母親の就労状況

母親の現在の就労状況については、「フルタイム（休業中ではない）」が46.6%と最も高く、「フルタイム（休業中）」の3.0%を合わせると、フルタイムで就労している母親が49.6%を占めます。また、「パート・アルバイト等（休業中ではない）」が32.9%、「パート・アルバイト等（休業中）」が1.4%で、合わせるとパート・アルバイト等で就労している母親が34.3%を占めます。さらに、「フルタイム」と「パート・アルバイト等」を合わせると、母親の83.9%が就労しています。

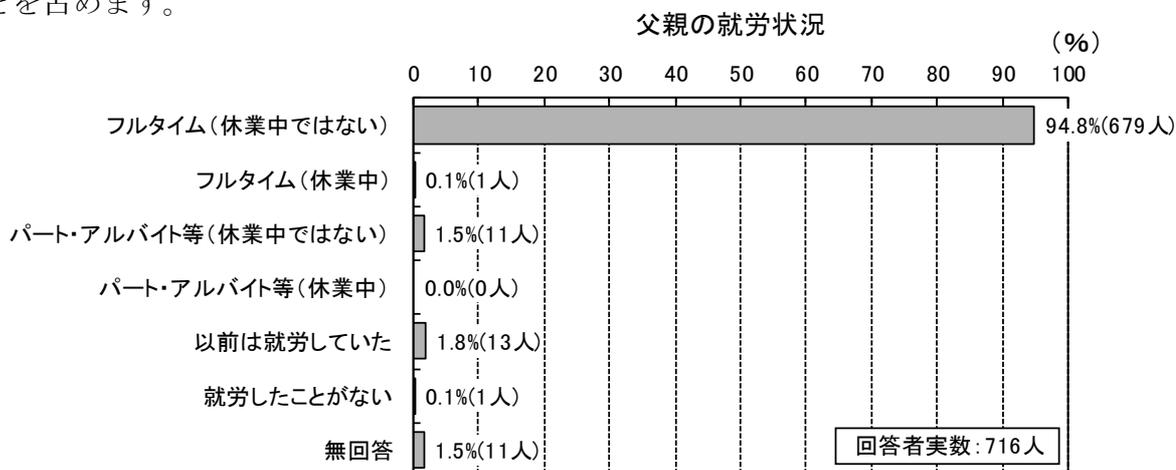


選択肢の略称	選択肢の内容
フルタイム（休業中ではない）	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
フルタイム（休業中）	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
パート・アルバイト等（休業中ではない）	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
パート・アルバイト等（休業中）	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
以前は就労していた	以前は就労していたが、現在は就労していない
就労したことがない	これまで就労したことがない

* フルタイムとは、1週5日程度で1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労

(2) 父親の就労状況

父親の現在の就労状況については、「フルタイム（休業中ではない）」が94.8%とほとんどを占めます。

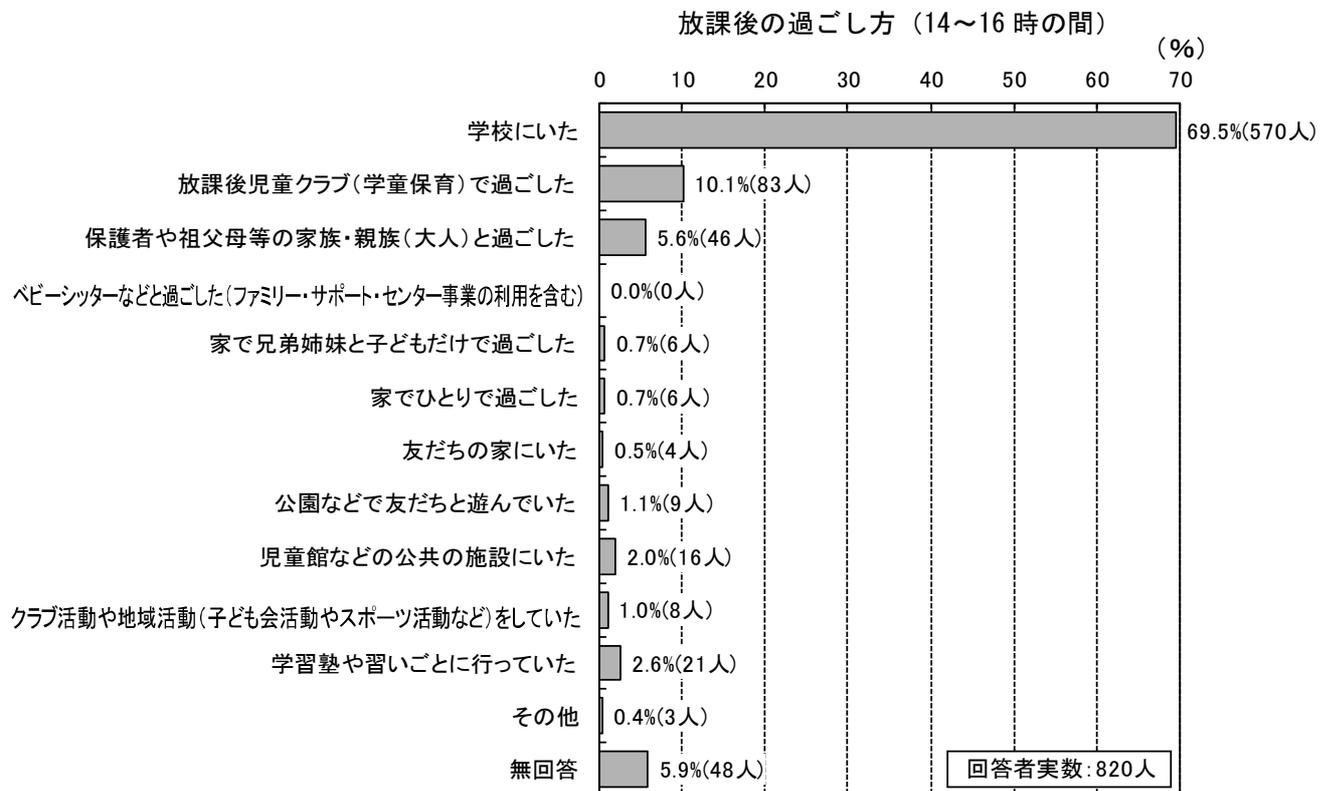


4. 放課後の過ごし方及び放課後児童クラブ

(1) 放課後の過ごし方

〈14～16時の間〉

小学生児童の平日の放課後の日常的な過ごし方について、14～16時の間は、「学校にいた」が69.5%と約7割を占め、次に「放課後児童クラブ(学童保育)で過ごした」が10.1%となります。



割合の高かった上位2項目について、子どもの学年別にみると、「学校にいた」は、「1年生」が35.7%と最も低く、学年が上がるほど割合も高くなる傾向にあり、「4年生」から「6年生」の高学年で、いずれも80%台の割合となります。

一方、「放課後児童クラブ(学童保育)で過ごした」は、「1年生」が29.4%と最も高く、学年が上がるほど割合は低くなり、「5年生」で1.3%、「6年生」で1.9%となります。

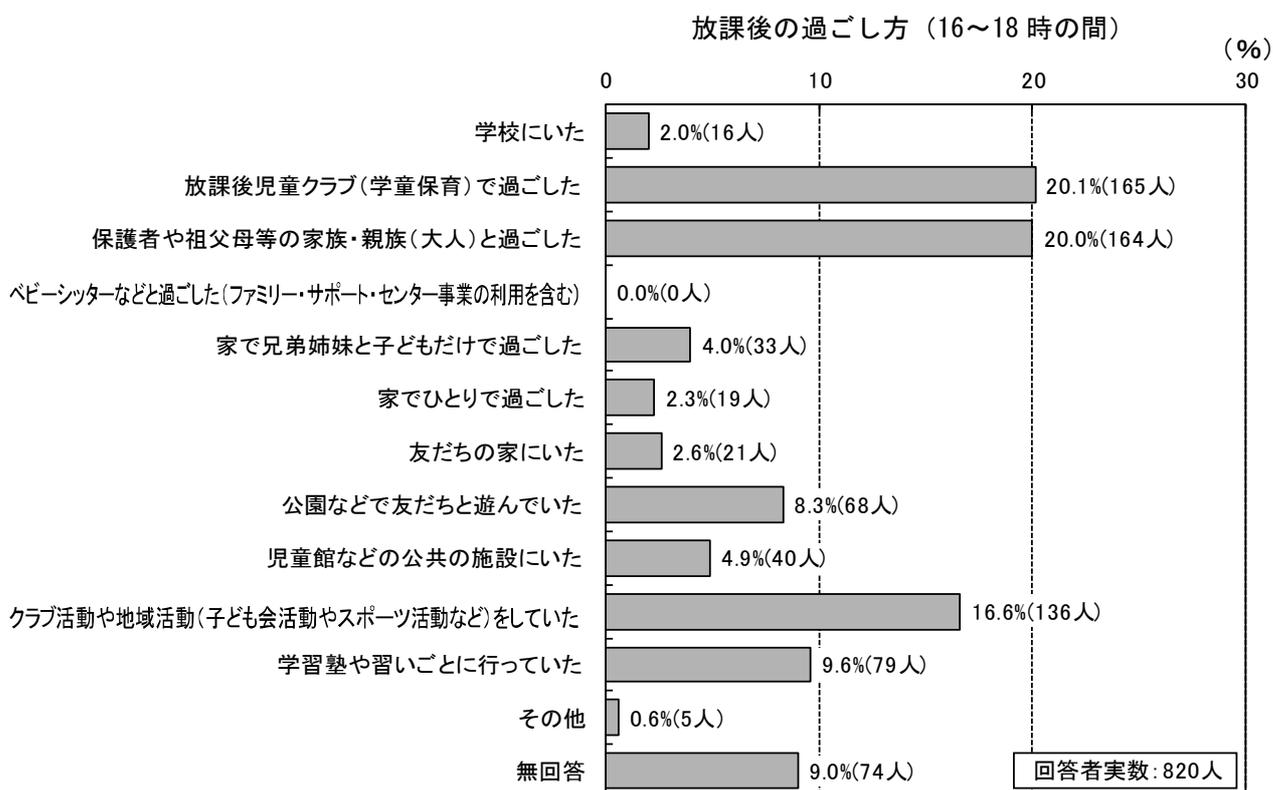
放課後 14～16時の過ごし方 (学年別上位2項目)

	回答者 実数	学校にいた	放課後児童クラブ(学 童保育)で過ごした
1年生	143人	35.7% (51人)	29.4% (42人)
2年生	143人	63.6% (91人)	18.2% (26人)
3年生	114人	64.9% (74人)	4.4% (5人)
4年生	154人	85.7% (132人)	3.9% (6人)
5年生	156人	85.3% (133人)	1.3% (2人)
6年生	106人	82.1% (87人)	1.9% (2人)

〈16～18時の間〉

放課後16～18時の間は、「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」と「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」がともに20%台と最も高くなります。次に「クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた」が16.6%、「学習塾や習いごとに行っていた」が9.6%となります。

「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」は、「14～16時の間」の10.1%から10ポイント高くなります。



割合の高い上位5項目について、子どもの学年別にみると、「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」は、「1年生」と「2年生」が約40%と高く、学年が上がるほど割合は低くなり、「6年生」では4.7%となります。

「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」も、学年が上がるにつれ割合は低くなる傾向にあり、「1年生」から「3年生」が20%台、「4年生」から「6年生」が10%台となります。

一方、「クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた」は、「1年生」が3.5%と最も低く、学年が上がるほど割合も高くなる傾向にあり、「6年生」が30.2%と最も高くなります。

「学習塾や習いごとに行っていた」は、「5年生」が19.2%と最も高く、次に「3年生」が11.4%で、そのほかの学年では4%～7%程度の割合となります。

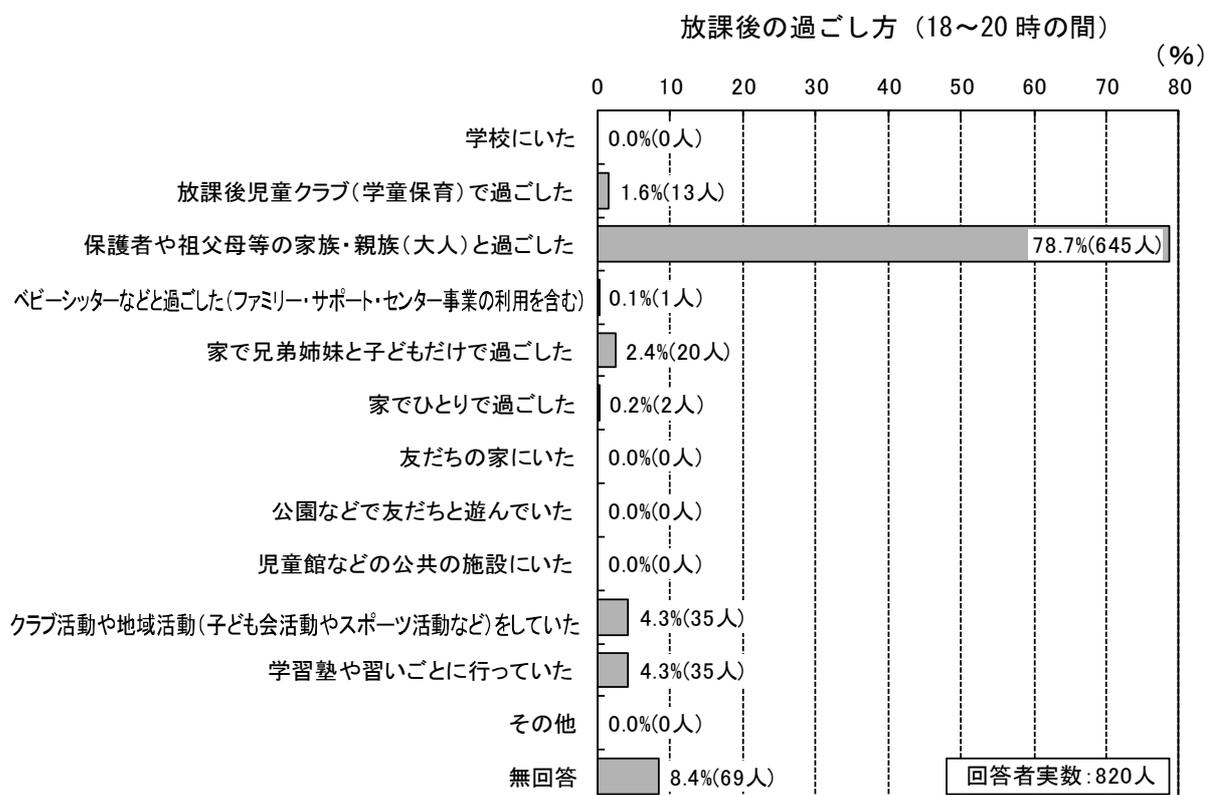
「公園などで友だちと遊んでいた」は、「6年生」が12.3%と最も高く、次に「4年生」が11.7%で、そのほかの学年では3%～9%程度の割合となります。

放課後 16～18 時の間の過ごし方（学年別上位 5 項目）

	回答者実数	放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした	保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした	公園などで友だちと遊んでいた	クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた	学習塾や習いごとに行っていた
1年生	143人	38.5%（55人）	24.5%（35人）	6.3%（9人）	3.5%（5人）	6.3%（9人）
2年生	143人	39.2%（56人）	25.2%（36人）	3.5%（5人）	7.7%（11人）	7.7%（11人）
3年生	114人	18.4%（21人）	23.7%（27人）	9.6%（11人）	10.5%（12人）	11.4%（13人）
4年生	154人	11.7%（18人）	16.9%（26人）	11.7%（18人）	25.3%（39人）	7.1%（11人）
5年生	156人	6.4%（10人）	15.4%（24人）	7.1%（11人）	23.1%（36人）	19.2%（30人）
6年生	106人	4.7%（5人）	15.1%（16人）	12.3%（13人）	30.2%（32人）	4.7%（5人）

〈18～20 時の間〉

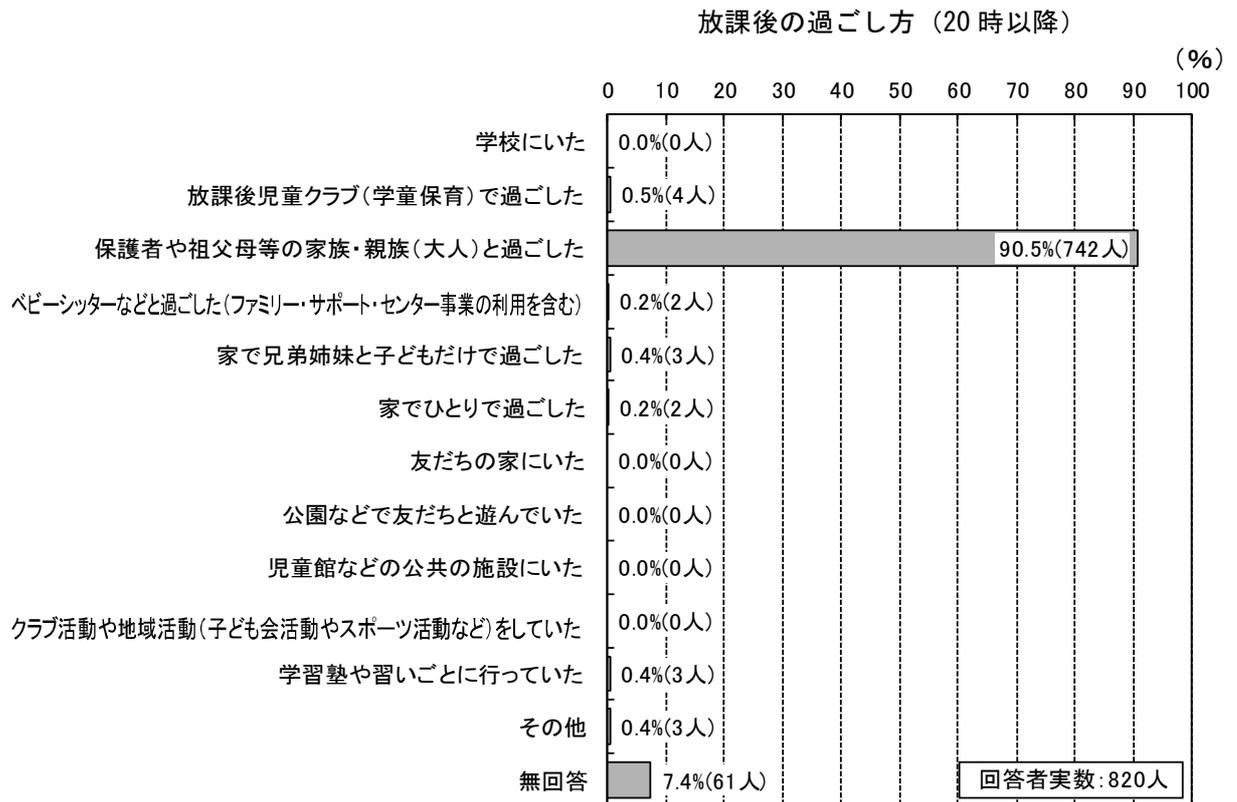
放課後18～20時の間は、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が78.7%と最も高く、「16～18時の間」の20.0%から58.7ポイント高くなります。次に「学習塾や習いごとに行っていた」と「クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動など）をしていた」がともに4.3%となります。



〈20時以降〉

放課後20時以降でも、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした」が90.5%とほとんどを占めます。

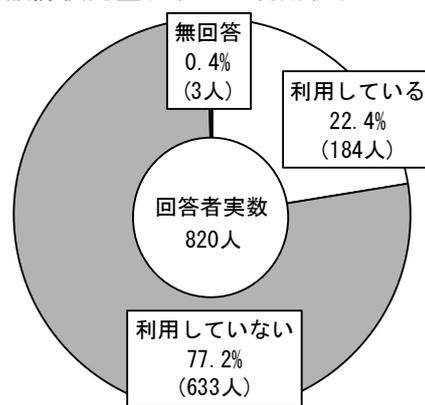
なお、非常に低率ではありますが、「放課後児童クラブ（学童保育）で過ごした」、「ベビーシッターなどと過ごした（ファミリー・サポート・センター事業の利用を含む）」、「家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした」、「家でひとりで過ごした」、「学習塾や習いごとに行っていた」といった過ごし方をしている子がいます。



(2) 放課後児童クラブの利用状況

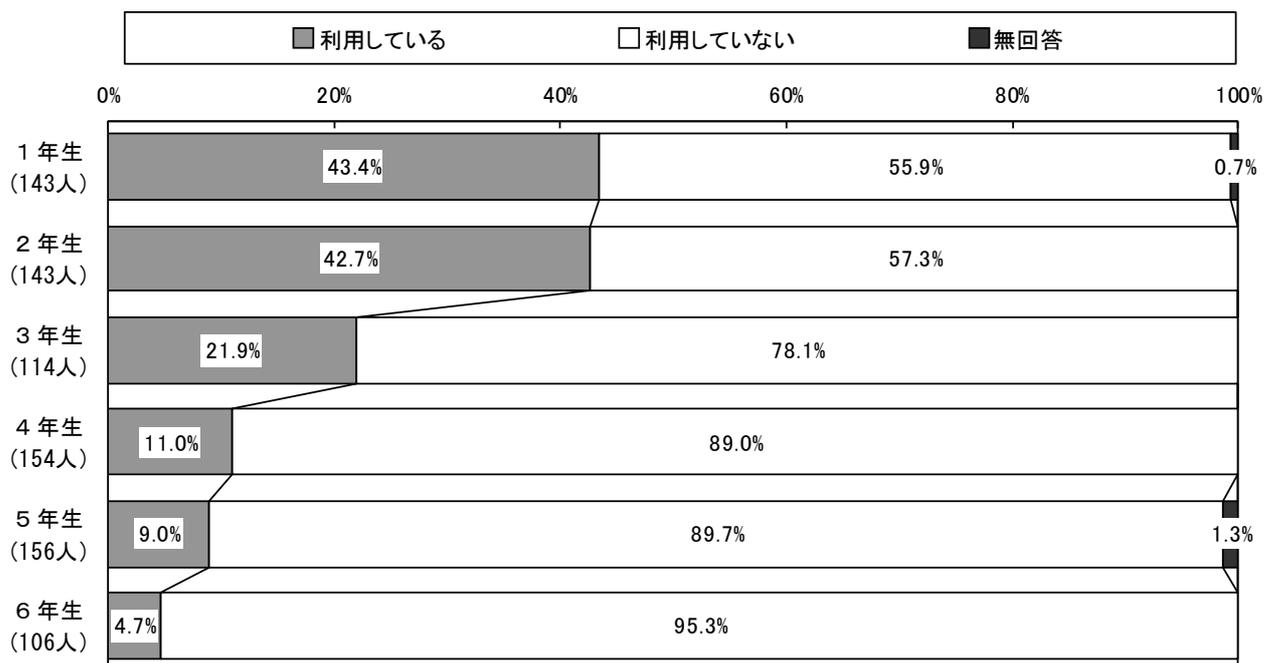
放課後児童クラブの利用については、「利用していない」が77.2%、「利用している」が22.4%となります。

放課後児童クラブの利用状況



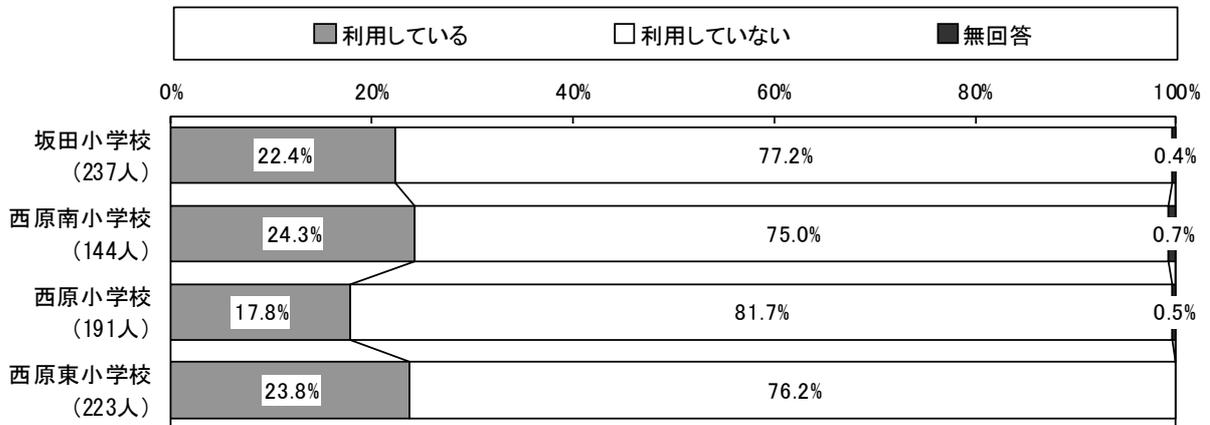
学年別にみると、「利用している」は、「1年生」が43.4%と最も高く、学年が上がるほど割合は低くなり、特に「3年生」から大きく低下し、さらに「4年生」で11.0%、「5年生」で9.0%、「6年生」で4.7%となります。

放課後児童クラブの利用状況（学年別）



小学校別にみると、「利用している」は、「西原南小学校」が24.3%、「西原東小学校」が23.8%、「坂田小学校」が22.4%といずれも20%台で、「西原小学校」が17.8%と最も低くなります。

放課後児童クラブの利用状況（小学校別）

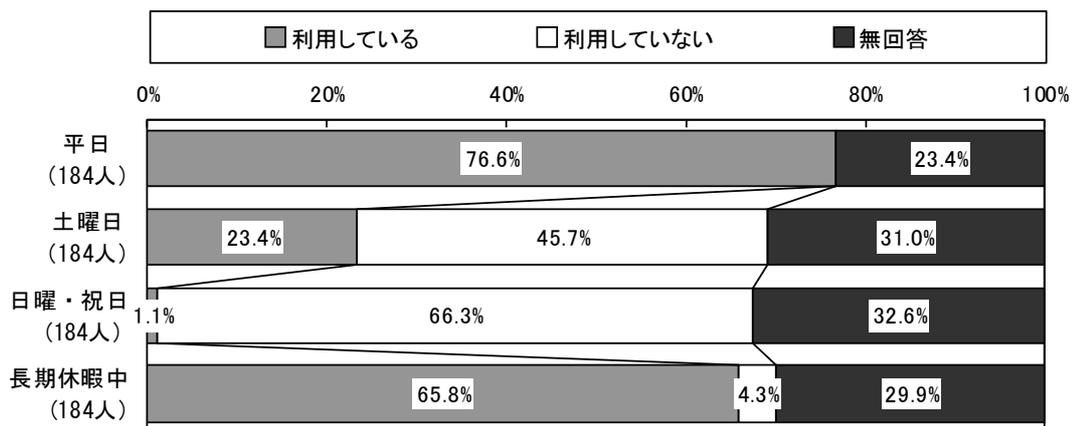


(3) 放課後児童クラブの平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇中の利用状況

放課後児童クラブ（学童保育）を「利用している」と答えた保護者の、平日、土曜日、日曜・祝日及び長期休暇中の利用についてみると、「利用している」は、「平日」が76.6%、「長期休暇中」が65.8%と高くなります。

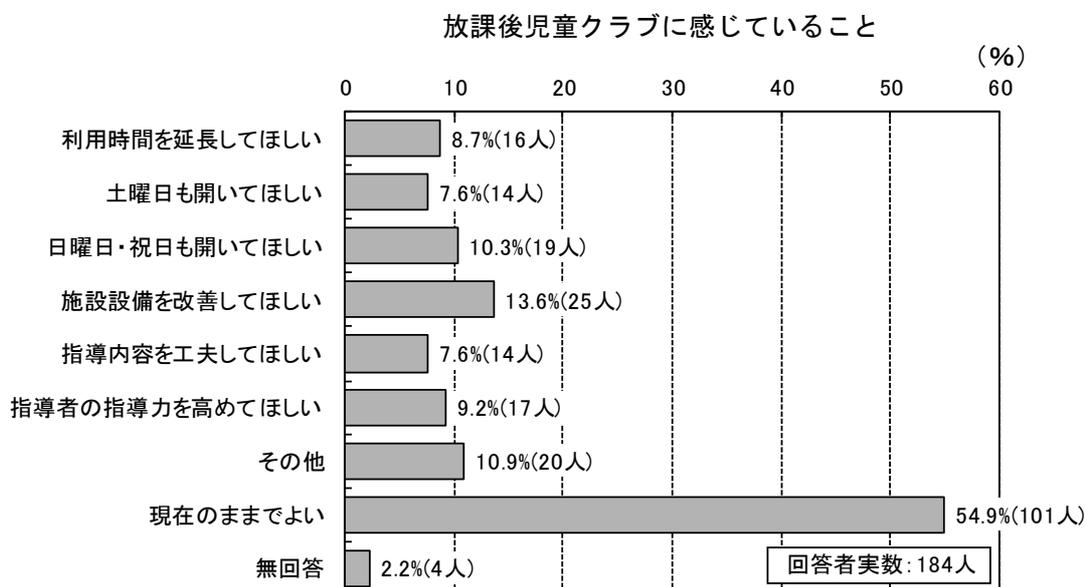
また、「土曜日」が23.4%で、「日曜・祝日」が1.1%と最も低くなります。

放課後児童クラブの利用状況（平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇別）



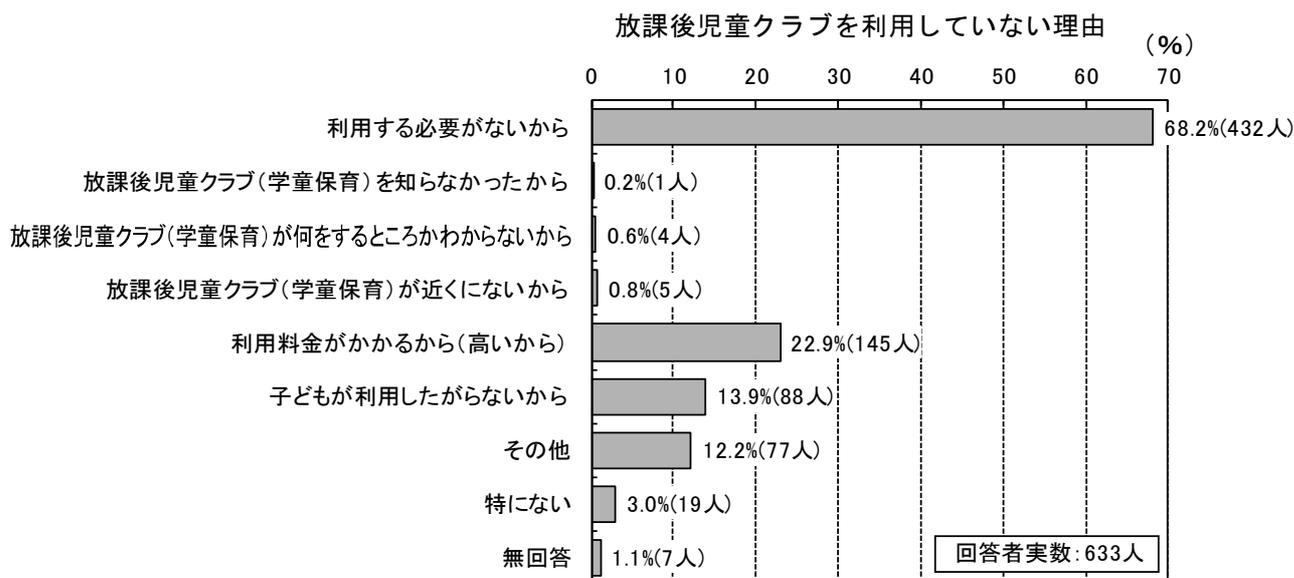
(4) 現在利用している放課後児童クラブに感じていること（複数回答）

現在利用している放課後児童クラブに感じていることは、「現在のままでよい」が54.9%と最も高く、保護者の半数以上が特に不満を感じていません。次に「施設設備を改善してほしい」が13.6%となります。



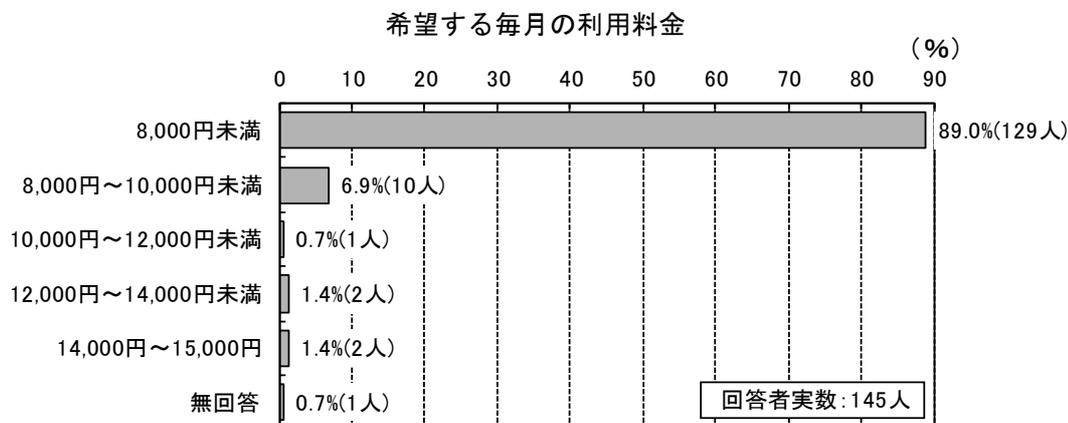
(5) 放課後児童クラブを利用していない理由（複数回答）

放課後児童クラブを「利用していない」と答えた保護者の、その理由については、「利用する必要がないから」が68.2%と最も高く、次に「利用料金がかかるから（高いから）」が22.9%となります。



(6) 希望する放課後児童クラブの利用料金（複数回答）

放課後児童クラブを利用していない理由として、「利用料金がかかるから（高いから）」と答えた保護者が、希望する毎月の利用料金は「8,000円未満」が89.0%とほとんどを占めます。

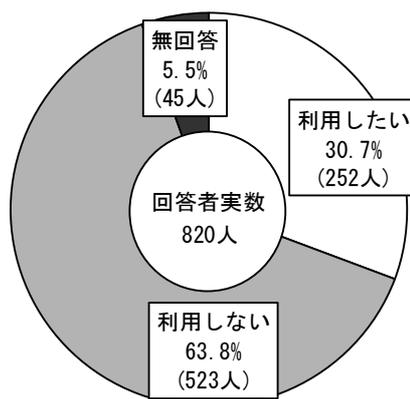


* 西原町の放課後児童クラブ（学童保育）の利用料金は、8,000円から15,000円の間で設定されており、低学年ほど金額は高くなります。

(7) 放課後児童クラブの利用希望

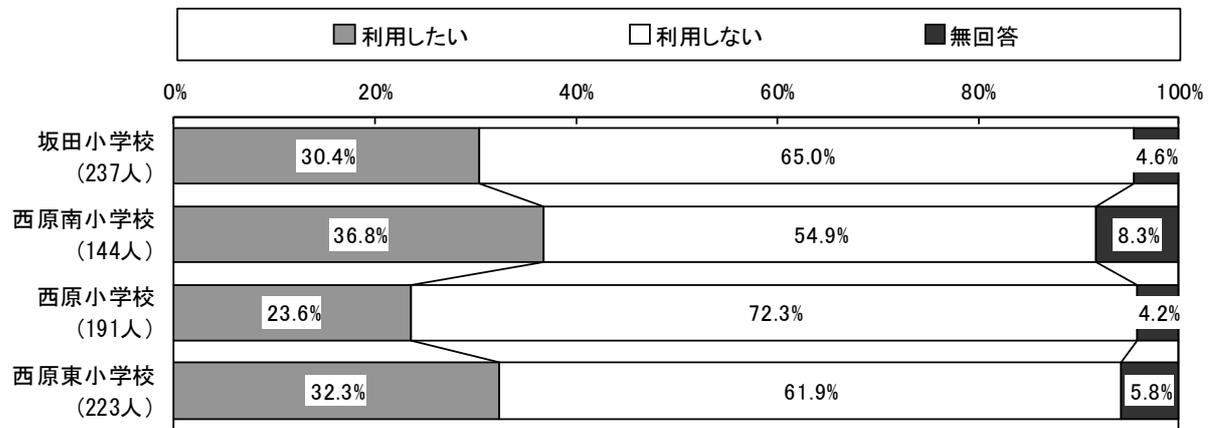
今後の放課後児童クラブの利用希望については、「利用しない」が63.8%、「利用したい」が30.7%となります。現在の利用状況（22.4%）と比べると、「利用したい」の割合は8.3ポイント高くなります。

放課後児童クラブ利用希望



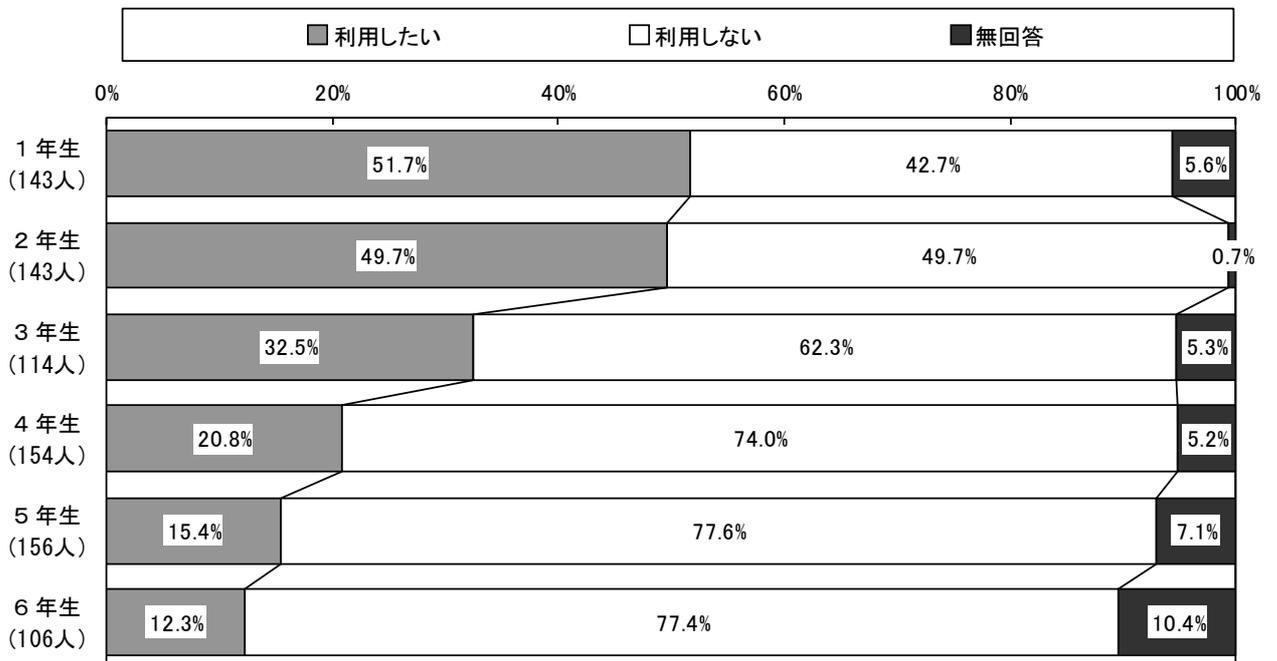
小学校別にみると、「利用したい」は、「西原南小学校」が36.8%と最も高く、「西原小学校」が23.6%と最も低くなります。現状の利用状況とほぼ同様の傾向となり、全ての学校で放課後児童クラブの利用意向が高くなります。

放課後児童クラブ利用希望（小学校別）



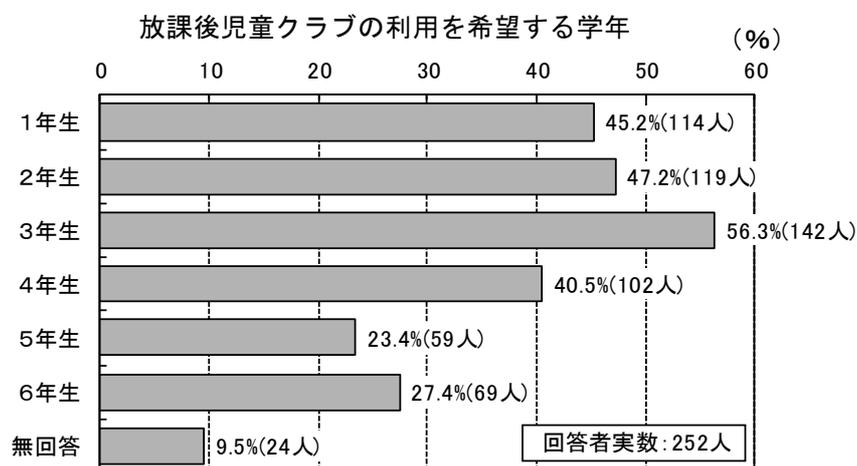
学年別にみると、「利用したい」は、「1年生」が51.7%と最も高く、学年が上がるほど割合は低くなり、「6年生」では12.3%となります。現在の利用状況と比べると、全ての学年で現在の利用率より利用希望の割合が高くなります。

放課後児童クラブ利用希望（学年別）



(8) 放課後児童クラブの利用を希望する学年（複数回答）

放課後児童クラブを今後「利用したい」と答えた保護者が、小学校卒業までの間利用したいと考えている学年については、「1年生」から「3年生」にかけて学年が高いほど割合は高くなり、「3年生」が56.3%と最も高くなります。「4年生」では40.5%に低下し、「5年生」と「6年生」では20%台となります。



子どもの現在の学年を基準に、それ以降の学年の希望をみるため、「1年生」から「5年生」について現在の学年とそれ以前の学年の希望を除いてみると、現在「1年生」の児童の利用希望は、「2年生」と「3年生」で60%台と高く、学年が上がるほど割合は低くなり、「5年生」で14.9%、「6年生」で17.6%となります。

現在「2年生」の児童の利用希望も、「3年生」で60.6%と最も高く、「5年生」で25.4%、「6年生」で28.2%と低くなります。

現在「3年生」の児童の利用希望は、「4年生」で67.6%と最も高く、「5年生」と「6年生」で32.4%となります。

現在「4年生」と「5年生」の児童の利用希望は、「5年生」または「6年生」でいずれも30%台となります。

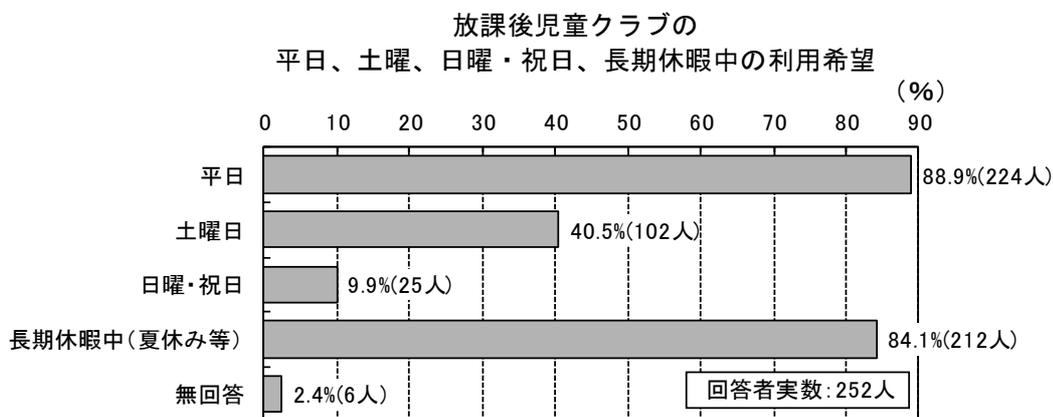
放課後児童クラブの利用を希望する学年（学年別）

現在の学年	回答者実数	利用を希望する学年						無回答
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
1年生	74人		60.8% (45人)	60.8% (45人)	32.4% (24人)	14.9% (11人)	17.6% (13人)	13.5% (10人)
2年生	71人			60.6% (43人)	42.3% (30人)	25.4% (18人)	28.2% (20人)	9.9% (7人)
3年生	37人				67.6% (25人)	32.4% (12人)	32.4% (12人)	5.4% (2人)
4年生	32人					34.4% (11人)	37.5% (12人)	9.4% (3人)
5年生	24人						37.5% (9人)	8.3% (2人)

(9) 放課後児童クラブの平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇中の利用希望について（複数回答）

放課後児童クラブを「利用したい」と答えた保護者の、平日、土曜日、日曜・祝日及び長期休暇中の利用希望については、「平日」が88.9%、次に「長期休暇中」が84.1%と高くなります。

また、「土曜日」の希望が40.5%、「日曜日・祝日」の希望が9.9%となります。



学年別にみると「平日」の利用希望は、「1年生」と「2年生」、「5年生」が90%台と高く、次に「6年生」が84.6%で、「3年生」が78.4%と最も低くなります。

「土曜日」の利用希望は、「6年生」が69.2%と最も高く、次に「1年生」と「4年生」が40%台で、「5年生」が29.2%と最も低くなります。

「日曜・祝日」の利用希望は、「4年生」が15.6%と最も高く、次に「2年生」が11.3%で、「6年生」の利用希望はありません。

一方、「長期休暇中（夏休み等）」の利用希望は、「6年生」が92.3%と最も高く、次に「1年生」と「2年生」、「4年生」が80%台、「3年生」と「5年生」が70%台となります。

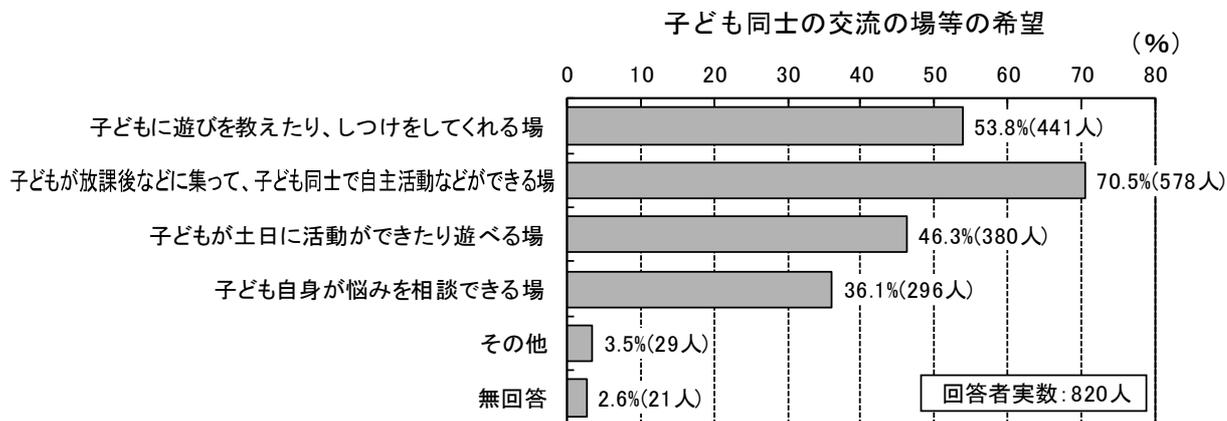
放課後児童クラブの利用希望（平日、土曜、日曜・祝日、長期休暇別）

	回答者 実数	平日	土曜日	日曜・祝日	長期休暇中 (夏休み等)
1年生	74人	94.6% (70人)	44.6% (33人)	9.5% (7人)	85.1% (63人)
2年生	71人	91.5% (65人)	38.0% (27人)	11.3% (8人)	87.3% (62人)
3年生	37人	78.4% (29人)	32.4% (12人)	10.8% (4人)	78.4% (29人)
4年生	32人	81.3% (26人)	43.8% (14人)	15.6% (5人)	81.3% (26人)
5年生	24人	91.7% (22人)	29.2% (7人)	4.2% (1人)	79.2% (19人)
6年生	13人	84.6% (11人)	69.2% (9人)	—	92.3% (12人)

5. 地域活動など

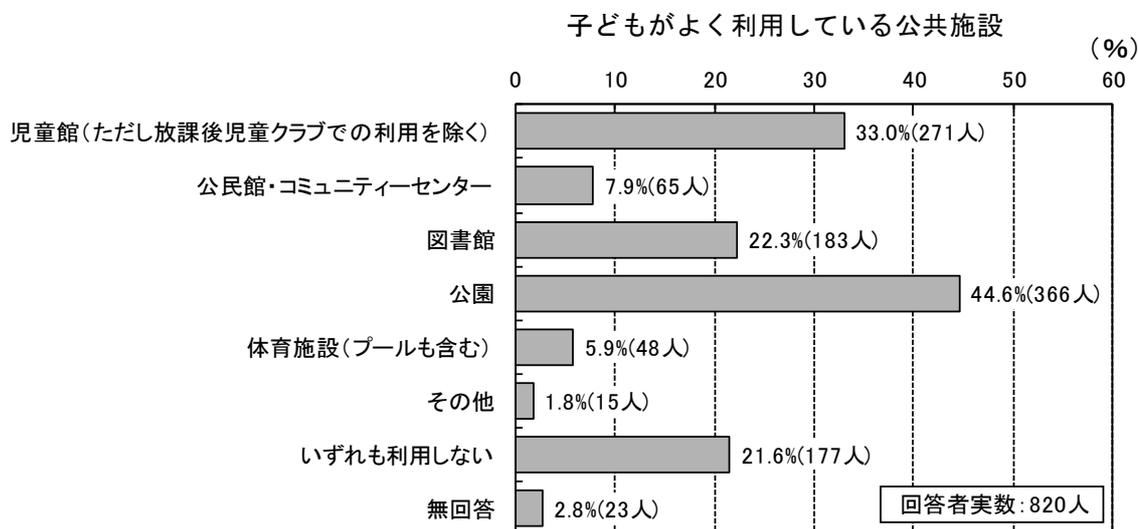
(1) 子ども同士の交流の場等の希望（複数回答）

身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことのできる場ができた場合、どのようなことを希望するかについては、「子どもが放課後などに集って、子ども同士で自主活動などができる場」が70.5%と最も高く、次に「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」が53.8%となります。



(2) よく利用している公共施設（複数回答）

子どもがよく利用している公共施設は、「公園」が44.6%と最も高く、次に「児童館（ただし放課後児童クラブでの利用を除く）」が33.0%となります。



子どもが通っている小学校別にみると、「児童館」は、「西原南小学校」が41.0%、「西原小学校」と「西原東小学校」が30%台で、「坂田小学校」が24.1%と最も低くなります。

一方、「図書館」は、「西原小学校」が33.0%と最も高く、次に「西原南小学校」が21.5%となります。また、「公園」の利用でも、「西原小学校」が58.1%と最も高くなります。

「いずれも利用しない」は、「坂田小学校」が27.4%と最も高く、「西原小学校」が16.8%と最も低くなります。

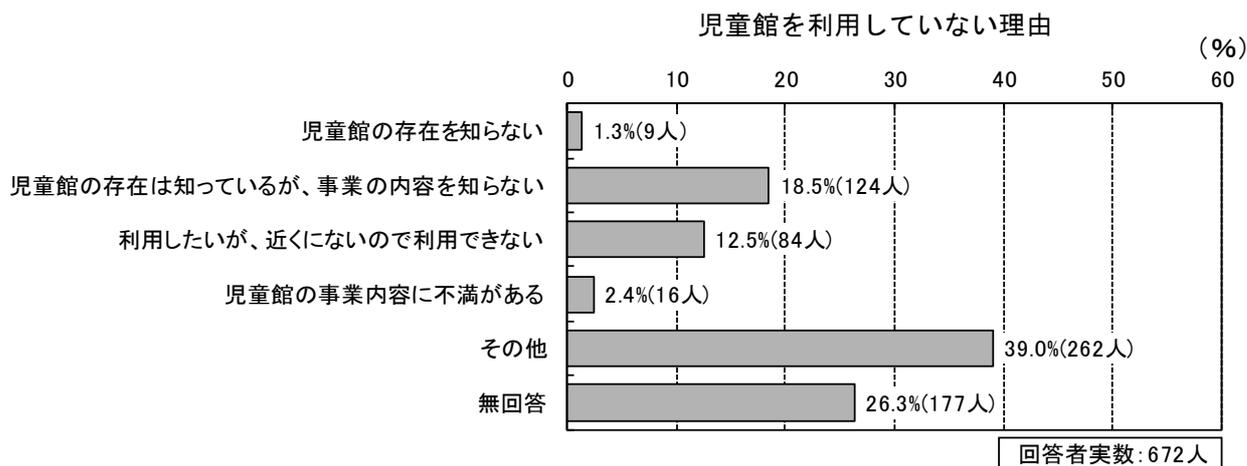
子どもがよく利用している公共施設（小学校区別）

	回答者実数	児童館（ただし放課後児童クラブでの利用を除く）	公民館・コミュニティセンター	図書館	公園	体育施設（プールも含む）	その他	いずれも利用しない	無回答
坂田小学校	237人	24.1% (57人)	5.5% (13人)	19.8% (47人)	43.5% (103人)	4.2% (10人)	2.5% (6人)	27.4% (65人)	3.4% (8人)
西原南小学校	144人	41.0% (59人)	11.1% (16人)	21.5% (31人)	31.3% (45人)	9.0% (13人)	2.8% (4人)	18.1% (26人)	3.5% (5人)
西原小学校	191人	34.6% (66人)	8.9% (17人)	33.0% (63人)	58.1% (111人)	4.2% (8人)	1.6% (3人)	16.8% (32人)	1.6% (3人)
西原東小学校	223人	36.3% (81人)	7.6% (17人)	16.6% (37人)	43.5% (97人)	7.2% (16人)	0.9% (2人)	22.0% (49人)	2.2% (5人)

(3) 児童館を利用していない理由

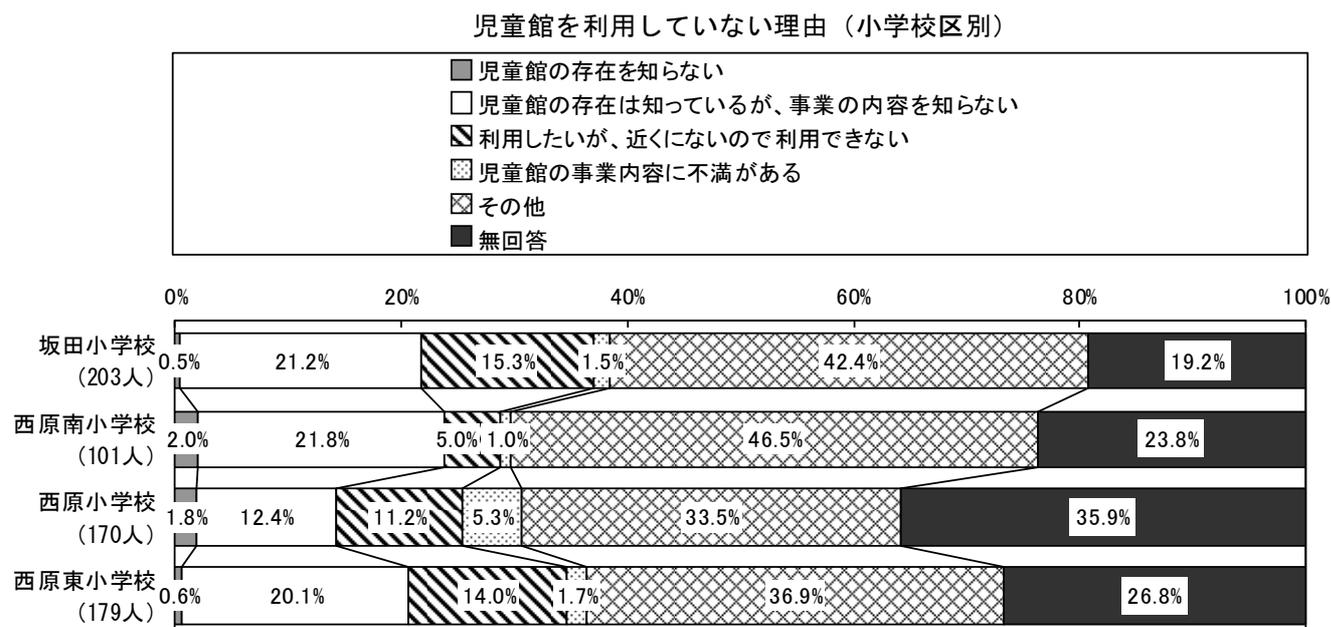
「児童館（ただし放課後児童クラブでの利用を除く）」を利用しているの回答がなかった保護者の、回答がなかった理由については、「その他」が39.0%と最も高く、次に「児童館の存在は知っているが、事業の内容を知らない」が18.5%、「利用したいが、近くにないので利用できない」が12.5%となります。

また、「無回答」の割合が26.3%と高いことから、児童館以外の公共施設の利用や、学童クラブの利用により児童館を利用していないなどの理由が考えられます。



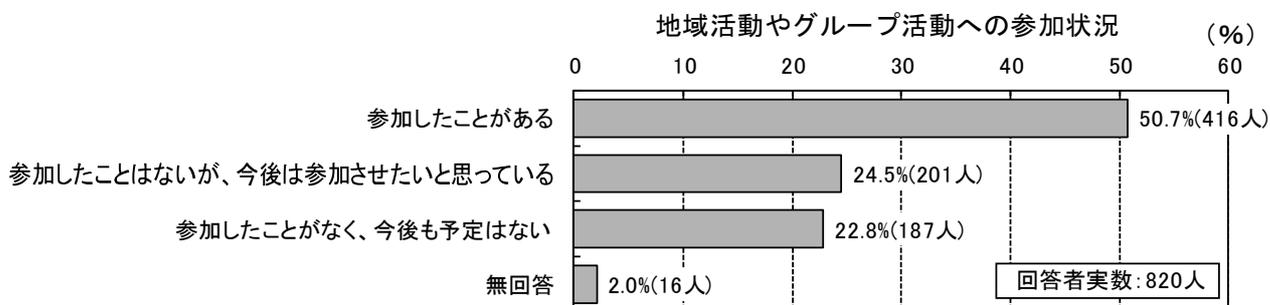
子どもが通っている小学校別にみると、「利用したいが、近くにないので利用できない」は、「西原南小学校」が5.0%と最も低く、そのほかの小学校では10%台となります。

「児童館の存在は知っているが、事業の内容を知らない」は、「西原南小学校」が21.8%、「坂田小学校」が21.2%、「西原東小学校」が20.1%と、いずれも20%台で、「西原小学校」が12.4%と最も低くなります。



(4) 地域活動やグループ活動への参加状況

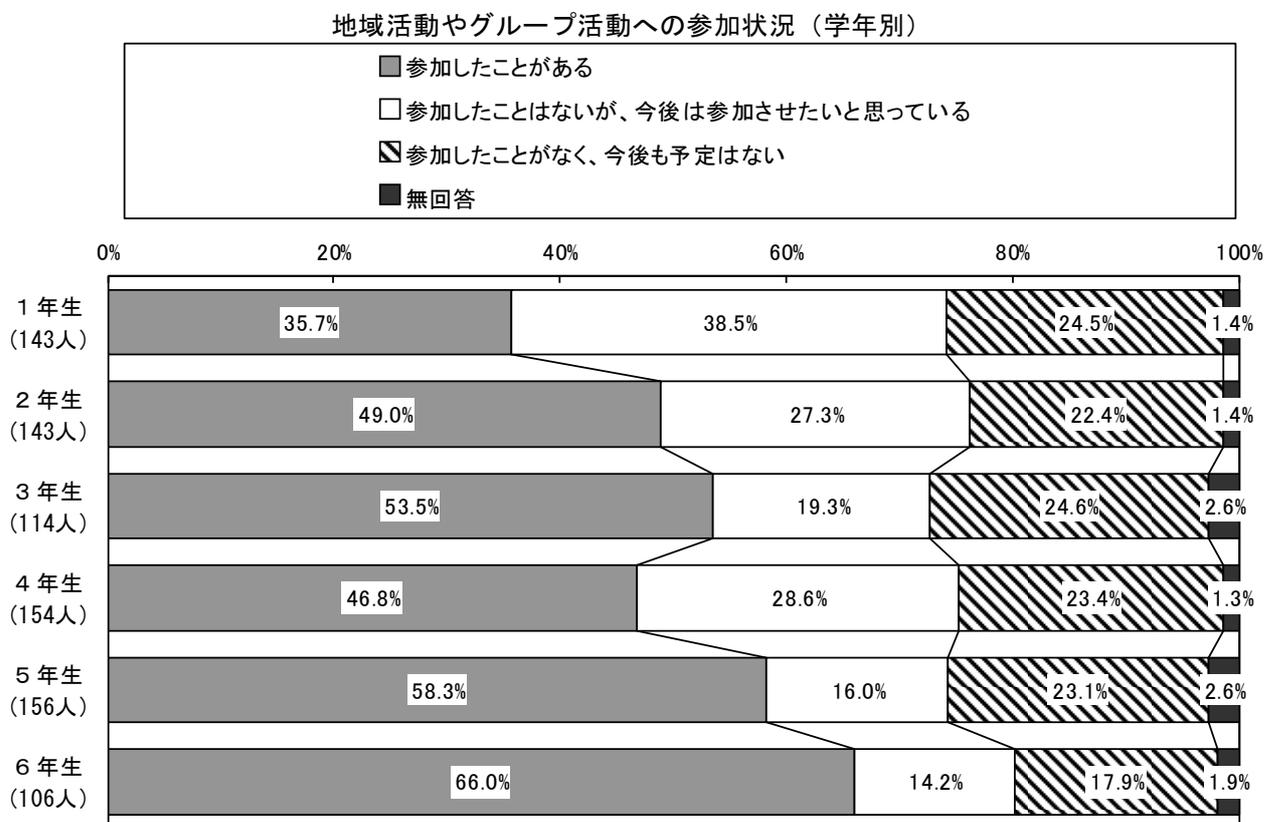
子どもの地域活動やグループ活動への参加については、「参加したことがある」が50.7%と最も高く、次に「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が24.5%、「参加したことがなく、今後も予定はない」が22.8%となります。



学年別にみると、「参加したことがある」は、学年が上がるほど割合も高くなる傾向にあり、「6年生」が66.0%と最も高く、次に「5年生」が58.3%、「1年生」が35.7%と最も低くなります。

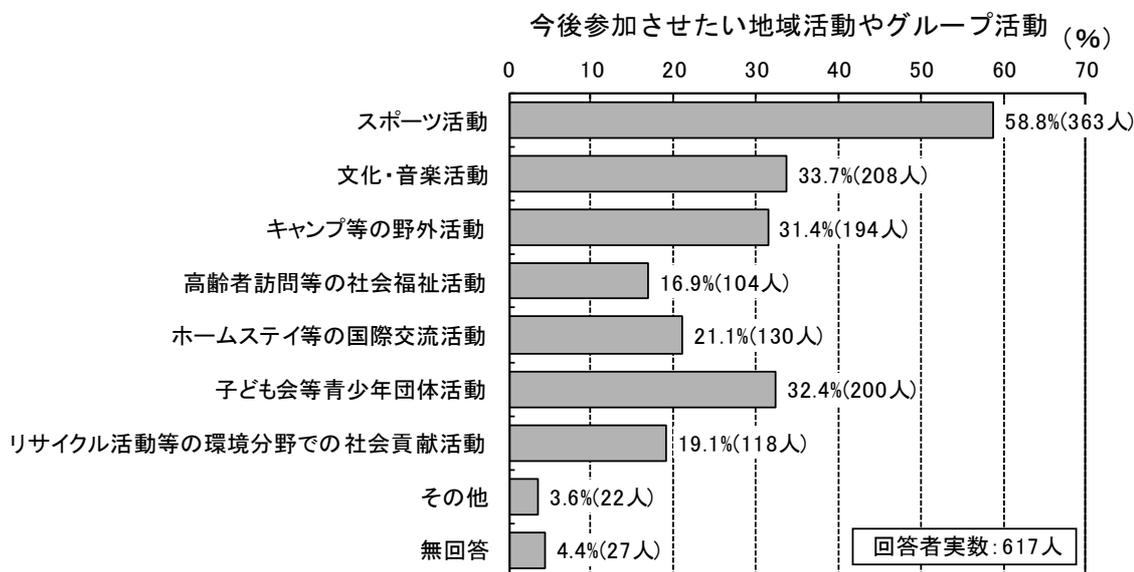
一方、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」は、学年が上がるほど割合は低くなる傾向にあり、「1年生」が38.5%と最も高く、「6年生」が14.2%と最も低くなります。

「参加したことがなく、今後も予定はない」は、「1年生」から「5年生」までいずれも20%台で、「6年生」が17.9%と最も低くなります。



(5) 今後参加させたい地域活動やグループ活動（複数回答）

地域活動やグループ活動に「参加したことがある」、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と答えた保護者が、今後参加させたい地域活動やグループ活動については、「スポーツ活動」が58.8%と最も高く、次に「文化・音楽活動」が33.7%、「子ども会等青少年団体活動」が32.4%、「キャンプ等の野外活動」が31.4%となります。



子どもの学年別にみると、「スポーツ活動」は、「2年生」が64.2%と最も高く、「5年生」が52.6%と最も低く、そのほかの学年では、50%台から60%台となります。

「文化・音楽活動」は、「4年生」が35.3%と最も高く、そのほかの学年はいずれも30%台となります。

「子ども会等青少年団体活動」は、「2年生」と「3年生」が最も高く、そのほかの学年はいずれも30%前後となります。

今後参加させたい地域活動やグループ活動（学年別）

	回答者実数	スポーツ活動	文化・音楽活動	キャンプ等の野外活動	高齢者訪問等の社会福祉活動	ホームステイ等の国際交流活動	子ども会等青少年団体活動	環境分野での社会貢献活動	リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動	その他	無回答
1年生	106人	62.3% (66人)	33.0% (35人)	29.2% (31人)	18.9% (20人)	23.6% (25人)	33.0% (35人)	13.2% (14人)	3.8% (4人)	3.8% (4人)	
2年生	109人	64.2% (70人)	34.9% (38人)	36.7% (40人)	17.4% (19人)	25.7% (28人)	34.9% (38人)	15.6% (17人)	2.8% (3人)	7.3% (8人)	
3年生	83人	56.6% (47人)	31.3% (26人)	28.9% (24人)	10.8% (9人)	13.3% (11人)	34.9% (29人)	16.9% (14人)	4.8% (4人)	8.4% (7人)	
4年生	116人	57.8% (67人)	35.3% (41人)	28.4% (33人)	19.8% (23人)	19.0% (22人)	29.3% (34人)	25.9% (30人)	3.4% (4人)	3.4% (4人)	
5年生	116人	52.6% (61人)	33.6% (39人)	33.6% (39人)	17.2% (20人)	21.6% (25人)	31.0% (36人)	18.1% (21人)	1.7% (2人)	2.6% (3人)	
6年生	85人	58.8% (50人)	32.9% (28人)	30.6% (26人)	14.1% (12人)	21.2% (18人)	31.8% (27人)	24.7% (21人)	5.9% (5人)	1.2% (1人)	

Ⅲ 小学生児童の保護者の自由記述

(子育て環境や支援に関する意見・要望等)

小学生児童の保護者からは延べ307件の意見・要望が寄せられました。

「子どもの活動場所等について」の意見が146件と最も多く、次いで「学校・教育環境について」が52件、「地域の環境について」が37件となります。

項 目	件 数
【1. 子どもの活動場所等について】	146 件
①子どもが自由にいつでも遊べる広場や施設をつくってほしい	19
②学童クラブの利用費が高い、安くしてほしい（または無料にしてほしい）	18
③その他学童クラブに関する意見・要望等	14
④公園が少ない、増やしてほしい	14
⑤学童クラブが少ない、増やしてほしい	12
⑥その他児童館に関する意見・要望等	9
⑦公園の遊具や安全面、利用の充実を図ってほしい	8
⑧学校施設の開放や有効活用を図ってほしい	8
⑨児童館の規模や活動内容及び質の充実を図ってほしい	7
⑩公民館を開放・活用してほしい	7
⑪小学校内に学童をつくってほしい	6
⑫図書館をもっと利用しやすいようにしてほしい	5
⑬長期休暇中のみの学童クラブをつくってほしい	4
⑭児童館の開館時間を長くしてほしい	2
⑮その他	13
・ 学習塾が近くにほしい	
・ もっと子どもの受け入れ場所がほしい	
・ 子どもの育児支援を充実させてほしい	
・ スポーツ少年団の活動が遅くまでやっている、どうにかならないか	
・ 遊び場に大きな時計がほしい	
・ 宿題が多すぎる	
・ 共働きだが、子どもを預かってもらえる所がなかった	
・ 放課後に宿題をみてくれる施設がほしい 等	

項目	件数
【2. 医療費等の援助について】 ①子ども医療費を無料化してほしい（中学・高校まで） ②給食費を無料化または安くしてほしい ③学童や塾を無料化してほしい ④就学援助を増やしてほしい ⑤ホームステイの事業を再開してほしい ⑥高校生まで児童手当があるとうれしい ⑦子育てになるべくお金がかからないようにしてほしい ⑧ひとり親世帯の手当を減らさないでほしい ⑨子ども食堂をつくってほしい ⑩クラブ活動の遠征費を援助してほしい ⑪ひとり親世帯への補助やサービスに格差がある ⑫母子家庭への住宅支援がほしい	34件 17 7 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1
【3. 地域の環境について】 ①不審者の情報が多く、事件・事故にあわないか不安 ②交通事故にあわないか不安、交通安全対策を強化してほしい ③夜になると暗くて不安 ④地域で子どもを見守る街づくりが必要 ⑤犬に追いかけるるので、車で送ったりしている ⑥東小方面に空き家が多く、心配 ⑦夕方の音楽放送、夏場の18時半は遅すぎる	37件 14 16 2 2 1 1 1
【4. 学校・教育環境について】 ①学習支援員を減らさないでほしい ②ALTを配置してほしい ③スクールバスを導入してほしい ④西原東小学校のトイレを増やしたり、気持ちよく使用できるように改装してほしい ⑤学校給食は良い、温かいごはんを食べさせたい ⑥その他 ・インフルエンザの休みが長すぎる ・授業参観日の振替休日をどうにかしてほしい ・発達障害への対応を充実させてほしい ・三学期制にしてほしい ・南小学校の（学校開放利用者等への）受動喫煙対策（指導）をしっかりとってほしい ・小学校の居残りが多すぎる（子どもが学校に行きたがらなくなる） ・学校教育や子育て支援の予算削減に反対 ・学校の建て替えを早くしてほしい ・制服やジャージ等のリサイクルがあれば助かる ・幼稚園は働く親としては不要、保育園から小1にあがるでも良い 等	52件 5 4 4 3 3 3 30

項 目	件 数
<p>【5. 子育て支援について】</p> <p>①夜間や休日に子どもをみてる所がほしい 2</p> <p>②その他 14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西原町はとても住みやすいので、子どもの事をもっと考えた取り組みをしてほしい ・幼稚園の春休みの預かり保育をしてほしい ・保育園をもっと増やして ・保育園、児童館で働きやすい環境にしてほしい ・子育て支援の情報は学校からの通知ではなく、世帯宛に通知してほしい ・発達障害への役場対応で気持ちを汲み取った対応をお願いしたい ・西原は子育てがしにくい 等 	16件
<p>【6. 地域交流について】</p> <p>①地域の色々な世代と交流したい 6</p> <p>②子ども会活動の充実を図りたい 3</p> <p>③児童も参加しやすいイベントや動物を増やしたい 1</p> <p>④自治会事務所を設置・整備してほしい 1</p>	11件
<p>【7. その他】</p> <p>①アンケート調査について（調査の目的、予算、公表等） 5</p> <p>②その他 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役場の窓口対応が嫌い ・小さな事でも、声を拾ってくれるシステムがあると良い ・子ども達が健やかに成長できる環境を大切にほしい ・西原町にずっと住み続けたい ・小波津団地は子育てするにはとてもいい環境 等 	11件

西原町子ども・子育て支援に関する
アンケート調査報告書

平成 31 年 3 月

発行：西原町 福祉部こども課
〒903-0220
沖縄県中頭郡西原町字与那城 140 番地の 1
電話：(098)945-5311